

公益財団法人 豊郷病院 年報

vol.19

2019

(令和元年度版)



公益財団法人 豊郷病院

年報発刊によせて

非常事態にこそ医療機関の 連携・協力が不可欠



公益財団法人 豊郷病院
業務執行理事 病院長

横 田 徹

「令和」になってはじめての公益財団法人豊郷病院の活動状況の年報を発行いたしました。法人を支えて頂いている皆様に厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスに罹患され亡くなられた方、豪雨による水害で被害を受けられたみなさまに心より哀悼の意を表します。

本年度早々より、新型コロナウイルスに翻弄され続け、前半が過ぎました。日本を含め多くの国々で、日常生活のみならず、医療や介護が最も大切としている対面での患者さんへの診療さえも制限され、未だに困難な状況に置かれている方々も多いと思います。今回のコロナ禍により、経済はもとより、社会構造全体の変革を余儀なくされました。とはいえ、わが国において、欧米諸国に比べて新型コロナウイルスによる重症者数が少ないことは、海外からも注目されているのは皆さまもご存知の通りです。何が海外と異なるのか、いくつかの指摘はなされていますが、多くの国民が行動変容に関して団結したことも一因ではないでしょうか。

今回、グローバル化による爆発的な感染の拡がり、社会・経済構造の脆弱さが露呈したことは、多くの人々の意識に大きな変容をもたらしました。一方で、医療従事者はいつの時代もその本分を果たさねばなりません。例えば、感染予防に関し、病院では感染管理委員会があり、科学的な情報に基づく対処を行っています。今回の新型コロナウイルス感染は勿論のこと、様々な感染症に対する感染管理を行い、診療業務が安全に行えるよう、近隣の医療機関や病院と連携しています。

わたし達はみなさまの精神と身体健康をお手伝いすることで社会に貢献することを責務としております。医療・介護は、医師、看護師だけでなく、患者さんへのサービスの提供に関わる行政の方々、介護職を含めた福祉関連の方々を含め、多職種の方々に支えられて初めて機能します。この様な非常時こそ、一人ひとりの患者さんを大切にして丁寧な診療を行ないたいと考えています。

今後も歴史の歯車は皆様と共に回り続けます。豊郷病院は、医療・介護の本質を見失うことなく、地域医療の一翼を担うべく、時代にあわせ進化、発展していかねばなりません。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

2020（令和2年）8月

目 次

年報発刊によせて…………… 業務執行理事・病院長 横田 徹

公益財団法人 豊郷病院 基本理念

□ 法人の部

1 法人沿革……………	1
2 法人概要……………	3
3 施設認定・施設指定……………	4
4 施設基準……………	5
5 法人組織図……………	7
6 病院組織図……………	8
7 病院会議・委員会組織図……………	9
8 介護施設組織図……………	10
9 病院概要図……………	11
10 法人役員名簿……………	12
11 法人管理者組織名簿……………	13
12 法人部門別職員数……………	14
13 活動内容……………	15
14 公益財団法人 豊郷病院長期事業計画・第7期中期計画……………	18
15 2020年度 経営方針……………	20
16 地域交流 TQM 活動……………	21
17 人権教育研修……………	22

I 医療事業の部

〈診療部門〉 医師理念

1 診療部事業経過……………	23
2 各科の事業・業績報告……………	24
循環器内科……………	24
呼吸器内科・呼吸器外科……………	24
消化器内科……………	26
内科（糖尿病）……………	26
外科・消化器外科……………	26
泌尿器科……………	27
整形外科……………	28
脳神経外科……………	28
眼 科……………	30
耳鼻咽喉科……………	31
小児科……………	31
皮膚科……………	32
婦人科……………	32
脳神経内科……………	32
精神科……………	33
歯科口腔外科……………	34
麻酔科……………	34
リハビリテーション科……………	35
放射線科……………	37
機能別病棟……………	41
臨床検査科……………	42
医療安全室……………	44
感染管理室……………	45
血液浄化センター……………	46
内視鏡センター……………	47
健診センター……………	47
認知症疾患医療センター……………	48
回復期リハビリテーションセンター……………	49
3 愛知・犬上医師連絡会……………	50
4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル……………	51
5 全職員研修会……………	52

6	災害総合避難訓練	53
7	ボランティア活動	54
8	院内（外）地域交流諸活動	55
9	実習生受入状況	56
10	受賞・表彰関係	59
11	各種委員会報告	60

〈薬剤部門・医療技術部門〉薬剤部理念

1	薬剤部事業報告	73
2	医療技術部事業報告	74
	栄養科	74
	放射線科	75
	臨床検査科	75
	臨床工学科	76

〈看護部門〉看護部理念

1	看護部組織系統図	77
2	看護部運営委員会組織図	78
3	看護サービス提供組織図	79
4	看護部 単位別目標及び評価	80
5	各種委員会	88
6	看護教育委員会事業報告書	92
7	看護院内研究発表会	94

〈地域連携室部門・医療福祉相談室部門〉医療福祉相談室理念

1	地域連携室事業報告	95
2	医療福祉相談室事業報告	99

〈事務部門・診療情報管理室部門・各種統計資料〉事務部理念

1	事務部・診療情報管理室事業報告	103
2	各種統計資料	107

II 介護事業の部 パストラールとよさと きらら・ゆうゆう 経営理念
けやき・らくらく

1	介護事業・各事業所業績	127
2	介護事業・各事業所別事業報告	128
	訪問リハビリテーション・アイルとよさと	128
	訪問看護ステーション・レインボウとよさと・はたしょう・ひこね	129
	介護老人保健施設・パストラールとよさと	133
	居宅介護支援センター・マックスとよさと・ひこね	137
	彦根市デイサービスセンター きらら	139
	彦根市グループホーム ゆうゆう	142
	彦根市地域包括支援センター きらら	143
	甲良町デイサービスセンター けやき	145
	甲良町グループホーム らくらく	147

III 教育研究事業の部

	公益財団法人 豊郷病院附属准看護学院報告	149
	臨床精神医学研究所報告	150

基本理念

豊かな郷で心と体の健康を 家族のように

1. 郷土愛と博愛の創立精神に基づき、地域の医療・保健・福祉を支える。
2. 医学の進歩に同調し、わかりやすく信頼される医療を行う。
3. 温もりと心をこめたサービスで、快適な療養環境を築く。
4. 患者さまの権利を尊重し人権をまもる。
5. 職員の労働環境に配慮し、効率よい安定した病院経営を行う。



公益財団法人 豊郷病院



法人の部

2019年度は新元号「令和元年」として祝意のなかスタートしましたが、世界の経済においては米中の貿易摩擦が世界各国共に需要縮小や輸出の減退となり、国内においても上期の状況は外需不振から景気の下振れリスクをかかえて推移しました。

下期においては、10月からの消費税増税に加えて、年明け春節前後から新型コロナウイルスの影響がすべての経済活動に影をおとし、急速に悪化しはじめた年度末になりました。

さて、当法人におきましては「人生100年時代」「2040年問題」などを見据えた少子高齢化、人口減少、働き方改革、消費税増税問題、医師をはじめ職員不足、高齢化世代交代等をかかえた年度でありました。

医療事業では上期の入院稼働率が85～87%確保、外来は10連休の3日間開院も含めて結果相応の成績をあげました。下期は入院・外来共に若干の苦戦はあったが、各施策を実行した結果、通期で医業収入は+1.4%を確保し、医業剰余金では前年を上廻ることができました。

一方、介護におきまして、前年は通所介護が苦戦しましたが、体制変更や組織見直しを含めた改革を行い、訪問看護は前年並にとどまりましたが、一方介護老人保健施設をはじめ各介護事業所の介護事業収入は、前年比+2.9%と大幅に成績を改善することができました。従いまして法人の医業収入は+1.7%、医業支出は+0.3%となり、まずまずの剰余金をあげることができました。

しかし乍ら第4四半期（1～3月）後半からの新型コロナウイルスの感染拡大への突入から来期が大きな影響を受けることが危惧されます。

1 法人沿革

大正 14 年(1925)	4 月 27 日	内務大臣の許可を得て、九代目伊藤長兵衛翁(1868～1941)の寄付により、財団法人 豊郷病院設立
15 年(1926)	7 月 6 日	本館竣工 病床 18 床、内科・外科・耳鼻咽喉科・X 線科開設
昭和 9 年(1934)	10 月 5 日	産婦人科新設
昭和 16 年(1941)	11 月 19 日	高松宮殿下 御成
	12 月 10 日	創立者 伊藤長兵衛翁逝去
17 年(1942)	3 月 1 日	眼科新設
27 年(1952)	2 月 20 日	呼吸器科新設 病床 80 床となる
	12 月 1 日	整形外科新設
	12 月 19 日	豊郷村外 11ヶ町村伝染病院組合立の伝染病床併設
28 年(1953)	4 月 1 日	歯科新設
29 年(1954)	1 月 29 日	准看護婦養成所開設
32 年(1957)	4 月 1 日	精神科・神経科新設 許可病床 290 床となる
33 年(1958)	10 月 1 日	総合病院の指定
40 年(1965)	5 月 31 日	診療棟、病舎、鉄筋コンクリート3階建てに改築 許可病床 372 床となる
42 年(1967)	3 月 1 日	救急病院の指定
	8 月 30 日	精神科病棟3階建増築
45 年(1970)	3 月 1 日	医療相談室開設
46 年(1971)	11 月 30 日	病棟、外来診療棟、リハビリ及び管理棟増改築
47 年(1972)	2 月 1 日	血液センター豊郷出張所開設
	11 月 1 日	脳神経外科新設
50 年(1975)	5 月 20 日	豊郷町外7ヶ市町伝染病組合立の伝染病棟改築 15 床
60 年(1985)	11 月 20 日	病院創立 60 周年(60 年史刊行)
62 年(1987)	7 月 1 日	肛門科新設
	7 月 6 日	泌尿器科新設
63 年(1988)	11 月 1 日	財団法人豊郷病院総合近代化工事着工
平成 2 年(1990)	7 月 1 日	一般病棟 30 床増床 総 394 床
3 年(1991)	8 月 1 日	准看護婦養成所から准看護学院に変更
7 年(1995)	6 月 1 日	認知症疾患医療センターならびに認知症外来開設
8 年(1996)	3 月 25 日	第7代理事長 成宮秀男就任
	6 月 1 日	老人保健施設パストラールとよさと開設(法人 70 周年記念事業)
9 年(1997)	12 月 5 日	訪問看護ステーションレインボウとよさと開設
11 年(1999)	4 月 1 日	皮膚科新設
	11 月 1 日	医療相談室から医療福祉相談室に名称変更
	12 月 1 日	訪問看護ステーションレインボウはたしょう開設
12 年(2000)	4 月 1 日	介護保険制度発足
		寄付行為の目的を「医療事業と介護事業」に改定
		同時に各サービス事業開設
		居宅介護支援センターマックスとよさと開設
		ヘルパーステーションピンポンとよさと開設
	7 月 1 日	精神科 デイケア開始
	10 月 1 日	小児科新設

- 13年(2001) 5月 1日 訪問リハビリテーションアイルとよさと開設
- 14年(2002) 2月12日 彦根市デイサービスセンターきらら、グループホームゆうゆう、
在宅介護支援センター開設
- 10月 1日 近代化建築事業・3病棟新館開所
- 15年(2003) 3月10日 甲良町デイサービスセンターけやき、グループホームらくらく開設
- 4月 1日 療養病棟開設 32床
- 7月 1日 総合リハビリセンター開設
- 8月 1日 血液浄化センター開設 18床、地域連携室開設
- 16年(2001) 8月 1日 訪問看護ステーション レインボウとよさと サテライトひこね開設
居宅介護支援センター レインボウひこね開設
- 9月 1日 歯科口腔外科新設
- 12月 8日 診療情報管理室設置
- 17年(2005) 11月 1日 訪問看護ステーション レインボウひこね開設
- 12月 2日 言語療法室開設
- 18年(2006) 9月25日 日本医療機能評価認定(ver4)
- 20年(2008) 1月 1日 医療安全室開設
- 4月 1日 麻酔科開設
- 8月 1日 亜急性期病床開設
- 22年(2010) 4月 1日 豊郷病院附属臨床精神医学研究所設立
- 5月 1日 精神療養病棟開設
- 23年(2011) 3月31日 事業目的を「医療事業・介護事業・教育研究事業」に改定
- 9月25日 日本医療機能評価認定(ver6)
- 24年(2012) 2月10日 訪問看護ステーション レインボウたが開設
- 4月 1日 公益財団法人豊郷病院認可・彦根市地域包括支援センターきらら開設
- 5月 1日 回復期リハビリテーション病棟開所(30床)
- 7月 1日 第8代 代表理事 佐藤公彦就任
- 25年(2013) 10月 1日 居宅介護支援センター マックスひこね開設
- 26年(2014) 3月 1日 びわこメディカルネットワーク事業参入
- 9月 1日 一般病棟のうち地域包括ケア病棟(51床) 承認開設
- 11月28日 第9代 代表理事 友吉唯夫就任
- 27年(2015) 12月10日 創立90周年式典・創業者75回忌法要
- 28年(2016) 3月19日 地域交流第1回 TQM 発表会
- 4月 1日 認知症初期集中支援チーム“オレンジファイブ”
及び在宅療養サポートセンター“とよサポ” 発足
- 29年(2017) 2月25日 地域交流第2回 TQM 発表会
- 3月 3日 日本医療機能評価機構認定3回目(3rdG:ver.1.1.)
- 5月 1日 電子診療録(電子カルテ) 導入
- 30年(2018) 5月24日 地域交流第3回 TQM 発表会
- 6月22日 第10代 代表理事 佐藤公彦就任
- 31年(2019) 3月19日 地域交流第4回 TQM 発表会
- 令和元年(2019) 5月 1日 新元号「令和」
- 7月 1日 療養病棟(32床) を地域包括ケア病棟に変更
- 令和2年(2020) 2月20日 地域交流第5回 TQM 発表会
- 4月 7日 日本政府「新型コロナ」緊急事態宣言

2020年7月現在

2 法人概要

〈法人の事業目的〉

1. 医療事業 2. 介護事業 3. 教育研究事業

医療事業

〈病床数〉

一般病棟	186 床	(内 一般病床 105 床、地域包括ケア病床 51 床、回復期リハビリテーション病床 30 床)
療養病棟	32 床	(地域包括ケア病床・初期認知症対応型)
精神病棟	120 床	(精神急性期病床 60 床、療養病床 60 床)
計	338 床	

〈診療科目〉	内科・外科・消化器外科・整形外科・消化器内科 呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科 脳神経外科・眼科・泌尿器科 耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科 小児科・婦人科・皮膚科・麻酔科 精神科・心療内科・神経内科	リハビリテーション科・放射線科 血液浄化センター 認知症疾患医療センター オアシス 内視鏡センター 健診センター
--------	---	--

介護事業

〈施設指定・事業所及び利用定員〉

1. 豊郷病院/居宅療養管理指導 …………… 在宅
2. 訪問看護ステーション レインボウとよさと …………… 在宅
3. 訪問看護ステーション レインボウはたしょう …………… 在宅
4. 訪問看護ステーション レインボウひこね …………… 在宅
5. 訪問リハビリテーション アイルとよさと …………… 在宅
6. 介護老人保健施設 パストラールとよさと …………… 入所100床
7. 短期入所療養介護 パストラールとよさと …………… (内 4床)
8. 通所リハビリテーション パストラールとよさと …………… 定員20人/日
9. 彦根市デイサービスセンター きらら …………… 定員40人/日
10. 彦根市グループホーム ゆうゆう …………… 利用者9床
11. 彦根市地域包括支援センター きらら …………… 支援センター (要支援)
12. 甲良町デイサービスセンター けやき …………… 定員25人/日
13. 甲良町グループホーム らくらく …………… 利用者9床
14. 居宅介護支援センター マックスとよさと …………… 支援センター (要介護)
15. 居宅介護支援センター マックスひこね …………… 支援センター (要介護)
16. 認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ …………… 在宅

教育研究事業

准看護学院
臨床精神医学研究所

(2020年7月現在)

3 施設認定・施設指定

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
日本呼吸器科学会認定施設
日本外科学会専門医制度修練施設（関連施設）
日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本麻酔科学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会・NST 稼働認定施設
日本手外科学会手外科専門医制度研修施設

施設指定

保険医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関
救急告示病院
精神保護及び精神障害者福祉に関する法律に基づく指定病院
認知症疾患医療センター
指定自立支援医療機関（更生医療）
指定自立支援医療機関（育成医療）
指定自立支援医療機関（精神通院医療）
難病医療費助成指定医療機関
小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関
臨床研修病院（協力型臨床研修病院）

その他

大阪市立大学医学部脳神経外科研修病院
滋賀医科大学学外臨床実習協力病院
滋賀医療技術専門学校実習病院
滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科専門医関連施設

(2020年7月現在)

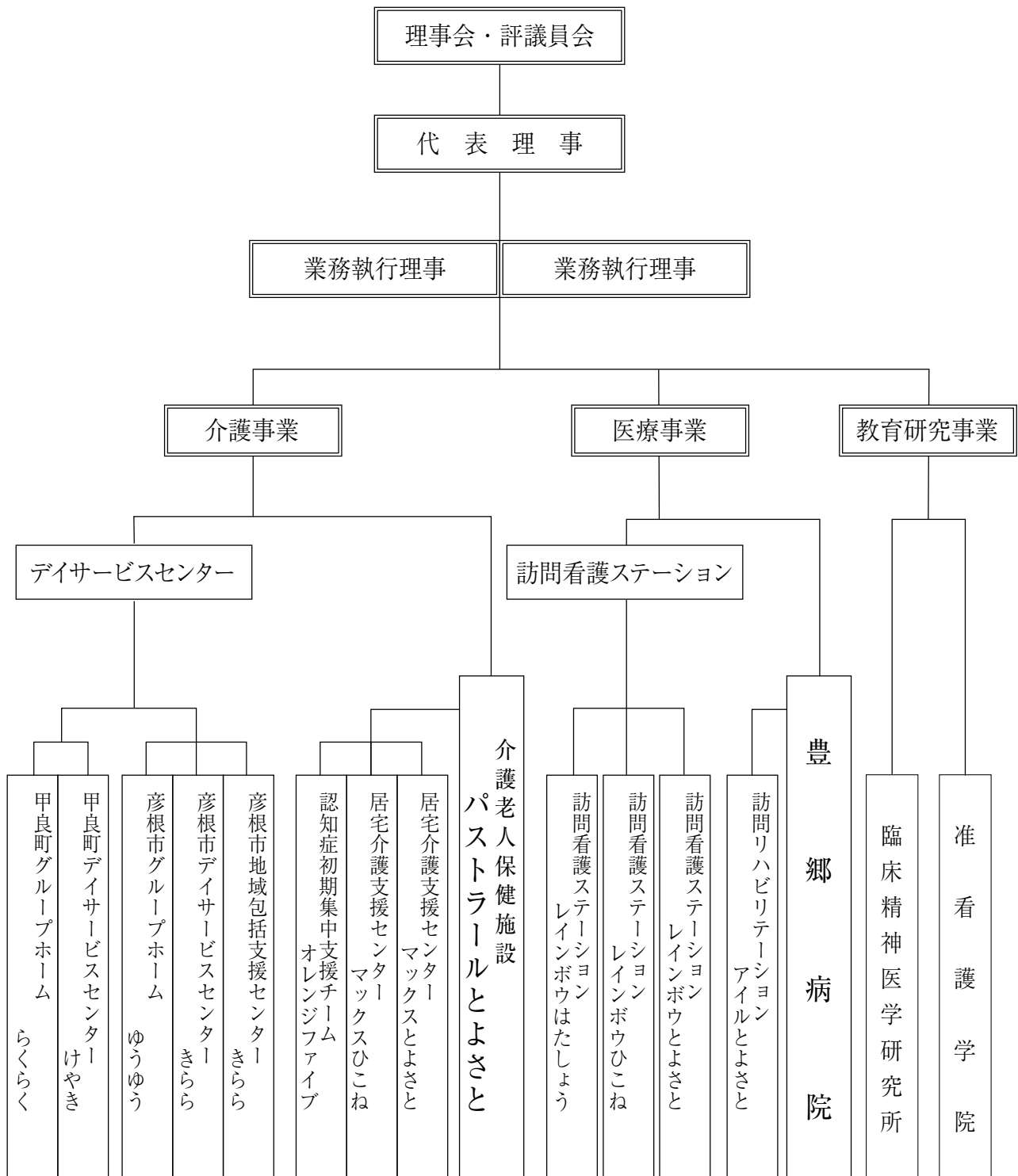
4 施設基準

受理届出名称	受理記号	受理番号	算定開始年月日
歯科外来診療環境体制加算 1	外来環 1	第 233 号	平成 30 年 5 月 1 日
一般病棟入院基本料	一般入院	第 795 号	平成 30 年 7 月 1 日
救急医療管理加算	救急医療	第 3 号	令和 2 年 4 月 1 日
診療録管理体制加算 1	診療録 1	第 1 号	平成 26 年 4 月 1 日
医師事務作業補助体制加算 1	事 補 1	第 10 号	令和 2 年 4 月 1 日
急性期看護補助体制加算	急性看補	第 11 号	平成 28 年 4 月 1 日
看護職員夜間配置加算	看 夜 配	第 13 号	平成 29 年 9 月 1 日
看護補助加算	看 補	第 754 号	平成 22 年 5 月 1 日
療養環境加算	療	第 93 号	平成 26 年 9 月 1 日
重症者等療養環境特別加算	重	第 74 号	平成 14 年 10 月 1 日
精神科身体合併症管理加算	精合併加算	第 7 号	平成 20 年 4 月 1 日
栄養サポートチーム加算	栄 養 チ	第 26 号	平成 31 年 1 月 1 日
医療安全対策加算 1	医療安全 1	第 17 号	平成 30 年 4 月 1 日
感染防止対策加算 1	感染防止 1	第 5 号	令和元年 5 月 1 日
患者サポート体制充実加算	患 サ ポ	第 11 号	平成 24 年 4 月 1 日
精神科救急搬送患者地域連携受入加算	精救急受入	第 2 号	平成 24 年 6 月 1 日
後発医薬品使用体制加算 1	後 発 使 1	第 24 号	平成 30 年 12 月 1 日
データ提出加算	デ ー タ 提	第 23 号	平成 31 年 4 月 1 日
入退院支援加算	入 退 支	第 21 号	平成 30 年 4 月 1 日
認知症ケア加算	認 ケ ア	第 39 号	平成 31 年 3 月 1 日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	せん妄ケア	第 2 号	令和 2 年 4 月 1 日
精神疾患診療体制加算	精 疾 診	第 1 号	平成 28 年 4 月 1 日
回復期リハビリテーション病棟入院料 4	回 4	第 29 号	令和元年 12 月 1 日
地域包括ケア病棟入院料 2 及び地域包括ケア入院医療管理料 2	地包ケア 2	第 4 号	平成 26 年 9 月 1 日
地域包括ケア病棟入院料 4 及び地域包括ケア入院医療管理料 4	地包ケア 4	第 4 号	令和元年 7 月 1 日
精神科急性期治療病棟入院料 2	精 急 2	第 2 号	平成 30 年 1 月 1 日
精神療養病棟入院料	精 療	第 21 号	平成 26 年 4 月 1 日
入院時食事療養／生活療養 (I)	食	第 278 号	平成 2 年 7 月 1 日
歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	医 管	第 65 号	平成 28 年 11 月 1 日
糖尿病合併症管理料	糖 管	第 30 号	平成 25 年 11 月 1 日
がん性疼痛緩和指導管理料	が ん 疼	第 85 号	平成 29 年 8 月 1 日
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算	救 搬 看 体	第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日

ニコチン依存症管理料	ニ	コ	第 248 号	令和 2 年 7 月 1 日
がん治療連携指導料	が	ん	指 第 450 号	平成 28 年 6 月 1 日
薬剤管理指導料		薬	第 22 号	平成 22 年 5 月 1 日
医療機器安全管理料 1	機	安	1 第 4 号	平成 20 年 4 月 1 日
持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定	持	血	測 1 第 8 号	平成 27 年 9 月 1 日
検体検査管理加算（Ⅰ）	検		I 第 53 号	平成 20 年 4 月 1 日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	歩	行	第 15 号	平成 25 年 3 月 1 日
コンタクトレンズ検査料 1	コ	ン	1 第 140 号	平成 28 年 4 月 1 日
小児食物アレルギー負荷検査	小		検 第 21 号	平成 23 年 5 月 1 日
CT 撮影及びMRI 撮影	C	・	M 第 109 号	平成 27 年 4 月 1 日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	抗	悪	処 方 第 10 号	平成 22 年 4 月 1 日
外来化学療法加算 1	外	化	1 第 40 号	平成 24 年 9 月 1 日
無菌製剤処理科		菌	第 31 号	平成 20 年 4 月 1 日
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	脳		I 第 28 号	平成 24 年 4 月 1 日
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	運		I 第 26 号	平成 24 年 4 月 1 日
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	呼		I 第 9 号	平成 24 年 4 月 1 日
がん患者リハビリテーション料	が	ん	リ ハ 第 22 号	平成 29 年 8 月 1 日
精神科作業療法		精	第 8 号	平成 13 年 8 月 1 日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	抗	治	療 第 6 号	平成 29 年 8 月 1 日
人工腎臓	人	工	腎 臓 第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
導入期加算 1	導	入	1 第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	透	析	水 第 23 号	平成 25 年 12 月 1 日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	肢	梢	第 16 号	平成 28 年 4 月 1 日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	脊	刺	第 3 号	平成 13 年 12 月 1 日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		ペ	第 26 号	平成 10 年 5 月 1 日
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術		腎	第 27 号	平成 26 年 11 月 1 日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	胃	瘻	造 第 8 号	平成 26 年 4 月 1 日
クラウン・ブリッジ維持管理料	補	管	第 491 号	平成 12 年 4 月 1 日

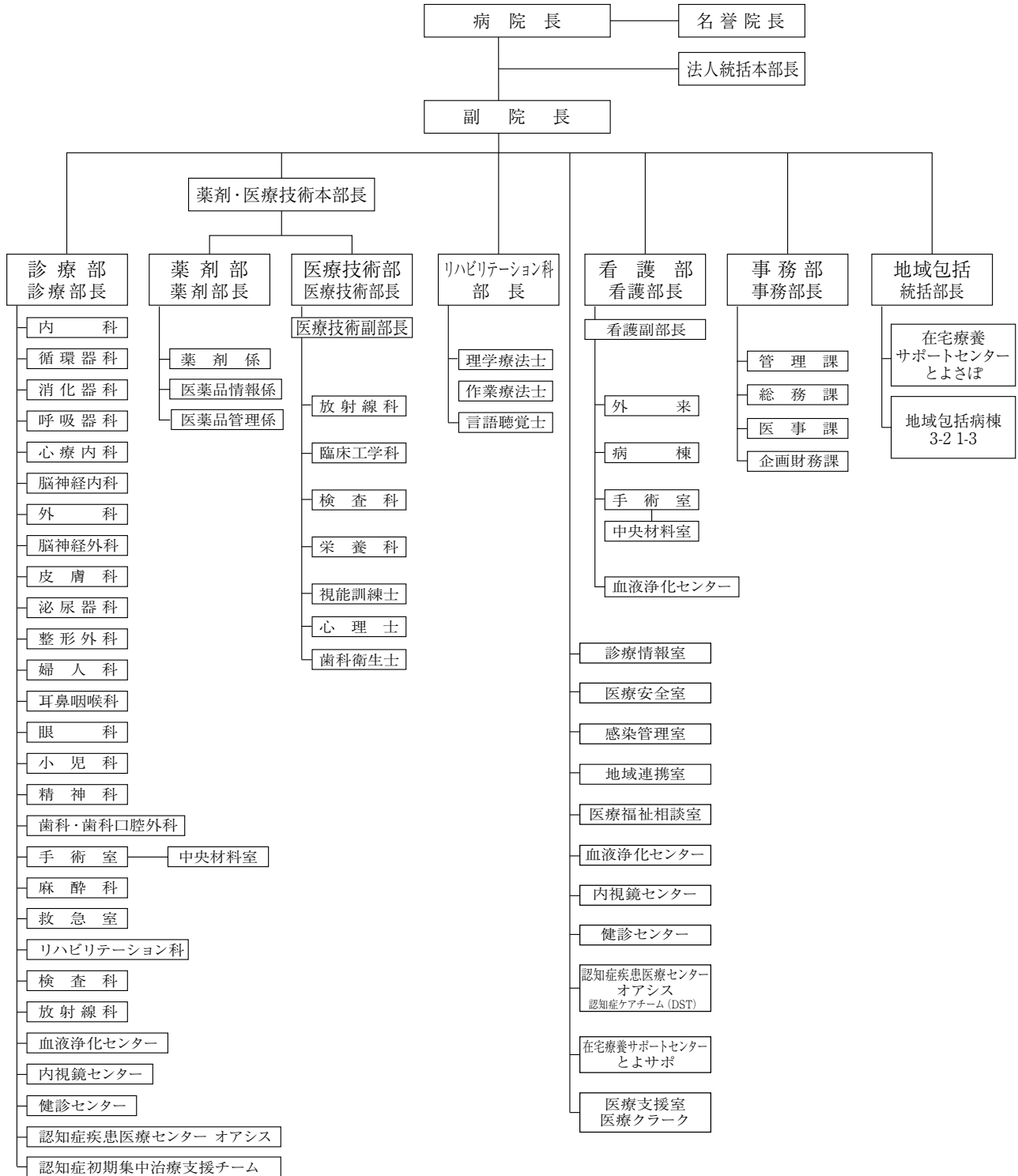
(2020 年 7 月現在)

5 法人組織図



(2020年7月現在)

6 病院組織図



(2020年7月現在)

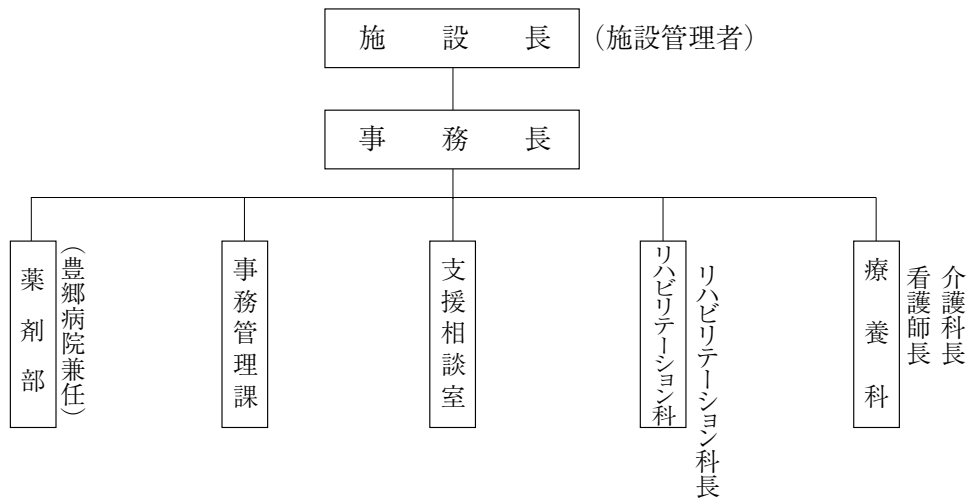
7 病院会議・委員会組織図



(2020年7月現在)

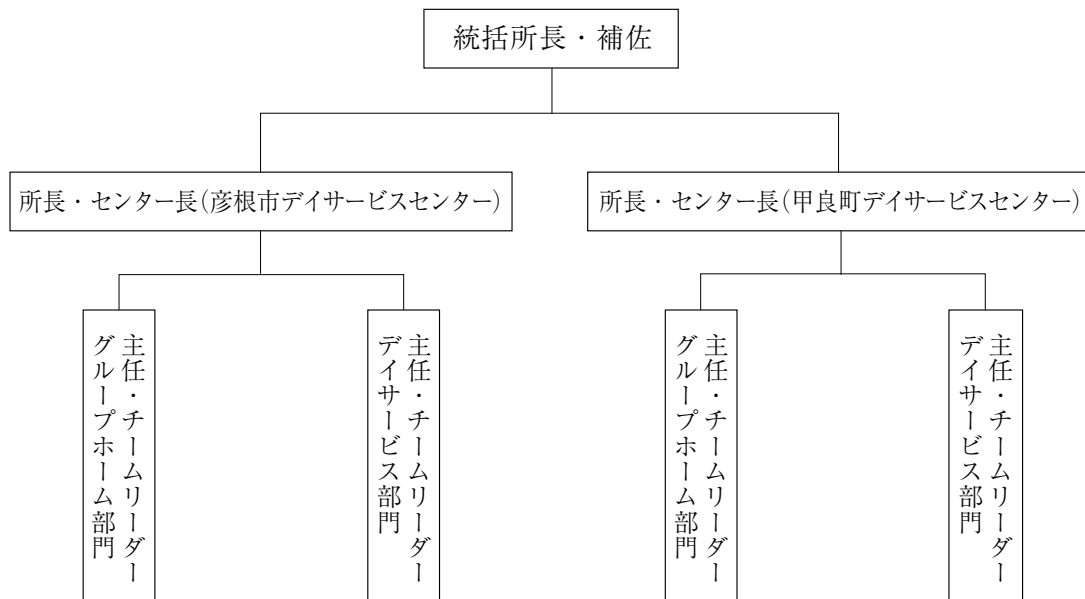
8 介護施設組織図

介護老人保健施設 パストラルとよさと 組織図



デイサービスセンター 組織図

彦根市デイサービスセンター きらら 甲良町デイサービスセンター けやき
彦根市グループホーム ゆうゆう 甲良町グループホーム らくらく



(2020年7月現在)

9 病院概要図

病院概要

- 1. 病床数**
 - 一般病棟 186床
(内 地域包括ケア病床51床
内 回復期リハビリテーション病床30床)
 - 療養病棟 32床
(地域包括ケア病床・初期認知症対応型)
 - 精神科病棟 120床
(内 急性機病床60床
内 療養病床 60床)
 - 計 338床
- 2. 診療科目**

内科、外科、消化器外科、整形外科、消化器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、歯科・歯科口腔外科、小児科、婦人科、皮膚科、麻酔科、精神科、心療内科、神経内科、リハビリテーション科、放射線科
- 3. 診療日**

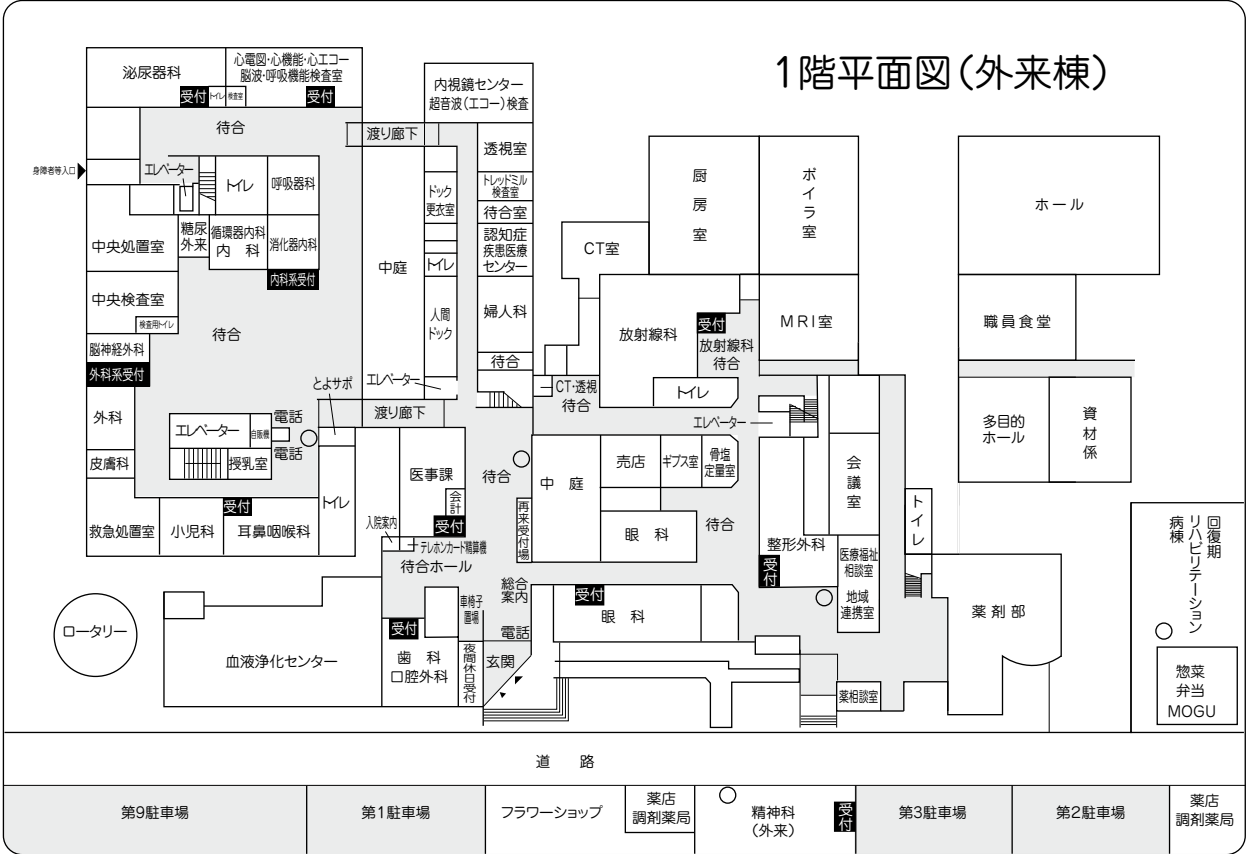
月～土
【受付時間】
平日 午前8時30分～12時
土曜 午前8時30分～11時
- 4. その他施設**
 - ・総合リハビリテーション施設
 - ・血液浄化センター
 - ・認知症疾患医療センターオアシス

各階概要〈新館〉

屋上	機械棟、コージェネシステム他
6F	精神科病棟(急性期)
5F	精神科病棟(療養)
4F	一般病棟
3F	一般病棟
2F	一般病棟(地域包括病床)
1F	脳波・心機能・心電図・心エコー・泌尿器科・循環器内科・消化器内科・内科・呼吸器内科・小児科・耳鼻咽喉科・脳神経外科・外科・皮膚科・救急外来 神経内科

※整形外科・婦人科・眼科・歯科・精神科・認知症疾患医療センターオアシスの外来及びリハビリテーション科・放射線科・手術室は従来通り旧病棟

病院平面図



○→ 意見箱設置場所

10 法人役員名簿

	役員名	氏名	現職
理事	代表理事	佐藤 公彦	名誉院長
	業務執行理事	横田 徹	病院長
	業務執行理事	種村 榮二	法人統括本部長
	理事	松末 吉隆	
	理事	林 拓二	顧問・研究所長・学院長
	理事	川村 喜三郎	薬剤・医療技術本部長
	理事	川村 宏	事務部長
評議員	評議員	世一市郎	
	評議員	若林 直之	
	評議員	若山 喜久穂	
	評議員	若林 保幸	
監事	監事	伊藤 勲	
	監事	山本 洋昭	
	監事	西山 憲和	
	監事	藤田 敦	顧問税理士

(2020年7月現在)

11 法人管理者組織名簿

部 署	役 職	氏 名
	代表理事・名誉院長	佐藤 公彦
	院長	横田 徹
	法人統括本部長	種村 榮二
	副院長	成田 実
	副院長	難波江 正浩
	副院長	土井 久和
診療部 健診センター	副院長・診療部長	曾我 弘樹
	部長	吉川 邦生
内 科	副院長(消化器内科)	土井 久和
	部長(健診(消内科))	吉川 邦生
	部長(糖尿病内科)	高木 敬文
	部長(循環器内科)	富田 行則
	医長(消化器内科)	門元 優
呼 吸 器 科	代表理事・名誉院長	佐藤 公彦
	内科系統括部長・部長	伊部 邦宏
	部長	吉橋 彩子
外 科	院長	横田 徹
	部長	井内 武和
泌 尿 器 科	副院長・診療部長	曾我 弘樹
	医長	鄭 裕午
皮 膚 科		(非常勤医師)
脳 神 経 外 科	部長	木築 裕彦
整 形 外 科	副院長・外科系統括部長	難波江 正浩
	医長	富田 真梨子
眼 科	部長	富田 靖之
婦 人 科		(非常勤医師)
耳 鼻 咽 喉 科		(非常勤医師)
小 児 科	部長	三村 由卯
	顧問	林 拓二
	副院長	成田 実
	部長	阪上 悌司
	部長	中江 尊保
	医長	堀川 健志
医長	岡村 恭子	
歯科口腔外科	医員	藤居 孝文
放 射 線 科	医長	土井 久和
検 査 科	医長	高木 敬文
手 術 室	室長	難波江 正浩
診療情報管理室	室長	横田 徹
リハビリテーション科	医長	難波江 正浩
内 視 鏡 セ ン タ ー	センター長	門元 優
血液浄化センター	センター長	曾我 弘樹
認知症疾患医療センター	センター長	成田 実
臨床精神医学研究所	所長	林 拓二
救 急 室	室長	難波江 正浩
	室長・医療安全管理担当医	曾我 弘樹
医療安全室	医療安全担当医	土井 久和
感 染 管 理 室	室長	伊部 邦宏
地域包括ケア病棟(3-2)	医長	難波江 正浩
一般病棟(3-3)	医長	井内 武和
一般病棟(3-4)	医長	伊部 邦宏
療養病棟(1-3)	医長	成田 実
精神科病棟(3-5)	医長	阪上 悌司
精神科病棟(3-6)	医長	岡村 恭子
回復期リハビリテーション病棟(5-2)	センター長	木築 裕彦
薬剤・医療技術部	薬剤・医療技術本部長	川村 喜三郎
薬 剤 部	部長	岡田 尚也
	科長	中村 薫
医 療 技 術 部	部長・臨床工学科技士長	福本 喜之彦
	副部長・放射線科技師長	川俣 佳彦
	栄養科科長	篠原 ひづき
	検査科技師長	松本 善光

部 署	役 職	氏 名
リハビリテーション科	部長	吉田 環
	顧問・地域包括統括部長	力石 泉
	看護部長	片山 美穂
	看護副部長5病棟2階師長	外川 栄子
	看護副部長兼3病棟2階師長	加藤 郁
	在宅療養サポートセンター長	古川 みどり
	在宅療養サポートセンター師長	堀尾 素子
	外来師長	田中 和子
	3病棟3階師長	西村 美穂
	3病棟4階師長	猪田 縁
	3病棟5階師長	古田 成年
	3病棟6階師長	木村 千江
	1病棟3階師長	川口 恵子
	手術室師長	大辻 和代
血液浄化センター師長	野田 静	
医療安全室	師長	田畑 靖代
感染管理室	師長	竹内 淑江
医療福祉相談室	室長	上野 志保
地域連携室	室長	上野 志保
診療情報管理室	課長	山本 保保
医療支援室	課長	山本 保保
事 務 部	部長	川村 宏
	管理課長	宇野 玲子
	医事課長	岡村 昌彦
	企画財務課長	山本 保保
	総務課長	岩佐 武
准看護学院	学院長	林 拓二
	教務主任	川合 小百合
訪問看護ステーション		
訪問看護ステーション	統括所長	谷川 明実
レインボウとよさと	所長	谷川 明実
レインボウはたししょう	所長	西川 くるみ
レインボウひこね	所長	山田 里美
介護老人保健施設 パストラールとよさと		
	施設長	奥田 和美
	事務長	菅原 幸一
	介護科長	山口 康子
	リハビリ科科長・副技師長	南部 美和
	師長	井上 尚子
介護事業		
	統括所長	菅原 幸一
	統括所長補佐	山口 康子
居宅介護支援センター	マックスとよさと・マックスひこね	
	統括所長	高橋 ひとみ
居宅介護支援センター	マックスとよさと	
	所長	高田 奈緒
居宅介護支援センター	マックスひこね	
	所長	西野 祐生
彦根市デイサービスセンターきらら		
	所長	土川 裕人
グループホームゆうゆう		
	所長	小島 由香里
彦根市地域包括支援センターきらら		
	センター長	高橋 ひとみ
甲良町デイサービスセンター		
	センター長	山口 康子
デイサービスセンター けやき		
	所長	西山 健一
グループホームらくらく		
	所長	米谷 利子
認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ		
	リーダー	菅原 幸一

(2020年7月現在)

12 法人部門別職員数

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
医療事業				
医局	医師	23	72	95
	歯科医師	1	2	3
薬剤部	薬剤師	9		9
	薬剤部事務		3	3
看護部	看護師	155	23	178
	准看護師	27	9	36
	ケアワーカー	51	11	62
眼科	視能訓練士	2		2
	助手		1	1
歯科	歯科衛生士	2		2
	助手		1	1
精神科	公認心理士	1	1	2
	臨床心理士		1	1
放射線科	放射線技師	7		7
リハビリテーション科	理学療法士	19		19
	作業療法士	15		15
	言語聴覚士	2		2
	助手	1	2	3
検査科	臨床検査技師	2	1	3
臨床工学科	臨床工学技士	5		5
栄養科	管理栄養士	4		4
医療福祉相談室	ソーシャルワーカー	7		7
	(うち精神保健福祉士)	(4)		(4)
事務部	事務員	33	7	40
	寮母	1		1
	工務係	3		3
	運転手		2	2
訪問看護ステーション				
レインボウとよさと	看護師	5	3	8
	作業療法士	1	1	2
	事務員	2		2
レインボウひこね	看護師	7	3	10
	作業療法士	1		1
	事務員	1		1
レインボウはたしょう	看護師	4	3	7
	事務員		1	1
計		386	145	538

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
介護事業				
介護老人保健施設バストラール とよさと				
	医師	1		1
	看護師	6	2	8
	准看護師	2	2	4
	介護福祉士	34		34
	介護士	7	6	13
	管理栄養士	1		1
	ソーシャルワーカー	4		4
	理学療法士	3		3
	作業療法士	2	1	3
事務員 他	3	7	10	
居宅介護支援センター マックスとよさと				
	介護支援専門員 他	3		3
居宅介護支援センター マックスひこね				
	介護支援専門員 他	3	1	4
彦根市デイサービスセンター きらら				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	13	10	23
彦根市グループホーム ゆうゆう				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	5	3	8
彦根市地域包括支援センター				
	センター長	1		1
	介護支援専門員 他	4		4
甲良町デイサービスセンター けやき				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	4	10	14
甲良町グループホーム らくらく				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	6	5	11
計		106	47	153

総職員数：671名

(2020年7月現在)

13 活動内容

(病院関係)

- 2019年 4月 1日 入職式
 1～3日 新規採用者オリエンテーション
 9日 准看護学院入学式
 10日 キャッシュレス決済についての研修会
 講師 総合メディカル(株)松井孝介氏
 26日 互助会献血
 5月14日 看護の日
 15日 互助会美化運動
 28～30日 職員健康診断(対象者のみ)
 29日 団体交渉
 6月 5日 会計監査
 7日 2019年度第5回TQMキックオフ研修会
 10日 月曜会・決算理事会
 14日 愛知・犬上医師連絡会
 演題 認知症の在宅医療について
 講師 認知症疾患医療センター長 成田実先生
 26日 決算役員会(京都)
 7月 1日 敷地内全面禁煙
 6日 七夕コンサート
 17・18日 医療安全研修会
 演題 安全な車椅子の移乗動作を考えよう
 講師 リハビリ作業療法士 日下部洋平
 26・30日 人権学習(病院・訪問看護)
 演題 老人の超越と人間尊重の医療
 講師 奈倉道隆氏
 8月21日 地藏盆
 26日 入院(CSセット)説明会
 31日 TQM活動 第1回目ヒアリング
 9月13日 愛知・犬上医師連絡会
 演題 ビスホスホネート製剤長期服用に伴う非定型骨折
 講師 整形外科部長 本原功二郎先生
 13日 消費税増税についての説明会
 26日 准看護学院 戴帽式
 26日 互助会献血
 10月 9日 互助会美化運動
 15日 災害総合避難訓練
 15・16日 感染防止対策研修会
 演題 医療施設における環境整備
 講師 サラヤ(株)
 29～31日 職員健康診断
 11月12日 近畿厚生局滋賀事務所による施設基準等に係る適時調査
 22日 医療安全研修会
 演題 院内急変時システム
 講師 院長 横田徹先生
 26日 精神科病院実地指導・実地審査

- 27日 互助会美化運動
27日 中間役員会（京都）
29日 TQM活動 第2回目ヒアリング
29日 事務勉強会
演題 施設基準、平均在院日数について
30日 公開セミナー
演題 白内障と緑内障
講師 眼科部長 富田靖之先生
12月 4日 医療機関立入検査（彦根保健所）
5日 医療ガス安全研修会
演題 医療ガス取扱いにおける事故・災害の予防について
講師 大丸エナウイン（株）
6日 医療安全研修会
演題 院内急変時システム
講師 院長 横田徹先生
7日 管理職員人権現地視察研修会
9日 物故者追弔会
13日 互助会クリスマスパーティー
2020年 1月 6日 互礼会
15日 みんなで学ぼう
演題 発達障害をもつ人の対応方法基礎編
講師 滋賀県発達障害者支援センター 巽亮太氏
23日 愛知・犬上医師連絡会と新年会（竹平楼）
演題 COPDの診断と治療
講師 滋賀医大内科学講座教授 中野恭幸先生
23・24日 感染防止対策研修会
演題 みんなで取り組む感染対策
講師 感染管理認定看護師 堀江美紀
2月13日 個人情報保護対策・ITセキュリティ対策研修会
演題 情報セキュリティ勉強会
講師 日本事務器（株）新谷敏朗氏
14日 個人情報保護対策・ITセキュリティ対策研修会
演題 情報セキュリティ勉強会
講師 日本事務器（株）新谷敏朗氏
17日 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対策研修会
演題 豊郷病院における体制について
防護用具の着脱について
17日 外国人労働受入セミナー
17日 病院経営情報分析システム「セコム SMASH」操作説明会
19日 NST・褥瘡予防対策研修会
演題 認知症による食行動への影響
講師 梅花女子大学 井戸由美子
20日 2019年度TQM活動発表会
3月 3日 准看護学院卒業式
17日 初期消火避難訓練
18日 診療情報改定セミナー
24日 帰国者・接触者外来の設置

〈介護施設関係〉

- 2019年 6月25日 入退院支援を考える合同会議（マックスひこね）
 28日 認知症施策担当者会議（オレンジ）
 7月 4日 滋賀県主催 第1回わが町の地域包括ケアを考える研修会（オレンジ）
 7日 川瀬自治会清掃活動（きらら、ゆうゆう）
 16日 管理者研修会
 23～24日 認知症地域支援推進員 実務者研修（オレンジ）
 27日 パストラールとよさと夏祭り
 8月 3日 彦根市人権教育研修会（マックスひこね）
 3日 きらら・ゆうゆう夏祭り
 10日 尼子夏祭り（らくらく）
 20日 認知症サポーター活動促進「チームオレンジ」に関わる説明会（オレンジ）
 20日 けやき・らくらく夏祭り
 21日 パストラールとよさと地藏盆
 26日 湖東圏域認知症疾患医療連携協議会（オレンジ）
 28日 第2回わが町の地域包括ケアを考える研修会（オレンジ）
 30日 キャラバンメイトフォローアップ研修開催（オレンジ）
 9月 2日 愛荘町認知症街頭啓発活動（オレンジ）
 8日 甲良町防災避難訓練（らくらく）
 8日 地域、家族交流会（らくらく）
 12日 避難訓練（パストラール）
 18日 パストラールとよさと敬老会
 19日 けやき・らくらく避難訓練
 27日 近畿ブロック介護老人保健施設大会 in 和歌山
 10月 5日 甲良町老人クラブ大会（らくらく）
 8日 豊郷町宅老所（磯辺亭）にて認知症についての勉強会（オレンジ）
 9日 パストラールとよさと運動会
 11月 3日 川瀬自治会清掃作業活動（ゆうゆう、包括きらら）
 7日 介護者支援を目的とした座談会（オレンジ）
 7日 きらら・ゆうゆう秋季避難訓練
 9日 甲良町認知症フォーラム（けやき、らくらく）
 9日 パストラールとよさと介護の日
 15・30日 多賀町役場職員対象認知症サポーター研修（オレンジ）
 12月 5日 高島市の認知症カフェへの視察研修
 18日 パストラールとよさと餅つき大会
 2020年 1月16日 合同災害机上訓練（マックスひこね、とよさと）
 20日 湖東圏域 高度な医療を要する方の災害医療対策（マックスひこね）
 30日 認知症施策担当者会議（オレンジ）
 2月 4日 芸能ボランティア（成田山 パストラール）
 5日 第3回わが町の地域包括ケアを考える研修会（オレンジ）
 14日 成年後見人制度 合同研修会
 17日 入退院支援を考える合同会議（マックスひこね）
 3月12日 避難訓練（パストラール）
 23日 けやき・らくらく避難訓練
 ※毎月第4木曜日 オレンジ定例会
 ※毎月第2木曜日に介護者の集い「笑福の会」（けやき、らくらく）
 ※毎月第3火曜日認知症カフェ（らくらく）

14 公益財団法人 豊郷病院 長期事業計画

(2018年度～2027年度)

テーマ step to 100

さあ 100周年に向けて!!

〈内容〉 sensibility (感度) をあげ teamwork (協調) して
energy (活力) をつけて performance (実行) する
感度をあげ協調し活力をつけて実行し 100 年に向かう

平成 30 年度は平成の最後の年で同時に、これからの時代が大きく変化する転換期になることが予測される。またそこからはじまる 10 年間となる。

ガソリンから EV、IT やロボット化、デジタル化が進みキャッシュレス時代、働き方改革や、人員不足から外国人労働者の導入や高齢者雇用の増加がすすみ、特に 2025 年（創立 100 周年）には、全人口の 18% が後期高齢者で 3 割以上が 65 歳以上となり今迄国を支えた世代が給付を受ける側となり社会保障費の膨張・税不足・生産労働人口の減少の三重苦に見まわれることになる。

一方、現在（2018 年）滋賀県では地域別で見ると医療需要の緩やかな減少地域で医療費は全国平均程度でその内、二次医療圏別の湖東地域は人口の減少地域で医療需要が減少することが予測される。そのことから、今後各病棟をどのように機能転換するかが重要なポイントになる。

また、機能転換後の後方病床は地域の基幹病院の動向に大きく左右される時代になることから、どう特色を出す病棟にしてゆくかが問われることになる。このことから、法人としては更に研鑽し経営の健全化と良質な医療を効率的に提供するため安定した財務体質の法人経営を構築する。

法人は 2025 年に創立 100 年となるが、あらためて今日迄、創立精神である「郷土愛と博愛ならびに奉仕の心」で地域の発展と法人の拡大に努力してきたが、この背景となる時代の大きな変化の転換期に医療業界も入ってゆく重要な 10 年間と認識すると共に「豊かな郷で心と体の健康を 家族のように」の基本理念のもと、今後も地域の医療・保健・福祉を支えるために医療事業・介護事業・教育研究事業の複合体組織で安定した法人経営を行い地域に貢献し発展させる。

また、前期から進めた医療事業では、地域包括ケアシステムにおいては急性期医療から回復期・慢性期の診療と精神医療の急性期・療養期、更には認知症医療も含め、介護事業では 18 事業の介護サービス事業で通所、訪問、施設、入所や入居施設を運営して、当法人グループ内連携の下で「医療から介護迄を一貫で支援」することを更に強化する。

また、第 7 次医療計画及び第 7 期介護保険事業計画にてらしながら改編・改革を加える。

長期計画書

※以下、詳細 10 項目については、掲載省略

第7期中期計画

(2018年度～2020年度)

テーマ “トヨサト チャレンジ 6”

A&A【活気(activity)と行動(action)】

法人運営

I. 法人の基本方針

平成30年は、第7次医療計画及び第7期介護保険事業計画、国民健康保険の都道府県化、診療報酬・介護報酬の同時改定などの制度改定と2025年に向けた「地域包括ケアシステム」と「地域医療構想」達成のための変革がさらに加速される年となる。

当法人の中期計画書においても、これら制度改定と合わせて、重要な期間であり、これからの法人経営を磐石なものにできるかの運命が決まる期間とも言える。

当院は5疾病[※]においては脳疾患、糖尿病、精神疾患を担い、5事業[※]では、救急医療、小児医療に加え、在宅医療の関わりも持っている。中期事業計画では、法人の“基本理念”を中心に当院が持つ現有資源を効果的に提供することで、地域医療に貢献する基盤づくりの経営方針とする。

具体的なテーマは、“トヨサト チャレンジ6”と“病床再編6”であり、**現有体制で最大限の効果**を上げることが重要である。実行にあたっては、法人・病院全体が一体となって、取り組むことが必要であり、診療科、部門間の壁を取っ払い連携して協同する（Collaborate Medical Courses）ことが重大方針と考える。

※5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

※5事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療）

イ) トヨサト チャレンジ6

- | | |
|---------|------------------|
| ①質の向上 | ④データ活用による法人・病院経営 |
| ②生産性の向上 | ⑤病床・施設再編 |
| ③人材育成 | ⑥経営基盤の確立 |

※以下、詳細説明及び事業部門別・部科（課）別計画書ならびに法人の年間目標額については掲載省略

15 2020年度 経営方針

活気・行動/柔軟発想・改革/医療・介護連携

第7期 中期計画 3年計画（2018～2020）の最終年度
“トヨサト チャレンジ 6”の実行/確立、改元実行

1. 質の向上・人材育成・運営強化

人権尊重と診療の質の向上

医療安全・感染防止対策の推進、患者満足度（安全・安心）向上

柔軟発想とレベルアップ、連携・共有

能力開発とリーダー育成、人材モチベーション、登用

人材教育、接遇マナー向上と思いやりの心

働き方改革対応と離職防止対策、自己健康管理

人材確保（高齢者、障害者、外国人等）・雇用対策

2. 効率運営・生産性向上・安定経営

患者・利用者の確保/断らない運営/救急対応強化

法人内連携強化による相乗効果の発揮と業務改善

病床稼働率確保と平均在院日数維持

収益確保と財務体質強化

経費削減と効率運営

災害時事業継続計画（BCP）の策定・訓練、対応

地域医療連携推進法人化対策模索

16 地域交流 TQM 活動

2019年度発表会

2019年度のTQM活動は5年目となりました。今年度は6月7日にキックオフ研修会を行い2回のヒアリングを経て2020年2月20日に発表会を開催しました。

14チームが発表を行い、見学者も含めた当日の発表会の参加者は131名となりました。

来年度も継続して行い、より良い病院にすべく職員一同邁進してまいります。

日 時：2020年2月20日（木）17：15～19：30

場 所：9病棟2階ホール

審査員：（委員長）佐藤代表理事

- ・横田院長・成田副院長・難波江副院長・土井副院長
- ・曾我副院長（兼診療部長）・富田医局長
- ・種村統括本部長・力石地域包括統括部長
- ・川村薬剤 医療技術部長・片山看護部長
- ・菅原統括所長・吉田リハビリテーション科部長
- ・立川義博氏 <13名>

司 会：山本真弓 事務局：平木真理奈

16：20～会場準備（9-2ホール）

16：50～会場受付

17：15～開会式

17：20～審査員の紹介、開会宣言

17：25～発表開始

<<発表時間：各チーム約8分>>

19：30～閉会

	開始時間	終了時間	部 署	チーム名	発表形式	発表責任者
1	17:25	17:33	栄養科	栄養サマリー作成し隊	パワーポイント	土川 香菜
2	17:33	17:41	臨床検査科	2019 メディカル T	パワーポイント	赤崎 勇希
3	17:41	17:49	1病棟3階	二代目 ひまわり活性隊 ☆ナイト	パワーポイント	横田 尚和
4	17:49	17:57	訪問看護ステーションとよさと・はたしょう・ひこね	瞳の中にレインボウ	パワーポイント	小野 陽子
5	17:57	18:05	リハビリテーション科	患者様がトランスファーの時、車椅子のフットレストに足が当たって皮膚剥離したので病棟の車椅子を点検、入れ替えをして使い方を正しく改めて皮膚剥離ゼロを目指すためのチーム	パワーポイント	七里 元規 橋本 淑朗
6	18:05	18:13	デイサービスセンターきらら	まんぶく&まんぞく家族	パワーポイント	西山 健一
7	18:20	18:28	5病棟2階	5年2組 栄子先生	パワーポイント+動画	北川 遥・永井理紗子
8	18:28	18:36	3病棟3階	OK (TT)	パワーポイント	小倉 実菜子
9	18:36	18:44	豊郷病院 ICT	感戦5レンジャー+小梅	パワーポイント+動画	堀江 美紀
10	18:44	18:52	マックスとよさと・ひこね	チームマックス∞【エイト】チャレンジャー	パワーポイント	上田 紀子
11	18:52	19:00	臨床工学科	# 経営コンサルタント CE	パワーポイント	北川 香里
12	19:00	19:08	診療部・薬剤部・とよサポ・看護部	polypharmacists	パワーポイント	深田 龍哉
13	19:08	19:16	医事課・企画財務課・診療情報管理室	請求ハンター イジカ	パワーポイント+劇	森田 克哉
14	19:16	19:24	3病棟6階	ムダ0	パワーポイント+劇	川口 智未

各賞	部 署	チーム名
代表理事賞	1病棟3階	二代目 ひまわり活性隊☆ナイト
院長賞	栄養科	栄養サマリー作成し隊
立川賞	デイサービスセンターきらら	まんぶく&まんぞく家族
インフルエンサー賞	3病棟3階	OK (TT)
チームワーク賞	5病棟2階	5年2組 栄子先生
アイデア賞	豊郷病院 ICT	感戦5レンジャー+小梅
未来賞	臨床工学科	# 経営コンサルタント CE
努力賞	医事課・企画財務課・診療情報管理室	請求ハンター イジカ
エントリー賞	臨床検査科	2019 メディカル T
	訪問看護ステーションとよさと・はたしょう・ひこね	瞳の中にレインボウ
	リハビリテーション科	患者様がトランスファーの時、車椅子のフットレストに足が当たって皮膚剥離したので病棟の車椅子を点検、入れ替えをして使い方を正しく改めて皮膚剥離ゼロを目指すためのチーム
	マックスとよさと・ひこね	チームマックス∞【エイト】チャレンジャー
	診療部・薬剤部・とよサポ・看護部	polypharmacists
	3病棟6階	ムダ0

17 人権教育研修

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

平成 30 年度 人権啓発活動目標

みんなで築こう人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心～

- (1) 開催 2019 年 4 月 15 日 (月)
2019 年 10 月 21 日 (月)

(2) 研修・学習内容

院内 1. 新入職員・各職場人権教育推進担当者・准看護学院学生対象人権研修会

2019 年 4 月 12 日 (金) 新入職員 30 名

講演 「人に優しく 人を大切に 目指そう素敵な大人」

講師 福原重和 氏 (彦根市役所 人権啓発指導専門員)

2. 2019 年度 豊郷病院人権研修会 参加者 470 名

【医療職員対象】

7 月 26 日 (金)・31 日 (水)

テーマ：医療 老年の超越と人間尊重の医療 - 超高齢化時代の医療の倫理 -

講師：奈倉道隆 氏

(老年科医師・介護福祉士 / 京都大学医学研究科医の倫理委員会委員)

【介護職員対象】

7 月 29 日 (月)・8 月 1 日 (木)

テーマ：介護 老年の超越と人間尊重の介護福祉 - 超高齢化時代のケアの倫理 -

講師：奈倉道隆 氏

(老年科医師・介護福祉士 / 京都大学医学研究科医の倫理委員会委員)

3. 管理職対象現地視察研修会 参加者 37 名

2019 年 12 月 7 日 (土)

場所：ゆずのだいどこ (甲良町長寺)

内容：西ヶ丘山林の歴史とゆずのだいどこのなりたちについて

講師 寺本純二 氏 (ゆずのだいどこ理事)

高橋良男 氏 (村づくり委員長)

4. 職場別人権学習

職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施

院外 1. 研修会等に 17 回参加 参加者 24 名

主催 滋賀県

彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町

滋賀人権啓発企業連絡会

滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック

彦根・愛知・犬上職業対策連絡協議会

豊郷町人権教育推進協議会 等

I

医療事業の部

2019年度は2025年に向けて、より効率的・効果的な医療提供体制の方向に進め、急性期からリハビリを活用して回復期リハビリ・在宅復帰支援と在宅医療の提供支援を行い、精神科医療と併せて、入院から社会復帰できる支援を行う「地域密着型病院」を前年度に続きすすめてまいりました。

更に業務効率向上・情報の共有化・データ一元管理・医療安全の確保・退院促進を行うなど効果的な運用が出来ました。

上期においては、外来は5月の連休を3日間開院したこともあり、また外来単価アップや透析2クールの実施により、+4.2%の売り上げを確保することが出来ました。入院は、病床稼働率は4～6月は好調に推移しましたが、異常気象もあり夏頃から低下しました。

下期においては、10月に常勤麻酔科医の退職により手術件数が低下しましたが滋賀医大麻酔科と連携し体制維持しました。また平均在院日数の短縮にむけて積極的な新規入院患者の獲得や退院・転棟を行うことにより回転率を上げて12月には、今期最高の数値結果となりV字回復いたしました。

医療療養病棟は、7月から初期認知症対応型の地域包括ケア病棟の施設基準認可を受け運用を開始しました。診療単価は一人当たり5,784円アップし改善が図れました。しかし、患者については認知症の中程度以上の患者層が多く、当初目標の初期認知症診断パスを利用できる患者の獲得に苦戦しました。

回復期リハビリテーション病棟においては、施設基準のランクアップを行いました。看護職員の夜間配置の基準が満たせず申し訳ない結果となりました。

年明けから、新型コロナウイルスによる世界的な拡大から徐々に患者数が減少してきており、全国的に影響が出ています。中でも外来の減少と入院の病床稼働率の低下は病院事業への影響が大きく、外来患者数が戻るのに時間がかかることはやむを得ない状況ですが、入院については各診療科が一致協力して病床稼働率向上に努めます

第7期中期計画の“トヨタチャレンジ6”の実施にむけて、診療の質の向上、医療安全・感染対策の徹底、病院の効率運営、並びに稼働率90%確保、コスト管理意識の徹底、職員の自己健康管理の徹底、コンプライアンスの遵守、思いやりの心（丁寧な対応）、職員の和等について、各部署にて取り組みを致しました。

経営改善にむけては、四役会や経営コンサルタントとの定期ミーティングや、病院長参加の早朝ミーティングで各病棟の情報を共有し、現場主義の経営を図りました。

〈診 療 部 門〉

医師理念

安価な医療の提供！

患者さまには率直で心をこめて説明！

EBMにいきなりEBMから出でよ！

基本目標

- 1：的確で迅速な診断、最小限の検査と安全な治療を行う。
- 2：トータルコストは安く、在院日数を短縮し単価は維持する。
- 3：チーム医療を大切にし、お互いの職業理念を尊重する。
- 4：対面診察、説明と同意、診療情報管理を大切にする。
- 5：プライマリー・ケアー、ACLSとEBMの基本を身につける。
- 6：患者さまの権利と個人情報の保護は重大な責務と認識する。

1 診療部事業経過

平成31年度(令和元年度)(2019.4.1~2020.3.31)の医局の人事異動はつぎの通りです。採用の常勤医師として、西嶋泰洋先生(2019.4.1 精神科)、阪上悌司先生(2019.8.1 精神科)、奥田和美先生(2019.8.1 老健施設)の3名が入職されました。退職された先生は、桐山畜夫先生(2019.7.31 老健施設)、濱田芳隆先生(2019.9.10 脳神経外科)、小島修先生(2019.10.31 麻酔科)、荒木勸先生(2019.3.31 整形外科)、西嶋泰洋先生(2019.3.31 精神科)の5名です。

濱田芳隆先生は、昭和62年8月より30年以上の長きにわたり脳神経外科の診療を支えていただきましたが、療養のため退職されました。豊郷病院の平成時代を支えて頂いた先生に厚く御礼申し上げます。

昨年度は精神科の常勤医師数の減少により4月から当直を一時的に中止していましたが、4月に西嶋先生、8月に坂上先生に入職頂き、8月より精神科当直体制を復活することができました。またパストラールとよさとはでは、桐山先生の後任として奥田先生が施設長として入職頂きました。各科とも医師確保は難しく、京都大学、滋賀医科大学の各医局や、近隣の医療機関のご協力により、常勤医、非常勤医を派遣していただいております。今後も医師の確保は困難な状況が続くと予想されますが、働き方改革を実践しつつ、女性医師の勤務にも配慮し、地域に安定した診療を提供するという責務を果たしたいと考えています。

医療提供体制では昨年3月末の消化器科常勤医師退職により、患者減の影響を懸念いたしましたが、常勤医師や非常勤医師の連携により対応することができました。精神科については、常勤医師の獲得により精神科病棟の安定した稼働率が確保できました。

一方、2019年12月に中国武漢から新型コロナウイルス感染症が発生し我が国では2020年1月16日に第1号の感染者がでました。従い4月7日には緊急事態宣言が発せられ新年度は正にCOVID-19との戦いになります。今後とも患者様への心をこめた診療と地域医療を守る病院として発展するよう貢献してまいります。また当法人は病院の他に訪問看護をはじめ各種介護施設を多数運営しております。今後とも行政や地域と連携して支えてまいりますので皆様の一層のご支援をお願い致します。

診療部
病院長
横田 徹

2 各科の事業・業績報告

循環器内科

① スタッフ

富田行則（部長）

常勤医師 1 人 非常勤医師 6 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

心臓カテーテルなど侵襲的加療は当院では行えないため、侵襲的加療を行わない、望まれない患者様を点滴、内服による薬物療法、またリハビリテーションでの加療を行います。つまり、高齢者の慢性心不全を主に診ることを特色としております。

年間患者数：外来 9,911 人 入院 5,807 人

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

2020年2月8日 当院における高TG血症に対する薬物治療の現状 富田行則

④ その他特記事項

心臓カテーテル検査は施行しておりませんが、心臓カテーテル検査施行前の評価として、心臓CT検査は当院でも行えますので、心臓CT検査のみの依頼も可能です。

呼吸器内科・呼吸器外科

① スタッフ

佐藤公彦（代表理事・名誉院長）、伊部邦宏（内科系統括部長・部長）、吉橋彩子（部長）

常勤医 3 名 非常勤医 8 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科は、呼吸器感染症・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・びまん性肺疾患・胸部悪性腫瘍・睡眠時無呼吸症候群などあらゆる呼吸器疾患に対応できるよう取り組んでいます。

2019年度もこれまでと同様、下記の通り様々な呼吸器疾患および呼吸器疾患だけでなく幅広い症例に対応してきました。外来患者数および新規入院患者数も昨年度より増加しています。また新規取り組みとして2019年7月より禁煙外来を開始しました。2020年3月までに5名の方が受診され、4名が禁煙成功しています。

2019 年度治療実績

年間患者数：外来 11,385 人、入院 11,920 人

外来患者数 38.9 名/日、新規入院患者数 377 名/日、禁煙外来 新規 5 名

気管支鏡検査 15 件/年、局麻下胸腔鏡 2 件/年、PSG 検査 63 件/年、手術 2 件/年

健診部門 SAS 簡易 PSG 検査 8 件/年、胸部 CT 17 件/年、呼吸機能検査 1 件/年

2019 年度入院加療病名（退院時主病名より）

(単位：名)

呼吸器感染症		肺癌などの悪性疾患	19
肺炎(誤嚥性、気管支炎を含む)	145	COPD	32
インフルエンザ感染症	1	びまん性・間質性肺疾患	31
抗酸菌感染症	6(うち結核1)	気管支喘息発作	11
胸膜炎・肺膿瘍・膿胸	6	気胸(外傷性含む)、縦隔気腫	9
慢性気管支炎・気管支拡張症	8	慢性呼吸不全(増悪含む)	7
		その他	3

呼吸器疾患以外（丹毒、肝外胆管癌、原発性マクログロブリン血症、鉄欠乏性貧血、脱水症、急性アルコール中毒、尿路感染症、急性腎盂腎炎、前立腺炎、急性薬物中毒、腹部大動脈瘤破裂、過換気症候群、帯状疱疹、来院時心肺停止、急性心不全、心原性脳塞栓症、脳梗塞、小脳出血、アルツハイマー型認知症、耳性めまい、耳下腺炎、偽痛風、横紋筋誘拐症、頸椎損傷、心不全、急性心筋梗塞、急性胃腸炎、電解質異常、脳梗塞、てんかん、耳性めまい症など）（検査入院や疑い病名は省く）

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

○執筆

「日常診療の中の喘息患者」伊部邦宏 Respica volume17,no.5,736-741(2019)

○講演

2019 年 6 月 22 日 第 29 回滋賀呼吸不全研究会 ホテルニューオウミ

Closing remarks 佐藤公彦

2019 年 11 月 14 日 湖北喘息連携の会 エクシブ琵琶湖

Closing remarks 佐藤公彦

2019 年 11 月 30 日 第 4 回滋賀呼吸ケアフォーラム

教育講演「酸素投与の基礎」伊部邦宏

(座長 佐藤公彦、中野恭幸先生 (滋賀医科大学呼吸器内科教授))

消化器内科

① スタッフ

土井久和（副院長） 門元優（医長） 吉川邦生（健診部長兼務）
常勤医師 4人 非常勤医師 5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

滋賀県内でも高齢者の割合が多い湖東地域において、複数の基礎疾患を持った高齢者の消化器疾患と、人間ドックによる無症候性消化器疾患治療の両面で診療を行なっています。精神科を有する当院では、他病院では診療困難な精神疾患や認知症を持つ患者さんの消化器診療も可能です。

年間患者数：外来 6,785 人、入院 7,629 人

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

〈講演〉

2019年11月28日 湖北医師会学術講演 「肝炎治療における最近の話題」

内科（糖尿病）

① スタッフ

高木敬文（糖尿病内科部長）
常勤医師 1人 非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 5,826人、入院 1,381人

外科・消化器外科

① スタッフ

横田 徹（院長）、井内武和（部長）
常勤医師 2人 非常勤医師 4人

② 特色・症例・治療・成績・実績

手術件数	上部消化管	10件	(13)
	下部消化管	27件	(16)
	胆嚢	9件	(11)
	肝	1件	(0)

肛門疾患 13件 (16)
ヘルニア 30件 (31) ()は2018年度
年間疾患数: 外来 3,820人、入院 6,501人、手術件数 132件

③ 論文、学会・研究発表・講演・トピックス

発表

2019年11月2日 琵琶湖消化器外科懇話会
手術を施行した腸管気腫症の1例 井内武和

④ その他特記事項

2019年は人口肛門閉鎖や膿瘍ドレナージなどで下部消化管手術数が増加した。
胆嚢手術は2013年(16例)、2014年(18例)、2015年(24例)と以前は20例前後であったが2017年以後は減少傾向で、特に今年度は処置のできる消化器内科常勤医の退職にともない減少している。

泌尿器科

① スタッフ

曾我弘樹(副院長・診療部長) 鄭裕午(医長)
常勤医師2人 非常勤医師7人

② 特色・症例・治療・成績・実績

泌尿器科では前立腺癌・膀胱癌の新規患者が多数来院され、状態に合わせて前立腺癌の腹腔鏡下手術・ロボット支援下手術・放射線治療以外の加療は施行しております。腹腔鏡下手術・ロボット支援下手術・放射線治療希望時には、滋賀医科大学など施行可能な医療施設に紹介しております。その他の腎癌・腎盂尿管癌・膀胱癌・精巣腫瘍等に関しては、可能な限り当科にて体腔鏡下手術も含めて加療しております。また前立腺癌に対するホルモン療法、その他の化学療法、がん免疫療法なども積極的に施行しております。

悪性腫瘍以外では前立腺肥大症は薬物療法が中心となりますが、必要時には経尿道的手術を施行いたします。その他の排尿障害や過活動膀胱等に関しては、薬物療法・行動療法を中心に加療しております。

尿路結石に関しましてはESWLと共に必要時には経尿道的手術も施行しております。

尿路感染症については薬物療法のみだけでなく、ドレナージ等が必要な複雑性尿路感染については積極的にドレナージを施行しております。

また当科では血液透析患者の透析導入・管理を内科医師とも連携して担当しており、内シャント造設術・シャントPTAも施行しております。

年間患者数: 外来 7,869人 入院 2,612人 手術件数 83件

③ 論文、学会、研究会発表、講演、トピックス

2019年度は特記すべきものはありません。

④ その他特記事項

その他特記すべきものはありません。

整形外科

① スタッフ

難波江正浩（副院長 外科系統括部長） 荒木勸（部長） 本原功二郎（部長）
常勤医師 3 名、非常勤医師 7 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

整形外科では、さまざまな外傷や疾患の保存的および手術治療を行っています。

2019 年度の手術件数は 321 件でそのうちわけは、骨折手術 84 例（うち人工骨頭置換術 13 例）、手の外科手術 124 例、関節鏡視下手術 31 例、人工関節置換術 37 例などでした。

高齢化の進むなかで、高齢者の骨折や外傷が比較的多くなっています。また滋賀医大整形外科学教室と連携をとり、当院リハビリテーション科とも協力をしながら膝関節手術や、手外科手術といった専門分野にも特化しています。

難波江副院長（整形外科専門医、学会認定運動器リハビリテーション医）と、主に膝関節外科を担当している荒木部長（整形外科専門医、学会認定スポーツ医）、本原部長（整形外科専門医、手外科専攻医）の常勤医 3 名で地域医療に貢献できるよう研鑽していくことを心がけています。

年間患者数： 外来：21,367 人 入院：8,478 人 年間手術件数：321 件

③ 論文、学会・研究発表

〈学会発表〉

2019/12/ 4 40th SICOT Orthopaedic World Congress (Muscat, Oman)
～ 2019/12/ 7 Atypical ulnar fracture associated with long-term use of
bisphosphonate (a case report and literature review).
Kojiro MOTOHARA

脳神経外科

① スタッフ

木築 裕彦（部長）
平井 久雄（湖東記念病院脳神経外科・副院長）
嶋 綾子（湖東記念病院脳神経外科）
常勤医師 1 名 非常勤医師 2 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間外来患者数 2,225 例 (新患 424 例)

③ 論文・学会・研究発表・講演・トピックス

〈学会発表〉

木築裕彦

『高齢者の睡眠管理について ～ベンゾジアゼピンおよび A drug を使わない管理を目ざす試み』
第 56 回日本リハビリテーション医学会総会 神戸 2019.6.15

木築裕彦

『慢性化した頭痛を持つ患者が『頭痛専門外来依存症』から卒業できる日』
第 20 回京都頭痛懇話会 京都 2019.9.14

木築裕彦

『回復期リハビリテーションにおける高齢認知症患者に対する睡眠管理』
第 38 回日本認知症学会学術集会 東京 2019.11.8

木築裕彦

『緊張型頭痛を再考する (第 2 報) ～緊張型頭痛が単一疾患ではない可能性について～』
第 47 回日本頭痛学会総会 さいたま 2019.11.5

〈講演〉

木築裕彦

『虚血性脳血管障害の再発予防を再考する』
第 4 回 滋賀県薬剤師会研修会 守山 2019.1.17

木築裕彦

『せん妄』
令和元年度滋賀県医療従事者認知症対応力向上研修事業研修会 草津 2019.9.13

木築裕彦

『片頭痛・緊張型頭痛の現状・治療』
精神科治療セミナー in 東金 東金 2019.12.3

木築裕彦

『認知症の疾患理解・認知症の方や家族への対応・認知症の診断と治療について』
令和元年度診療所・病院外来部門で働く看護職対象 認知症対応力向上研修会 草津
2019.12.19

④ その他特記事項

脳神経外科では、火曜日ならびに金曜日の外来で、『頭痛専門外来』を開設しております。お困りの頭痛の症例がございましたら御一報賜りましたら幸甚に存じます。

眼科

① スタッフ

富田靖之（部長）

常勤医師 1 名 非常勤医師 6 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科は白内障手術治療に重点を置いており、他院では手術できないような難症例も積極的に受け入れています。外来待ち時間短縮のため金曜日の外来を 2 診体制とし、外来患者数の増加を図っています。

年間患者数：外来 8,792 人、入院 1,248 人、手術件数 374 件

年間健診数：1,801 人

③ 研究発表

豊かな郷で心と体の健康を 『白内障と緑内障』

～似た名前の 2 つの病気について解説します～

2019 年 11 月 30 日

演者：富田靖之

眼科検査

令和元年度

項 目	外 来 (回数)	入 院 (回数)	合 計
精密眼底検査（片側）	189	38	227
（幼）精密眼底検査（片側）	1	0	1
（幼）精密眼底検査（両側）	6	0	6
精密眼底検査（両側）	5,011	148	5,159
眼底カメラ撮影（蛍光眼底法）	8	0	8
角膜内皮細胞顕微鏡検査	358	2	360
細隙灯顕微鏡検査（前眼部及び後眼部）	1,436	32	1,468
（幼）細隙灯顕微鏡検査（前眼部及び後眼部）	4	0	4
（幼）細隙灯顕微鏡検査（前眼部）	13	0	13
（乳）細隙灯顕微鏡検査（前眼部）	1	0	1
網膜電位図（ERG）	1	0	1
動的量的視野検査（片側）	130	2	132
静的量的視野検査（片側）	794	2	796
屈折検査（調節麻痺剤使用）（6 歳未満）	1	0	1
（幼）屈折検査	1	0	1
屈折検査（6 歳未満）（薬剤負荷）	4	0	4
調節検査	3	0	3
（幼）調節検査	1	0	1
矯正視力 1（眼鏡処方箋の交付を含む）	4,719	103	4,822
矯正視力 2（1 以外）	99	9	108
（幼）矯正視力（眼鏡処方箋交付無し）	3	0	3
精密眼圧測定	4,795	115	4,910
角膜曲率半径計測	1,172	5	1,177
眼筋機能精密検査及び輻輳検査	43	4	47
（幼）眼筋機能精密検査	4	0	4
両眼視機能精密検査	14	0	14

細隙燈顕微鏡検査（前眼部）	4,456	193	4,649
輻輳検査	1	0	1
圧迫隅角検査	2	0	2
眼球突出度測定	1	0	1
色覚検査（定量的色盲表検査）	4	0	4
弱視視能訓練	14	0	14
涙液分泌機能検査	1	0	1
涙管通水・通色素検査	188	2	190
中心フリッカー試験	38	1	39
合 計	23,516	656	24,172

(統計：医事課)

耳鼻咽喉科

① スタッフ

非常勤医師 3人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 3,786人

年間健診数：2,179人

耳鼻咽喉科検査

令和元年度

項 目	外 来 (回数)	入 院 (回数)	合 計
標準純音聴力検査	100	1	101
平衡機能検査（標準検査）	101	1	102
平衡機能（その他）	41	0	41
気道純音聴力検査	195	6	201
静脈性嗅覚検査	8	0	8
簡易聴力検査	59	0	59
チンパノメトリー	9	0	9
合 計	513	8	521

(統計：医事課)

小児科

① スタッフ

三村由卯（部長）

常勤医師 1人 非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 2,424人

年間健診数：43人

皮膚科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 3,132人

婦人科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 617人

脳神経内科

① スタッフ

非常勤医師 1人

② 特色・症例・治療・成績・実績

神経内科は近年の高齢化社会とともに神経内科に対する社会的ニーズも高まっていることから、地域医療をさらに充実・発展すべく平成28年9月より滋賀医科大学の全面的バックアップにより新規開設しました。

脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科で専門医師が問診を神経学的な診察、画像検査や電気生理学的を駆使してその症状の原因となる体の場所や病態を診断いたします。

特に頭痛、しびれやめまい、筋力低下、歩行困難、ふらつき、けいれん、むせ、しゃべりにくい、二重に見える、勝手に体が動く、もの忘れなどの症状の方が対象です。

年間患者数：外来 599人（但し土曜日、月間2回）

精神科

① スタッフ

林拓二（顧問）、西嶋泰洋（部長）、中江尊保（部長）、堀川健志（医長）、
岡村恭子（医長）、阪上悌司（R1.8より赴任、部長）

成田実（副院長；認知症担当）

常勤医師（認知症担当を含む）7人（精神科指定医4人、精神科専門医2人、指導医1人）、
非常勤医師3人

② 特色・症例・治療・成績・実績

精神科の医師スタッフは常勤医師7名、非常勤医師5名であり、前年まで勤めていた白井医師が退職して西嶋医師が赴任、年度途中から新たに阪上医師が赴任した。

当精神科は、滋賀県湖東地域における中核的病院として多様な患者を診る必要があり、外来・病棟とも内因性精神病を中心に老人疾患、アルコール、思春期、さらに精神遅滞の患者も受け入れ、措置入院も令和元年度は3名を引き受けている。

精神科病棟は、平成14年竣工の新病棟の5階と6階の2フロアを占め、3-6病棟（6階）は入院病棟（閉鎖病棟）であり、保護室4床と観察室2床を備え、3-5病棟（5階）は療養病棟（一部開放の閉鎖病棟）で、いずれも男女混合であり、定床はそれぞれ60床の計120床であるが、100床前後（令和元年度平均：103名）で運用されている。しかし、近年の精神科医療の趨勢を踏まえ、平成30年1月より入院病棟は精神科急性期治療病棟として運用し、近隣の精神科クリニックや病院との連携を深めながら新規入院患者を確保し、救急を含め地域の精神医療に果たすべき役割を引き受けている。

治療としては通常の精神科治療のほかに、修正型電気けいれん療法（令和元年度：2名、21回）を施行、難治性の統合失調症の治療剤であるクロザリルも使用している（令和元年度：1名）。

精神科外来は3診体制であり、一日平均の外来患者数は68名であった。当科は医療観察法指定医療機関として通院患者の診療（2名）を担当し、大津地方検察庁長浜・彦根支部管内の刑事精神鑑定も随時引き受けている。

年間患者数： 外来 16,589人 入院 37,878人 手術件数 21件

③ 論文、学会、研究発表、トピックス

1. 林 拓二：「めくら判は押したらあかん！」. 豊郷精神医学研究所年報、第9巻、1-4, 2019
2. 阪上悌司：少年犯罪と発達障害（1）. 豊郷精神医学研究所年報、第9巻、7-15, 2019
3. 林 拓二：古典紹介、カール・レオンハルト・著、『Aufteilung der endogenen Psychosen und ihre differenzierte Ätiologie』. 精神科臨床 Legato 5(2): 104-108, 2019
4. 林 拓二：DSM時代における非定型精神病. 豊郷精神医学研究所年報、第9巻、22-46, 2019
5. 林 拓二：私が考える精神医療の基本—治療と矯正. そして共生—. 豊郷精神医学研究所年報、第9巻、47-55, 2019
6. 武本一美：世界は救いに満ちている. 豊郷精神医学研究所年報、第9巻、98-100, 2019
7. 林 拓二：万引き常習事件—軽度精神遅滞. 豊郷精神医学研究所年報、第9巻、101-110, 2019

④ 講演

1. 林 拓二：DSM時代における非定型精神病. 精神医療を考える会、ホテルエミシア札幌、2019.10.10、札幌
2. 林 拓二：私が考える精神医療の基本－治療と矯正、そして共生－. 札幌トロイカ病院・院内後援会、2019.10.10、札幌

歯科口腔外科

① スタッフ

藤居 孝文 (医員)

常勤 1名 非常勤 3名 歯科衛生士 2名 歯科助手 1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科では、智歯（親知らず）の抜歯や炎症性疾患（化膿、腫れもの）、顎関節症、外傷（歯の破折・脱臼、裂傷、骨折）、腫瘍性疾患や全身疾患があり、病院歯科での治療が必要である患者さんを中心に治療を行っております。また、睡眠時無呼吸症候群と診断され、マウスピースでの治療が必要である方への口腔内装置作製や、脳血管障害などで摂食・嚥下（食べて、飲み込む）が困難である方に対し、嚥下リハビリテーションチームが行う摂食機能療法を行っております。

年間患者数：外来 6,421 名 入院 123 名 手術件数 114 例

③ 論文・学会・研究発表・講演

本年度は特記なし

麻酔科

① スタッフ

小島修 (部長)

常勤医師 1人 非常勤医師 1人

② 特色・症例・治療・成績・実績

麻酔科医は、手術や検査に伴う痛みを感じなくするのみではなく、全身状態を安全に保つ役割を担っております。

麻酔科専門医（指導医）が、麻酔の概要の説明、診察をさせていただき、より安全で適切な麻酔を行っています。

年間麻酔件数：全麻 290 件、腰麻 113 件、局麻他 586 件 合計 989 件

麻酔科件数

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全麻	23	21	25	22	20	20	28	23	29	31	22	26	290
腰麻	12	13	4	7	8	8	5	13	12	13	8	10	113
局麻	51	50	41	53	43	46	39	46	49	42	41	61	562
その他	3	1	3	1	1	4	4	1	1		1	4	24
計	89	85	73	83	72	78	76	83	91	86	72	101	989

(統計：手術室)

リハビリテーション科**① スタッフ**

難波江正浩（副院長・医師） 吉田 環（部長）

理学療法士 一般科 10名 回りハ 6名 アイルとよさと 3名

作業療法士 一般科 6名 回りハ 6名 精神 3名 レインボー 2名

(非常勤 1名)

② 特色・症例・治療・成績・実績

リハビリテーション科では外来、一般科入院、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護保険分野では訪問リハビリテーション、介護老人保健施設など多岐にわたりサービス体制を整え提供しております。

特徴としては腱板損傷をはじめとした肩関節疾患、変性疾患、それに伴う人工関節の術後、ハンドセラピー、COPDの呼吸リハビリテーションが特徴である。

精神科作業療法は、作業を通して自分の特徴に気付いてもらうことを目標に、箱づくり法検査を実施している。検査結果は患者さんだけでなく、院内スタッフや地域の支援者にも伝達し、患者さんの特性に配慮した支援の在り方を提案している。

入院患者さんにおいては、より安全で円滑な退院を目指すため病室→デイルーム→OT室（病棟外）、と段階的に行動範囲を広げていくシステムで実施している。出棟する際は単独や同伴といった一人一人の行動制限に合わせて行っている。

外来においては認知行動療法や元気回復行動プランを導入している。また、医師や精神保健福祉士、公認心理師との連携も行い、ひきこもり防止や就労復職支援といった精神科外来の機能拡充に努めている。

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

日 時：2019年9月6～7日

場 所：福岡国際会議場

第53回 日本作業療法学会

題 目：滋賀県の精神科作業療法におけるインフォームドコンセントの実態調査

発表者：岩田夏彦

日 時：2019年10月25～26日

場 所：ホテル国際21

第46回 日本肩関節学会

題 目：腱板断裂サイズの相違による関節トルクの比較

発表者：磯寄浩司

日 時：2019年10月26～27日

場 所：都立大学 東京 荒川キャンパス

認知神経リハビリテーション学会学術集会

題 目：手の骨折に伴う固定後に継続した把持の代償動作への介入

発表者：日下部洋平

日 時：2019年11月11日（月）

場 所：名古屋国際会議場

第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

題 目：滋賀県における呼吸リハビリテーションの均てん化の試み

発表者：吉田 環

<講習会>

日 時：2019年11月24日

場 所：済生会滋賀県病院

第15回 滋賀 COPD 管理講習会

講 師：山田知美・リハビリテーション科スタッフ

<講 演>

日 時：2019年12月7日（土）

場 所：ピアザ淡海

題 名：読売健康講座

「たかが五十肩？本当に五十肩？あなたの肩の悩みにお答えします！

～運動療法・リハビリテーション編～

発表者：磯寄 浩司

④ 研修会・学会参加状況

4 / 15	彦根地区新人職員ふれあいフェスティバル	5名
4 / 23	新任職員等研修会	4名
7 / 20～21	第16回箱づくり法全国研修会	2名
9 / 10	新しいプログラム開発のための自立訓練・就労移行事業所の見学	2名
10 / 26	第16回 肩の運動機能研究会	1名
11 / 11	第29回 日本呼吸リハビリテーション学会学術集会	2名

療法別延患者数(病院)

延患者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
理学療法	脳血管疾患等	入院	309	330	310	377	411	416	359	335	290	336	409	515	4,397
		外来	22	28	22	23	19	18	17	28	18	18	13	11	237
		計	331	358	332	400	430	434	376	363	308	354	422	526	4,634
	運動器	入院	966	987	917	932	808	704	819	974	1,009	967	753	690	10,526
		外来	326	308	307	366	381	358	376	342	376	390	328	341	4,199
		計	1,292	1,295	1,224	1,298	1,189	1,062	1,195	1,316	1,385	1,357	1,081	1,031	14,725
	呼吸器	入院	3	2	28	38	47	60	84	128	101	82	47	50	670
		外来	33	33	30	33	37	43	41	31	31	30	27	23	392
		計	36	35	58	71	84	103	125	159	132	112	74	73	1,062
	合計	入院	1,278	1,319	1,255	1,347	1,266	1,180	1,262	1,437	1,400	1,385	1,209	1,255	15,593
		外来	381	369	359	422	437	419	434	401	425	438	368	375	4,828
		計	1,659	1,688	1,614	1,769	1,703	1,599	1,696	1,838	1,825	1,823	1,577	1,630	20,421
作業療法	脳血管疾患等	入院	306	329	318	384	406	406	358	332	313	334	423	525	4,434
		外来	4	6	7	5	5	6	5	12	14	8	8	1	81
		計	310	335	325	389	411	412	363	344	327	342	431	526	4,515
	運動器	入院	857	855	791	734	609	568	693	815	913	831	611	507	8,784
		外来	125	139	100	90	91	67	70	61	89	80	82	110	1,104
		計	982	994	891	824	700	635	763	876	1,002	911	693	617	9,888
	呼吸器	入院	0	0	5	4	42	22	43	53	17	19	30	10	245
		外来	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
		計	0	0	5	4	42	22	45	53	17	19	30	10	247
	合計	入院	1,163	1,184	1,109	1,118	1,015	974	1,051	1,147	1,226	1,165	1,034	1,032	13,218
		外来	129	145	107	95	96	73	75	73	103	88	90	111	1,185
		計	1,292	1,329	1,216	1,213	1,111	1,047	1,126	1,220	1,329	1,253	1,124	1,143	14,403
言語療法	脳血管疾患等	入院	92	133	83	93	143	134	96	104	97	114	110	119	1,318
		外来	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	4	13
		計	92	133	83	93	143	134	96	108	102	114	110	123	1,331
	合計	入院	92	133	83	93	143	134	96	104	97	114	110	119	1,318
		外来	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	4	13
計	92	133	83	93	143	134	96	108	102	114	110	123	1,331		
精神科作業療法	644	721	646	753	723	500	456	529	571	719	692	664	7,618		
訪問リハビリテーション	395	372	370	438	389	380	677	445	447	452	380	434	5,179		

介護老人保健施設

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延患者数	1,469	1,369	1,338	1,429	1,347	1,224	1,372	1,319	1,322	1,228	1,155	1,424	15,996

(統計：リハビリテーション科)

放射線科

① スタッフ

放射線科医長 土井 久和

医長 1名(常勤)

放射線科医 7名(非常勤・内5名遠隔)

診療放射線技師 7名(常勤)

看護師 1名(非常勤)

② 研修参加実績

2019年6月9日	第50回CT画像研究会プログラム（大阪商工会議所）
2019年9月20日	第38回滋賀県放射線技師会CT研究会 （草津市立まちづくりセンター）
2019年9月27日	第60回滋賀MRI研究会（クサツエストピアホテル）
2019年10月27日	令和元年度「医療放射線安全管理講習会」 （京都教育文化センターホール）
2019年11月6日	（公社）滋賀県放射線技師会 湖東支部研修会（友仁山崎病院）
2019年11月8日	滋賀県放射線技師会MR研究会（草津市立まちづくりセンター）
2019年11月27日	京滋キャノンCT勉強会（京都テルサ）

放射線撮影人数

【科別】

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
全科	撮影	1,556	1,575	1,605	1,564	1,427	1,481	1,555	1,599	1,476	1,483	1,442	1,534	18,297	
	CT	508	510	582	532	522	472	522	499	504	482	512	556	6,201	
	MRI	194	199	214	212	197	172	179	156	176	161	187	177	2,224	
内科計	撮影	243	229	230	245	189	196	204	203	229	216	264	263	2,711	
	CT	131	140	152	149	138	118	135	123	118	133	119	140	1,596	
	MRI	15	15	13	19	11	14	10	15	6	18	15	19	170	
	循環器科	撮影	126	121	128	145	87	108	88	102	116	113	159	150	1,443
		CT	26	32	20	33	17	22	22	28	25	25	24	28	302
		MRI	3	0	3	4	1	0	3	1	1	5	3	6	30
	消化器科	撮影	24	17	15	14	13	10	31	19	10	12	9	16	190
		CT	69	68	90	83	88	64	82	66	56	66	56	70	858
		MRI	8	12	8	12	9	11	6	13	5	11	10	11	116
	心療内科	撮影	5	11	10	7	6	5	6	9	14	8	13	19	113
		CT	4	7	3	2	3	1	7	6	8	9	12	15	77
		MRI	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
	一般内科	撮影	31	26	23	23	29	13	19	13	31	24	23	22	277
		CT	27	29	35	26	28	26	18	17	25	28	22	22	303
		MRI	3	2	2	2	1	3	0	1	0	2	1	1	18
	透析	撮影	57	54	54	56	54	60	60	60	58	59	60	56	688
		CT	5	4	4	5	2	5	6	6	4	5	5	5	56
		MRI	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
呼吸器科	撮影	382	336	390	390	311	334	396	358	376	370	347	378	4,368	
	CT	172	138	224	158	143	141	190	169	179	144	163	192	2,013	
	MRI	10	6	6	5	4	5	5	2	3	4	5	6	61	
外科	撮影	83	72	49	64	50	62	58	73	43	65	56	69	744	
	CT	46	48	41	39	40	39	35	36	41	44	52	57	518	
	MRI	3	4	1	2	2	3	6	2	5	4	3	5	40	
泌尿器科	撮影	34	39	42	25	36	40	35	25	25	24	25	48	398	
	CT	22	43	27	24	33	31	28	32	22	23	34	29	348	
	MRI	7	6	5	7	5	2	8	3	3	5	3	5	59	
皮膚科	撮影	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
	CT	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	1	1	7	
	MRI	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3	
脳神経外科	撮影	4	12	6	8	6	7	4	6	4	3	11	10	81	
	CT	20	10	17	17	18	9	12	10	7	10	10	8	148	
	MRI	21	18	30	31	41	29	22	18	23	25	29	24	311	
整形外科	撮影	529	572	563	493	525	521	510	536	515	518	466	472	6,220	
	CT	24	35	30	23	31	29	33	26	40	36	30	28	365	
	MRI	56	60	61	54	45	40	48	40	44	35	52	53	588	

小児科	撮影	10	30	28	3	6	5	3	8	9	4	10	6	122
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	M R I	0	1	1	0	0	2	1	0	1	0	0	2	8
産婦人科	撮影	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	5
	C T	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
	M R I	2	3	2	1	0	0	1	2	1	1	1	0	14
耳鼻咽喉科	撮影	1	0	4	3	4	0	3	4	1	2	3	6	31
	C T	8	11	5	8	4	9	4	8	6	5	9	3	80
	M R I	0	1	3	2	0	3	4	2	4	2	3	1	25
眼科	撮影	16	20	14	18	16	13	23	24	13	18	14	17	206
	C T	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3
	M R I	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4
歯科口腔外科	撮影	112	126	103	126	115	119	137	132	108	98	114	122	1,412
	C T	13	17	14	24	25	18	13	20	15	14	16	29	218
	M R I	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4
精神神経科	撮影	10	9	20	15	11	13	15	13	16	22	19	16	179
	C T	18	9	8	13	17	21	12	8	18	21	17	15	177
	M R I	5	5	4	5	6	4	5	6	2	5	3	3	53
認知症外来	撮影	4	1	6	5	6	4	4	2	6	4	3	4	49
	C T	25	23	24	34	30	22	24	28	30	21	26	22	309
	M R I	6	2	2	4	1	6	4	0	3	0	1	3	32
神経内科	撮影	0	0	0	2	1	0	1	0	2	1	0	2	9
	C T	1	0	0	1	1	3	0	0	1	4	1	2	14
	M R I	5	0	0	4	7	3	3	8	4	1	1	2	38
健診	撮影	123	124	145	156	149	157	153	207	127	130	106	117	1,694
	C T	0	4	1	1	4	0	0	0	1	1	4	1	17
	M R I	3	4	6	8	6	7	6	7	5	7	4	2	65
老健科	撮影	5	8	3	3	1	8	18	5	1	2	2	8	64
	C T	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	M R I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	M R I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外	撮影	4	5	5	10	1	9	9	8	2	6	3	4	66
	C T	27	30	39	40	37	32	33	39	25	26	29	27	384
	M R I	60	74	79	70	68	53	56	49	69	52	67	52	749

(統計：放射線科)

【部位別】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
頭頸部	単純	5	4	5	6	7	2	7	4	4	4	4	7	59	
	造影	脳血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		頭部造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パノラマ	49	66	50	69	49	49	61	64	54	40	61	61	673	
	デンタル	70	68	61	62	70	72	80	64	55	58	56	64	780	
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
小計		124	138	116	137	126	124	148	132	113	102	121	132	1,513	
胸部	単純	823	815	851	828	699	775	834	830	806	791	801	831	9,684	
	造影	血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	2	6	1	2	1	1	3	1	1	0	2	3	23
	乳腺	14	19	27	38	30	35	24	24	27	19	13	24	294	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		839	840	879	868	730	811	861	855	834	810	816	858	10,001	

腹部	単純	188	185	199	145	134	144	155	164	138	152	117	147	1,868	
	造影	消化管	26	18	26	29	26	17	31	34	11	24	17	18	277
		尿路	4	3	2	5	1	3	6	0	2	0	0	3	29
		血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	5
	その他	0	1	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	9	
小計	219	207	229	181	161	165	194	199	152	178	134	169	2,188		
脊椎四肢等	単純	485	533	504	479	527	467	435	485	485	464	442	471	5,777	
	造影	血管	5	4	0	2	2	4	2	6	2	5	6	0	38
		その他	3	1	4	1	14	9	2	6	1	5	2	5	53
	骨塩定量	22	20	25	28	15	41	36	30	21	27	28	15	308	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	515	558	533	510	558	521	475	527	509	501	478	491	6,176		
ポータブル	59	52	56	51	47	50	69	42	56	77	54	61	674		
外科イメージ	3	1	3	1	0	2	4	1	1	0	2	4	22		
その他	2	5	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	13		
合計	1,761	1,801	1,817	1,748	1,623	1,674	1,754	1,756	1,665	1,668	1,605	1,715	20,587		

(統計：放射線科)

部位別【CT】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	Plain	110	104	102	126	122	107	96	105	115	109	105	123	1,324
	CE	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	Plain + CE	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	6
	(画像処理)	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	5
	小計	110	105	103	129	124	107	97	106	115	109	109	123	1,337
胸部	Plain	182	145	218	177	155	146	186	173	179	148	168	184	2,061
	CE	3	7	3	8	2	3	5	3	2	3	4	7	50
	Plain + CE	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	186	152	221	186	157	150	191	177	181	151	172	191	2,115
腹部	Plain	142	186	171	156	166	145	148	148	137	142	146	166	1,853
	CE	8	8	11	7	4	4	8	11	7	2	4	7	81
	Plain + CE	13	27	30	29	27	21	29	21	20	27	29	26	299
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	163	221	212	192	197	170	185	180	164	171	179	199	2,233
脊椎	Plain	8	8	6	3	5	4	7	5	3	1	7	4	61
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	8	8	6	3	5	4	7	5	3	1	7	4	61
関節等	Plain	21	18	20	15	25	18	16	24	29	31	21	26	264
	CE	1	0	1	1	1	2	1	1	1	2	0	1	12
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	22	18	21	16	26	20	17	25	30	33	22	27	277
その他	Plain	20	14	21	11	17	26	27	13	13	19	26	20	227
	CE	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3
	Plain + CE	2	1	0	1	0	1	1	1	0	2	0	1	10
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	23	15	21	12	17	27	28	14	13	22	27	21	240
計	512	519	584	538	526	478	525	507	506	487	516	565	6,263	

(統計：放射線科)

画像処理には、3D, CTA, AngioCT, MPR, mip等の処理。

部位別【MRI】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	Plain	23	15	25	25	13	21	21	19	17	17	18	19	233
	CE	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	5
	Plain + CE	0	1	3	5	0	4	3	0	3	1	0	1	21
	(画像処理)	40	32	40	46	57	44	35	35	35	44	46	35	489
	小計	64	49	68	76	70	69	59	54	55	64	64	56	748
胸部	Plain	1	1	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	7
	CE	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	1	1	3	0	1	0	0	3	0	1	0	11
腹部	Plain	21	25	15	21	12	14	20	14	8	15	17	21	203
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	Plain + CE	0	3	2	1	2	2	1	7	1	5	2	1	27
	(画像処理)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	小計	21	28	17	23	14	17	21	21	10	20	19	22	233
脊椎	Plain	61	79	80	74	68	44	52	48	70	41	60	59	736
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	61	80	80	74	68	44	52	48	71	41	60	59	738
関節等・四肢	Plain	48	41	48	38	45	40	45	31	37	36	43	38	490
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	48	41	48	38	45	40	46	31	37	36	43	39	492
その他	Plain	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	195	199	214	214	197	171	178	154	176	161	187	176	2,222	

MRA は腹部の場合には MRCP を含む。

(統計：放射線科)

機能別病棟

- (1) 2025 年に向けて、より効率的な医療提供体制の方向に進め、急性期からリハビリを活用して回復期リハビリ・在宅復帰支援と在宅医療の医療提供を行い、精神科医療と併せて、入院から社会復帰できる支援を行う「地域密着型病院」を目指しました。
- (2) 業務効率向上・情報の共有化・データ一元管理・医療安全の確保、退院促進を実施し効果的な運用ができました。
- (3) 平均在院日数短縮にむけて積極的な新規入院患者の獲得や退院・転棟を実施し回転率を上げました。
- (4) 医療療養病床を転換し、初期認知症対応型の地域包括ケア病棟を運用しました。
- (5) “トヨタチャレンジ6”の実施にむけて、医療の質の向上、医療安全・感染対策の徹底、病院の効率運営、並びに稼働率90%の実行をしました。
- (6) 精神科急性期病棟も安定稼働を行い急性期から慢性期治療をそれぞれ特化し新規患者の獲得と退院支援ができました。

機能別病棟

令和元年度実績

病棟	定数(人)	年間延人数(人)	一日当り(人)	稼働率(%)
一般病棟	186	46,586	155	82
3-3	51	16,156	44	87
3-4	54	16,485	45	83
3-2	51	13,945	38	75
5-2	30	10,222	28	93
療養病棟	32	7,675	21	66
精神病棟	120	37,878	103	86
精神急性期	60	18,060	49	82
精神療養	60	19,818	54	90
合計	338	102,361	279	83

臨床検査科

① スタッフ

高木敬文（医長）

臨床検査技師 7名（常勤 4名、メディック 3名）

② 特色・症例・治療・成績・実績

2019年度における検査件数は、検体検査が502,530件（95.0%）生理検査が7,938件（98.6%）で検体検査は前年度比5.0%減、生理検査は前年度比1.4%減となった。検体検査では免疫学検査以外は全て減少しており、特に一般検査・生化学検査Ⅰが前年度比6.0%と減少したのが影響したと思われる。生理検査ではホルター心電図検査・頸部超音波検査・下肢超音波検査が前年度比18.2～30.0%と減少したのが要因と思われる。他の検査は前年度並み または増加した。特に肺機能検査 23.0%、終夜睡眠ポリグラフ検査18.9%と顕著な増加がみられた。新規検査項目として1月より聴力検査を3月から乳腺超音波検査・甲状腺超音波検査を始めました。また患者様をお待たせする事無く、臨床に迅速に結果を報告するために緊急検体検査30分以内に報告、脳波・Holter心電図・心臓エコー・下肢エコー・腹部エコー・乳腺エコーも時間のゆるす限り予約なし（ほぼ100%）で即時対応しタイムリーに結果を報告している。また平成20年度より看護部からの要望があったベッドサイド心電図は今年度は全体の12.8%（342件）であった。

検査科の基本理念である「迅速・正確・丁寧な臨床検査」を保証するために日々の内部精度管理はもとより、外部精度管理として日本医師会、日本臨床検査技師会、滋賀県臨床検査技師会サーベイに毎年参加している。滋賀県技師会の精度管理では全ての項目でA評価を、また日本医師会の精度管理で今年は100.0点と高評価が得られた。（本精度管理は検査のレベルを計る指標となっている。）

最後に研修会の参加へも積極的に進めており、各種学会・研修会への参加、院内での勉強会・講習会等の開催を行い、日常業務における検査レベルの向上を行っている。

生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	387	396	382	363	312	353	411	343	364	348	350	381	4,390
負荷心電図	0	9	19	0	2	1	1	1	1	0	0	2	36
ホルター心電図	5	13	9	7	3	12	7	10	7	7	7	7	94
肺気量分画・FVカーブ	101	87	101	114	95	104	90	105	118	98	84	78	1,175
フローボリュームカーブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳波 12 L	15	6	9	5	7	14	13	7	4	7	10	7	104
脳波 12 L 負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終夜睡眠ポリグラフ	4	3	9	5	5	7	5	1	6	6	8	4	63
血管伸展性検査	14	19	10	20	20	12	20	17	21	16	23	18	210
心エコーグラム	86	78	94	86	61	66	76	50	82	76	75	80	910
腹部エコーグラム	40	61	51	62	61	70	63	61	68	59	63	42	701
頸動脈エコーグラム	2	4	5	2	4	11	5	4	5	2	3	7	54
下肢血管エコーグラム	1	2	5	7	6	5	3	0	3	4	2	4	42
乳腺エコーグラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
内臓脂肪検査	2	2	1	3	0	0	3	1	1	4	3	1	21
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	50	46	137
計	657	680	695	674	576	655	697	600	680	668	678	678	7,938

月別ポータブル心電図件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	29	28	26	20	21	21	39	30	36	28	36	28	342

(統計：検査科)

検体検査件数

【院内】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査(尿・便)	879	1,098	923	961	821	839	1,319	796	800	771	749	734	10,690
血液学検査	2,421	2,387	2,488	2,676	2,387	2,254	2,419	2,188	2,466	2,281	2,175	2,599	28,741
生化学検査Ⅰ	24,968	25,133	25,733	28,156	24,619	23,730	24,978	22,779	25,242	23,145	22,709	26,622	297,814
生化学検査Ⅱ	427	441	519	525	463	475	474	390	472	419	417	492	5,514
免疫学検査	1,238	1,252	1,268	1,351	1,108	1,118	1,231	1,120	1,436	1,277	1,188	1,282	14,869
微生物学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病理学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血中薬物検査	19	27	26	26	33	36	29	22	24	14	19	23	305
輸血検査	33	24	31	31	30	16	21	19	21	23	12	17	270

【院外】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査(尿・便)	558	562	628	618	580	686	724	653	577	578	477	465	7,106
血液学検査	1,682	1,737	1,779	1,860	1,612	1,693	1,667	1,571	1,587	1,490	1,440	1,759	19,877
生化学検査Ⅰ	5,957	6,100	6,030	6,563	6,526	7,706	6,619	5,838	6,011	5,832	6,058	6,929	76,169
生化学検査Ⅱ	856	810	882	933	867	767	880	810	776	781	837	1,024	10,223
免疫学検査	1,899	2,043	1,905	2,087	1,842	1,926	946	843	794	898	1,076	1,012	17,271
微生物学検査	946	1,142	1,084	885	789	929	888	892	890	781	961	1,037	11,224
病理学検査	192	169	185	180	168	152	190	152	152	158	161	151	2,010
血中薬物検査	19	22	19	23	21	111	21	29	29	27	33	39	393
輸血検査	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6
機能検査	0	4	8	6	5	0	4	2	8	5	2	4	48

注) 検体検査は1項目1件 輸血検査は交叉試験でIパック1件
 (統計：株式会社メディック)

【分類別合計】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査(尿・便)	1,437	1,660	1,551	1,579	1,401	1,525	2,043	1,449	1,377	1,349	1,226	1,199	18,315
血液学検査	4,103	4,124	4,267	4,536	3,999	3,947	4,086	3,759	4,053	3,771	3,615	4,358	52,256
生化学検査Ⅰ	30,925	31,233	31,763	34,719	31,145	31,436	31,597	28,617	31,253	28,977	28,767	33,551	399,834
生化学検査Ⅱ	1,283	1,251	1,401	1,458	1,330	1,242	1,354	1,200	1,248	1,200	1,254	1,516	16,281
免疫学検査	3,137	3,295	3,173	3,438	2,950	3,044	2,177	1,963	2,230	2,175	2,264	2,294	32,140
微生物学検査	946	1,142	1,084	885	789	929	888	892	890	781	961	1,037	11,224
病理学検査	192	169	185	180	168	152	190	152	152	158	161	151	2,010
血中薬物検査	38	49	45	56	54	147	50	51	53	41	52	62	698
輸血検査	36	24	32	23	30	16	21	19	22	24	12	17	276
機能検査	0	4	8	6	5	0	4	2	8	5	2	4	68
合計	42,097	42,951	43,509	46,880	41,871	42,438	42,410	38,104	41,286	38,481	38,314	44,189	502,530

※ 2018年度合計件数 528,772件 前年度比 95.0%

医療安全室

① スタッフ

曾我 弘樹 医療安全室室長
 田畑 靖代 医療安全管理者
 横田 こず江 医療安全管理者

② 活動内容

医療安全の確立を図り、安全な医療の遂行を徹底するため、個人の責任追及ではなく医療安全管理システムの問題として捉え、医療安全室のメンバーが中心に組織横断的に取り組む。

- ・インシデント・アクシデントレポートの内容確認、集積の集計と分析、再発防止策の立案
- ・院内を巡回し、マニュアルの遵守、改善策の状況確認を行うとともに、必要な指導
- ・医療安全マニュアルの作成と見直し
- ・M & Mカンファレンスの実施
- ・医療事故発生時には報告または連絡を受け、直ちに状況把握を行い対応を行う
- ・医療安全地域連携に関する活動(連携訪問による相互評価 年1回)
- ・医療安全の教育・指導・研修会の計画・実施・評価
- ・患者相談窓口担当者と連携及び医療安全対策に係る患者・家族の相談対応

③ 医療安全研修会報告

第1回 「安全な車椅子の移乗方法を考えよう」 参加者：327名

2019年7月17日 17:15～

2019年7月18日 17:15～

第2回 「院内急変時システム RRS」 参加者：331名

～患者の急変を見逃すな！～

2019年11月22日 17:15～

2019年12月6日 17:15～

④ 2019年度の取り組み

- ・インシデント・アクシデントレポート報告を分析し改善策を立案し業務改善に繋げた。
- ・インシデント・アクシデントレポート報告によりマニュアルの作成や修正を行った。
- ・医療安全地域連携の活動
- ・M & Mカンファレンスの取り組み

感染管理室

① スタッフ

伊部邦宏 室長 感染制御医 (ICD)

竹内淑江 感染管理認定看護師 (CNIC)

堀江美紀 感染管理認定看護師 (CNIC)

感染制御医 (ICD) 1名と感染管理認定看護師 (CNIC) 2名、薬剤師1名、検査技師1名が感染対策チーム (ICT) の中核となり、それぞれの専門性を活かし連携しながら感染対策に関する問題点を把握し改善策を講じるなど、組織横断的な活動を行う。また、近隣の医療機関とも連携・協力しながら地域全体の感染対策のレベルアップに取り組む。

② 活動内容

- 1) 各種関連委員会との連携・調整
- 2) 感染症の流行状況・感染情報の収集と把握、対策検討
- 3) サーベイランス
耐性菌、手指消毒剤使用量、CLABSI (中心ライン関連血流感染)、血液体液曝露など
- 4) ICT ラウンド；1回/週
- 5) AST カンファレンス (抗菌薬適正使用、血培陽性患者等)；1回/週
- 6) 職業感染対策 (B型肝炎、流行性ウイルス疾患等)
- 7) 感染対策システムの構築とマニュアル作成・改訂
- 8) 感染対策の教育・指導、研修会の計画・実施・評価
- 9) 感染対策相談 (コンサルテーション)
- 10) アウトブレイク対応
- 11) 感染対策地域連携に関する活動 (合同カンファレンス8回、相互評価ラウンド2回実施)

③ 研修会

* 全体研修

第1回 医療施設における環境整備

第2回 みんなで取り組む感染対策～お互いが指摘し合い、受け入れられる風土づくりを～

* AST 研修 抗菌薬適正使用のための院内研修

* 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と対応について

④ 2019年度の取り組み

- 1) アサーティブコミュニケーションを取り入れた積極的な助言・指摘による感染対策の強化
- 2) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応
- 3) 地域連携活動（5 医療機関との合同カンファレンスと 4 医療機関との相互評価ラウンドおよび感染相談）による感染対策のレベルアップ

TQM 活動を通して、全職員が職種、職位を超え、お互いが敬意を込めた指摘をし合える環境（風土）を作ることによって感染対策への意識を高められることを目標に、差し出すカードの作成や全体研修、リンクナースを中心にアサーティブコミュニケーションによる積極的な助言・指摘に取り組んだ。

血液浄化センター

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・センター長）

常勤兼務 3人 非常勤 5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

2003年8月以来、導入・維持期の血液透析血液濾過透析を中心に実施している。

新年度から2クール対応がスタートし、順調に推移しております。透析看護認定看護師在籍。

人工透析実績

月	患者数	外来数	入院数	新規導入			転帰			治療方法										手術 (当院)
				新規患者	紹介(転入)	導入	離脱	転院	死亡	血液透析	腹水透析	吸着療法	血漿交換	白血球採取	幹細胞採取	体外循環	HDF	CAPD	他	
4	637	596	41	4	0	2	0	0	1	588	0	0	0	0	0	0	13	0	36	1
5	644	586	58	0	0	0	0	0	2	596	0	0	0	0	0	0	13	0	35	2
6	591	540	51	2	0	0	0	1	2	541	0	0	0	0	0	0	13	0	37	1
7	660	608	52	1	0	0	0	0	1	606	0	0	0	0	0	0	13	0	41	1
8	649	591	58	3	0	2	0	2	0	595	0	0	0	0	0	0	14	0	40	1
9	626	587	39	0	0	0	0	1	4	576	0	0	0	0	0	0	12	0	38	1
10	684	656	28	2	1	0	0	0	0	627	0	0	0	0	0	3	14	0	40	1
11	657	638	19	2	0	0	0	0	2	600	0	0	0	0	0	5	13	0	39	1
12	671	625	46	1	0	0	0	0	0	617	0	0	0	0	0	2	13	0	39	1
1	712	630	82	1	1	0	0	0	1	657	0	0	0	0	0	1	13	0	41	2
2	631	562	69	1	0	0	0	0	1	581	0	0	0	0	0	0	13	0	37	2
3	652	590	62	1	0	0	0	0	1	600	0	0	0	0	0	0	13	0	39	1
合計	7,814	7,209	605	18	2	4	0	4	15	7,184	0	0	0	0	0	11	157	0	462	15

内視鏡センター

① スタッフ

門元優（医長・センター長）

常勤 1人 非常勤 6人 看護師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

上部消化管内視鏡（経口内視鏡・経鼻内視鏡）および下部内視鏡、腹部超音波を用いて消化器疾患の診断、悪性病変の早期発見に努めている。

内視鏡機器の進歩に伴って増加している内視鏡治療にも力を入れ消化管出血止血術、早期癌切除術、総胆管結石除去術など地域の消化器疾患撲滅を目標に治療を行っている。

内視鏡件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
BF	B F	3	2	2	4(※)	0	1	1	1	0	1(※)	0	2	12
	C F	24	23	44	43	41	39	39	32	40	27	31	29	412
CF	ポ リ ペ ク	9	10	18	13	13	8	10	10	10	3	7	10	121
	そ の 他	0	STENT 2	STENT 1	0	0	0	STENT 1	0	0	0	0	STENT 1	5
GF	G F	108	122	131	146	150	131	137	136	121	119	132	125	1,558
	E R C P	2	1	4	1	2	3	1	1	2	0	0	0	17
	E S D	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0	5
	PEG 造 設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PEG 交 換	5	4	2	1	2	5	5	5	2	1	0	5	37

(統計：内視鏡センター)

(※) うち1件は胸腔鏡

健診センター

① スタッフ

吉川邦生（部長）

常勤 1人 非常勤 1人

② 特色・症例・治療・成績・実績

一般健診・日帰りドック・乳癌検診・子宮頸癌検診・生活習慣病予防検診・脳ドック（脳動脈瘤、脳腫瘍の早期発見、脳血管障害予防等）など、あらゆる健診に対応しております。

人間ドック・一般検診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人間ドック	8	23	16	28	29	26	26	33	36	30	26	12	293
一般健診	67	66	82	77	57	65	74	67	59	62	58	57	791
その他健診	25	14	16	20	19	32	23	19	4	7	9	17	205
合 計	100	103	114	125	105	123	123	119	99	99	93	86	1,289

(統計：健診)

認知症疾患医療センター

① スタッフ

成田 実 (部長・センター長)

常勤 1人 非常勤 2人

精神保健福祉士 専属1名、兼務1名

臨床心理技術者 兼務1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受案件数	17	26	22	38	26	27	24	21	24	24	25	23	297

新規受案件数 (地域別)

地域別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
彦根	7	12	6	16	10	11	11	10	11	12	14	11	131
多賀	2	1	3	1	2	2	3	2	2	3	0	4	25
甲良	1	3	1	5	3	3	3	2	1	3	3	2	30
豊郷	1	2	2	2	2	3	1	1	6	1	1	1	23
愛荘	4	5	4	8	6	4	3	1	2	3	4	1	45
東近江	1	2	3	5	2	2	3	3	2	1	3	3	30
その他	1	1	3	1	1	2	0	2	0	1	0	1	13
小計	17	26	22	38	26	27	24	21	24	24	25	23	297

新規受案件数 (紹介元別)

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市・町村	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括	0	2	0	4	0	2	1	1	5	3	4	2	24
ケアマネ	2	3	2	5	0	5	3	4	4	5	4	1	38
豊郷病院	2	6	2	2	3	2	0	1	2	5	3	1	29
他病院	0	1	1	1	4	2	3	1	0	1	2	4	20
開業医	5	4	9	13	6	7	10	8	5	4	10	7	88
家族	6	7	4	4	7	4	6	1	4	1	2	3	49
入所・通所施設	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	2	8
その他	2	2	3	8	5	4	1	3	4	4	0	3	39
小計	17	26	22	38	26	27	24	21	24	24	25	23	297

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

日時：2019 (R元) 年6月14日 (金) 14:00～

場所：パストラールとよさと 研修室

『認知症の在宅医療について』

認知症疾患医療センター長 成田 実 医師

日時：2019 (R元) 年6月19日 (水) 11時00分～12時00分

場所：豊郷町役場別館3階

依頼元：日本赤十字社滋賀支部 豊郷町有功会

『認知症について』

師長 堀尾 素子 看護師

日時：2019（R元）年11月9日（土）9時30分～11時00分

場所：甲良町保健福祉センター

依頼元：甲良町デイサービスけやき

『認知症と介護負担』

認知症疾患医療センター長 成田 実 医師

回復期リハビリテーションセンター

① スタッフ

医師（センター長）	木築 裕彦	言語聴覚士	1名
看護師長	外川 栄子	薬剤師	1名
看護師（含准看護師）	17名	ケアワーカー	6名
リハビリテーション係長	近藤 則子	医療ソーシャルワーカー	2名
理学療法士	6名	医療クラーク	1名
作業療法士	6名		

② 特色・症例・治療・成績・実績

豊郷病院回復期リハビリテーションセンターでは、急性期治療後の患者様が在宅での生活期リハビリテーションを1日でも早期に開始できるために、入院による回復期リハビリテーションを行っております。

2019年度御紹介元医療施設

彦根市立病院	53例
湖東記念病院	21例
その他病院	13例
当院一般急性期病棟	48例
計	135例

2019年度疾患別のべ症例件数

運動期リハビリテーション	271件
脳血管リハビリテーション	195件
廃用症候群リハビリテーション	6件
計	472件

3 愛知・犬上医師連絡会

講演・研究発表

日時・場所・内容

◇ 2019 (R元) 年6月14日(金) 14:00～
パストラールとよさと 研修室
『認知症の在宅医療について』
副院長(精神科) 成田 実 医師
出席者: 開業医院医師、豊郷病院 常勤医師

◇ 2019 (R元) 年9月13日(金) 14:00～
パストラールとよさと 研修室
『ビスフォスフォネート製剤長期服用に伴う
非定型骨折(大腿骨・尺骨)』
整形外科部長 本原 功二郎 医師
出席者: 開業医院医師、豊郷病院 常勤医師

◇ 2020 (R2) 年1月23日(木) 17:30～
竹平楼 研修室
『COPDの診断と治療』
滋賀医科大学内科学講座呼吸器内科
教授 中野 恭幸 先生

新春恒例の地域の開業医院の先生方との交流会を開催しました。
この愛犬医師連絡会は歴史と伝統のある研修会で、今後の「地
域連携強化」に取り組むうえで有意義な交流会となりました。

地域連携室主催事業

4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル

□ 公開セミナー

場 所： 豊郷病院 内科外来待合い

日時・内容：

◇ 2019 (R元) 年 11 月 30 日 (土) 14 時～ 15 時 30 分

テーマ：『白内障と緑内障』

～似た名前の2つの病気について解説します～

講 演： 眼科部長 富田 靖之 医師

□ 出前講座

◇ 日 時： 2019 (R元) 年 6 月 19 日 (水) 11 時 00 分～ 12 時 00 分

場 所： 豊郷町役場別館 3 階

依頼元： 日本赤十字社滋賀支部 豊郷町有功会

テーマ：『認知症について』

講 演： 師長 堀尾 素子 看護師

◇ 日 時： 2019 (R元) 年 9 月 14 日 (土) 13 時 45 分～ 14 時 30 分

場 所： 愛荘町北八木公民館

依頼元： 愛荘町地域包括支援センター

テーマ：『上手な医療のかかり方 正しい薬の飲み方につて』

講 演： 師長 古川 みどり 看護師

◇ 日 時： 2019 (R元) 年 11 月 9 日 (土) 9 時 30 分～ 11 時 00 分

場 所： 甲良町保健福祉センター

依頼元： 甲良町デイサービスけやき

テーマ：『認知症と介護負担』

講 演： 副院長 (認知症疾患医療センター長) 成田 実 医師

□ 豊郷町健康フェスティバル

◇健康啓発コーナー (各種測定、相談など)

日 時： 2019 (R元) 年 10 月 14 日 (月祝) 9 時 30 分～ 12 時 30 分

場 所： 豊郷町民体育館 談話室

◇救護班 (けがや体調不良の救急処置など)

日 時： 2019 (R元) 年 10 月 14 日 (月祝) 9 時 00 分～ 16 時 00 分

場 所： 豊郷町民体育館 玄関前大会本部

地域連携室事業

5 全職員研修会

ファイル 番号	日時	テーマ	開催場所	担当
1	7月17.18日 17:15～17:55	医療安全研修会 「安全な車椅子の移乗動作を考えよう」	9-2Fホール	リハビリ科・ 医療安全室
2	7月26日 15:50～・17:30～	人権学習（病院）	9-2Fホール	人権教育推進委員会
3	7月29日 15:50～・17:30	人権学習（介護）	9-2Fホール	人権教育推進委員会
4	7月31日 15:50～・17:30～	人権学習（病院）	9-2Fホール	人権教育推進委員会
5	8月1日 15:50～・17:30～	人権学習（介護）	9-2Fホール	人権教育推進委員会
6	10月15・16日 17:10～17:55	感染防止対策研修会 「医療施設における環境整備」	9-2Fホール	感染LN・ICC・ ICT・感染管理室
7	11月22日 17:15～18:05	医療安全研修会 「院内急変時システム」	9-2Fホール	医療安全室
8	11月30日 14:00～15:30	公開セミナー 「白内障と緑内障」	3-1F 待合スペース	地域連携室
9	12月5日 17:00～18:00	医療ガス安全研修会 「医療ガス取扱いにおける事故・災害の 予防について」	9-2Fホール	医療ガス委員会
10	12月6日 17:15～18:05	医療安全研修会 「院内急変時システム」	9-2Fホール	医療安全室
11	1月15日 17:15～18:30	みんなで学ぼう 「発達障害をもつ人の対応方法基礎編」	9-2Fホール	病院
12	1月23・24日 17:10～18:00	感染防止対策研修会 「みんなで取り組む感染対策」	9-2Fホール	感染LN・ICC・ ICT・感染管理室
13	2月13・14日 17:15～18:15	個人情報保護対策・ ITセキュリティ対策研修会 「情報セキュリティ勉強会」	9-2Fホール	個人情報保護対策委員会 (診療情報管理室)
14	2月17日 17:00～	医療機関における 新型コロナウイルス感染症への 対策研修会	9-2Fホール	感染管理室
15	2月19日 17:15～18:15	NST・褥瘡予防対策研修会 「認知症による食行動への影響」	9-2Fホール	NST・褥瘡予防 対策委員会

6 災害総合避難訓練

目的 医療に従事する者として、火災発生時に患者さんの立場に立って避難誘導をどのようにすればよいのか、また患者さんに安心して使用していただくための避難器具を体験して技術を習得することを目的とする。

日時 2019 (令和元) 年 10 月 15 日 (火) 午後 2 時 00 分 (想定 午後 2 時 00)

訓練の内容

① M7.5 の地震発生、直ちに全館放送にて全職員に連絡を行い、各所属長が施設等に被害の状況を確認し本部 (3 病棟 1 階北出入口付近) へ報告。

② 訓練火災警報発令 (①から約 3 分後)

地震訓練に引き続き火災訓練を実施。

現場は 3 病棟 2 階デイルーム付近から、火災報知機のベルが鳴り、自動火災警報が作動。延焼の恐れあり、直ちに全館放送が流れ、初期消火、避難誘導を行う。

③ 避難誘導実施

模擬患者配置 (午後 2 時 03 分に各自配置につく)

3 病棟 2 階 A 棟西側付近 (約 20 名前後) に集合。模擬患者役として新人職員ならびに准看護学院の生徒が参加。訓練といえど真剣に取り組むことを指導。

④ 避難器具の訓練

スカイダー (らせん階段) を利用して避難訓練を実施。

必ず防火班員の指示に従い、落ち着いて安全に実施すること。

担送や護送の患者役は、救護班の要請が有り、担架や補助器具を利用し搬送されるので、その指示に従い速やかに避難場所まで移動。

⑤ スカイダー訓練終了後、引き続きトリアージ訓練を行う。

⑥ 消化器の取り扱い説明と実射訓練

⑦ 消防署員による講評

⑧ 院長による講評 終了

防災管理者 山本 洋道

7 ボランティア活動

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項
 - ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
 - ・ボランティア保険の加入について
 - ・催し（七夕コンサート / 生け花の展示 / 病棟レクボランティア等）について
- (3) ボランティアの活動
 - 1、拡大紙芝居 毎月1回 定期実施（サロンひまわり）
(※ 2020年3月は中止)
 - 2、生け花展示 ① 2019年 7月 1日～ 7月 8日
② 2019年 12月 19日～ 12月 25日
 - 3、七夕コンサート
 - 開催日 2019年 7月 6日（土）14:00～15:00
 - 開催場所 内科外来にて
 - 内容 ボランティアによるコンサート（演奏ボランティアこまくさ）
拡大紙芝居の展示、生け花展示
 - 4、花壇の整備
 - 5、療養病棟や精神科病棟、回復期病棟でのボランティア：臨時（単発）
- (4) 交流会の開催
 - 目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等
 - 開催日 ① 2019年4月23日 ② 2019年9月24日

ボランティア運営委員会事業

8 院内（外）地域交流活動

1. 職員献血運動 4月26日（火）、9月26日（木）
2. 院外周辺美化運動 5月15日（水）、10月9日（水）、11月27日（水）
3. 宇曾川・街並みクリーン作戦 5月26日（日）
（豊郷町行事参加）
4. とっとまつり 8月3日（土）
（豊郷町行事参加）
5. 豊郷町民健康フェスティバル 10月14日（月・祝）
（各種測定・看護栄養相談）
6. 物故者追弔会 12月9日（月）
7. 地藏盆法要 8月21日（水）
8. 夏祭り開催 8月23日（金）
回復期リハビリ病棟内で患者・ボランティアによるまつり
9. 地域に向けた公開セミナー 11月30日（土）
10. 七夕コンサート 7月6日（土）
11. 出前講座 6月19日（火）、9月14日（土）、11月9日（土）

9 実習生受入状況

診療部

滋賀医科大学 学外臨床実習	2019年5月27日～6月14日	1名
	2019年10月16日～1月15日	1名

[理学療法（一般科・回復期）]

佛教大学	令和元年4月2日～5月30日	1名
京都橘大学	令和元年4月8日～5月17日	1名
	令和元年5月27日～7月5日	1名
	令和元年7月15日～8月23日	1名
	令和2年1月20日～2月14日	1名
	令和2年2月24日～2月28日	1名
大和大学	令和元年8月26日～10月11日	1名
滋賀医療技術専門学校	令和元年5月7日～7月6日	2名
	令和元年8月26日～10月30日	2名
	令和2年1月27日～2月23日	2名
京都医健専門学校	令和元年5月20日～7月26日	1名
	令和元年8月19日～10月25日	1名
愛媛十全医療学院	令和元年5月9日～6月26日	2名
	令和元年7月8日～8月24日	2名
	令和元年9月2日～10月26日	2名
近畿リハビリテーション学院	令和元年7月29日～8月9日	1名
	令和元年8月19日～8月30日	1名
	令和元年9月2日～10月18日	1名
	令和2年3月9日～3月13日	1名
関西学研医療福祉学院	令和元年4月8日～5月31日	1名
	計26名	

[作業療法（一般科・回復期病棟）]

佛教大学	令和元年6月10日～8月3日	1名
滋賀医療技術専門学校	令和元年5月7日～7月6日	2名
	令和元年8月26日～10月30日	2名
	令和2年1月27日～2月23日	1名
京都橘大学	令和2年2月8日～2月10日	4名
	令和2年2月25日～2月29日	1名
	計11名	

[作業療法（精神科）]

滋賀医療技術専門学校	令和元年5月7日～7月8日	2名
------------	---------------	----

令和元年 8月26日～10月30日	2名
令和2年 1月27日～2月19日	1名
計5名	

[言語聴覚療法学科（一般科・回復期病棟）]

大阪医療技術学園専門学校	令和元年 5月20日～7月13日	1名
	令和2年 1月20日～2月17日	1名
京都医健専門学校	令和2年 2月12日～2月26日	1名
計3名		

看護部

[看護実習]

聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2019年4月	3-2病棟	1グループ（6名）
聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2019年4月	5-2病棟	1グループ（6名）
聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2019年5月	3-2病棟	1グループ（6名）
聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2019年10月	1-3病棟	1グループ（6名）
聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2019年11月	1-3病棟	1グループ（6名）
聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2020年1月	3-2病棟	1グループ（5名）
聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2020年2月～3月	3-2病棟	1グループ（5名）
聖泉大学	老年看護学実習（3週間）	2020年2月～3月	5-2病棟	1グループ（6名）
聖泉大学	成人看護学実習（3週間）	2020年1月～2月	3-4病棟	1グループ（6名）
聖泉大学	精神看護学実習（2週間）	2020年2月～3月	3-5病棟	2グループ（12名）
聖泉大学	精神看護学実習（2週間）	2020年2月～3月	3-6病棟	2グループ（12名）
聖泉大学	総合実習（3日間）	2019年7月	3-5病棟	1名
神戸常盤大学短期大学部	老年看護学実習（2日間）	2019年7月	3-2病棟	1名
滋賀県立大学	老年看護学実習（2週間）	2019年9月～2020年1月	5-2	6グループ（36名）
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習（2日間）	2019年5月～6月	手術室	11名
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習（2日間）	2019年5月～6月	血液浄化センター	11名
豊郷病院准看護学院	基礎実習Ⅰ（1週間）	2019年6月	3-2・3-3・3-4病棟	3グループ（8名）
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習Ⅰ（3週間）	2019年6月～7月	3-2・3-3・3-4病棟	3グループ（11名）
豊郷病院准看護学院	精神看護実習（2週間）	2019年8月～9月	3-5・3-6病棟	2グループ（11名）
豊郷病院准看護学院	基礎実習Ⅱ（2週間）	2019年10月	3-2・3-3・3-4病棟	3グループ（8名）
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習Ⅱ（3週間）	2019年10月～11月	3-2・3-3・3-4病棟	3グループ（11名）
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習Ⅲ（3週間）	2019年11月～12月	3-2・3-3・3-4病棟	3グループ（11名）
豊郷病院准看護学院	基礎実習Ⅲ（3週間）	2020年2月～3月	3-2・3-3・1-3病棟	3グループ（8名）

[養護教諭実習]

びわこ学院大学	養護教諭看護臨床実習（10日間）	2020年2月	2名
---------	------------------	---------	----

[中学生・高校生体験学習]

愛知中学校	職場体験学習	2019年6月3日～6月6日	12名
-------	--------	----------------	-----

秦荘中学校	職場体験学習	2019年6月11日～6月14日	8名
稲枝中学校	チャレンジウィーク職場体験	2019年7月4日～7月10日	3名
彦根中学校	チャレンジウィーク職場体験	2019年7月4日～7月10日	3名
甲良中学校	キャリア教育「職場体験」	2019年8月20日～8月23日	5名
豊日中学校	職場体験学習	2019年10月24日～10月29日	6名
彦根南中学校	チャレンジウィーク職場体験	2019年11月11日～11月15日	2名
河瀬高校	高校生1日看護体験	2019年7月24日	1名
八日市高校	高校生1日看護体験	2019年7月24日	1名
能登川高校	高校生1日看護体験	2019年7月24日	5名
米原高校	高校生1日看護体験	2019年7月25日	2名
能登川高校	高校生1日看護体験	2019年7月26日	2名
八幡高等学校	インターンシップ	2020年2月10日～2月14日	1名

[ボランティア活動]

鈴鹿医療科学大学 放射線技術科学科課題夏休みボランティア活動 2019年9月2日～9月4日 1名

[施設見学受入]

滋賀医科大学大学院医学系研究科	基礎看護学看護管理実践	2019年9月9日～11日	2名
滋賀医科大学医学部医学科	地域医療体験実習	2019年9月17日～20日	3名
日野記念病院	中間管理職研修（他施設訪問）	2019年11月19日	1名
滋賀県実習指導者講習会	臨地見学実習	2019年12月12日	8名

医療福祉相談室

愛荘町立愛知中学校	職場体験学習	2019年6月3日～6月6日	12名
愛荘町立秦荘中学校	職場体験学習	2019年6月11日～6月14日	8名
看護学生基礎看護実習Ⅰ		2019年6月18日、21日	10名
彦根中学校（彦根・稲枝）	職場体験	2019年7月4日、9日、10日	6名
彦根翔西館高校3年生	フィールドワーク	2019年7月30日	1名
甲良中学校	職場体験学習	2019年8月20日、23日	5名
滋賀医科大学医学部医学科2学年	「地域医療体験実習Ⅰ」	2019年9月20日	1名
豊日中学校	職場体験学習	2019年10月24日、29日、30日	6名
彦根市立南中学校	職場体験学習	2019年11月11日、15日	2名
パストラール	実習生	2019年12月19日	2名
びわこ学院大学	看護実習生	2020年2月17日	2名

薬 剤 部

立命館大学	2019年8月26日～2019年11月10日	1名
摂南大学	2019年11月25日～2020年2月14日	1名

10 受賞・表彰関係

【院内表彰】

2020 / 1 / 6	永年勤続 20 年表彰	
	医師 (副院長)	成田 実
	看護師 (統括所長・師長)	谷川 明実
	看護師	笠井 雪乃
	看護師	中村 純子
	ケアワーカー	上林 都
	介護支援専門員	
	(地域包括支援センター長マックス統括所長) 高橋 ひとみ	

【院外表彰】

2020 / 2 / 2	滋賀県病院協会永年勤続表彰 (勤続 15 年以上)	
	管理栄養士 (科長)	大仁田 展子
	理学療法士 (係長)	磯寄 浩司
	臨床工学技士 (係長)	北川 香里
	歯科衛生士	鈴木 百美子
	看護師 (係長)	銚立 優作
	看護師 (係長)	奥川 喜美枝
	看護師 (主任)	石原 仁子
	看護師 (主任)	田井中 倫子
	看護師 (主任)	金丸 貴行
	ケアワーカー	北川 幸子
	リネン	高橋 栄子
	介護支援専門員	高田 奈緒
	介護福祉士 (主任)	坂下 増美
	介護士	村田 登志子

11 各種委員会報告

医療倫理委員会

人間を直接の対象とした医療行為および医学的研究行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に添った倫理的配慮のもとに行なわれること。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項
 - ・ サングラス、ナイトドライブレレンズを用いた片頭痛患者の予防対策
 - ・ 在宅持続陽圧呼吸療法（CPAP）新規導入患者に対して臨床工学技士による遠隔モニタリングを用いた介入効果の検討
 - ・ 埋伏智歯抜去術症例の臨床統計学的検討
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名（内地域住民代表1名）

輸血療法委員会

輸血、輸注の適切な使用および実施に伴う事故防止を図る。輸血療法が安全・適正かつ経済的に行われることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回 偶数月の第1金曜日
- (2) 審議事項
 - ・ 1か月ごとの使用状況の把握
 - ・ 1か月ごとの科別使用率の把握
 - ・ 1か月ごとの緊急で注文のあった血液単位数の把握
 - ・ 1か月ごとの血液製剤の廃棄金額の把握
 - ・ 学会の報告、業務改善について
 - ・ 輸血業務に関する基準・手順について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員5名 株式会社メディック1名

薬事委員会

病院の薬事に関する基本方針を定め、その方針にそって院内薬事業務を円滑に遂行する。

活動状況

- (1) 開催時期 原則 月1回 第3金曜日
- (2) 審議事項
 - ・ 新規仮採用医薬品の審議
新規仮採用医薬品の「医薬品仮採用願」の提出期限は前月25日までとし、申請できる医師は原則として医長以上とする。
 - ・ 採用削除医薬品の審議
削除する医薬品については残量を全医師に報告し、使用を促進する。
 - ・ 本採用医薬品の審議
本採用医薬品とは仮採用後、3か月经過した医薬品のことをいう。
副作用の発現など問題がなければ本採用。
 - ・ 医薬品の適切な使用方法の協議

- ・ 在庫医薬品の適切な管理と運用
 - ・ 医薬品の副作用の検討
院内副作用報告書、厚生労働省医薬品等安全性情報など
 - ・ その他薬事関係で円滑な病院運営に必要な事項の審議
- (3) 人員構成 委員長（薬剤部長）、常勤医師、看護部長（必要時他部門も出席）
※委員長に事故ある時は、病院長がその職務を代行する。

安全衛生委員会

職場における従業員の安全と健康を確保するため必要な業務を行う。

医療安全室との連携による院内感染防止対策

活動状況

- (1) 開催時期 月1回第1金曜日
- (2) 審議事項
- ・ 職場巡視の仕方について
 - ・ 定期健康診断の実施
春の健康診断 5月28日（火）～30日（木）の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後4日間追加実施
対象者：夜勤・当直・電離関係者
秋の健康診断 10月29日（火）～31日（木）の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後6日間追加実施
対象者：全職員
 - ・ 春・秋・年末の交通安全運動の推進
 - ・ 労働災害減少に向けた啓発活動
 - ・ 敷地内全面禁煙に向けた取り組み
 - ・ ストレスチェック実施
- (3) 人員構成 委員長 産業医 衛生管理者3名 医療安全室1名 委員11名

院内感染防止対策委員会

院内感染防止に関する事項を審議し、必要な感染対策の方針を決定する。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月1回 第4木曜日 16:30～
- (2) 審議事項
- ①入院患者のMRSA、ESBL産生菌、MRCNS等の耐性菌等の検出状況
 - ②病院全体の細菌検出状況
 - ③血液培養検査の実施状況と検出結果等
 - ④手指消毒剤の使用量結果、向上のための取り組み
 - ⑤感染症の流行状況（院内・院外）の把握、早期発見、対応
 - ⑥血液・体液曝露報告
 - ⑦職員のインフルエンザ予防接種関連について
 - ⑧流行性ウイルス疾患の職業感染対策、感受性職員への就業制限について
ワクチン接種の重要性と拒否願い

⑨感染対策研修会の計画・実施・評価

⑩ CLABSI (中心ライン関連血流感染) サーベイランス結果

⑪ 第三者評価結果 (保健所立入検査)

⑫ 感染対策加算に伴う合同カンファレンスおよび相互評価の実施報告

⑬ 新型コロナウイルス感染症対応

(3) 研修会開催

○全体研修

第1回 医療施設における環境整備

2019年10月15日(火) 17:10～17:55

2019年10月16日(水) 17:10～17:55

第2回 みんなで取り組む感染対策

～お互いが指摘し合い、受け入れられる風土づくりを～

2020年1月23日(木) 17:10～18:00

2020年1月24日(金) 17:10～18:00

○AST研修 抗菌薬適正使用のための院内研修

2019年10月18日(金) 17:30～18:00

○新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と対応について

2020年2月17日(火)

(4) 人員構成 委員長1名 委員15名 (株)メディック職員1名

院内感染コントロールチーム (ICT委員会)

院内感染の予防を目的に、各部署の現状を把握してチームとして取り組む。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第2金曜日

(2) 審議事項 ・院内ラウンドの実施(毎週1回)

・抗菌薬ラウンドの実施(第1週・第2週・第5週 木曜日)
(第3週・第4週 金曜日)

・院内ラウンドの結果報告及び対策についての検討

・抗菌薬の使用状況及び抗菌薬ラウンドの結果報告

・入院患者における耐性菌の検出状況の報告

・耐性菌別検出状況の報告(MRSA・ESBL・MRCNS)

・Clostridium difficile(クロストリジウムディフィシル)の検出結果の報告

・手指消毒剤使用量(部署別)の報告

・血液・体液曝露サーベイランス結果の報告及び毎月の状況報告

・インフルエンザの発生状況の報告

・各種感染症に対する予防方法やリスク回避の検討

・中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの結果及び報告

・ノロウイルスの発生状況の報告

・感染防止対策加算1における合同カンファレンス及びラウンドの報告

・地域連携加算取得におけるラウンドの報告

・院内感染対策研修会の開催

「医療施設における環境整備」

「みんなで取り組む感染対策

～お互いが指摘し合い、受け入れられる風土作りを～」

・TQM活動および発表

「ちっくしょ～！！感染対策できてねえ・・・感戦5レンジャー出動！！

～お互いが指摘し合える環境を作り、みんなで感染対策頑張ろう～」

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 オブザーバー1名 委員16名

リスクマネジメント委員会

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第4火曜日

(2) 審議事項

- ・毎月のインシデント・アクシデント発生件数、内容、種類の集計報告
- ・事例発生の内容を検討と各委員会への業務改善依頼
- ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
- ・各部署からの事例報告からの改善策の提案と検討
- ・医療機器に関する事例報告からの改善策の報告
- ・医薬品に関する事例報告からの改善策の報告

(3) 人員構成 委員長1名 委員29名

医療安全管理対策委員会

適切な医療安全管理を推進し、医療事故防止対策の充実と安全な医療の提供を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第4火曜日（リスクマネジメント委員会終了後の開催）

(2) 審議事項

- ・医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療安全責任者から提案された事項について審議や決定
- ・院内で発生したアクシデント事例や患者相談窓口でのクレーム内容などの報告と対応の検討
- ・医療安全に関する規定の見直し、委員の変更
- ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
- ・アクシデント・インシデント年間集計報告
- ・医療安全地域連携訪問の報告
- ・早期警告スコア（NEWSスコア）の運用についての検討
- ・M&Mカンファレンスの実施
- ・医療安全研修の企画と運営

(3) 人員構成 委員長1名 委員11名

重大医療事故対策委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
 - ・医療事故報告書に基づく原因分析
 - ・再発防止策への取り組み
 - ・病院全体への周知
- (2) 人員構成 委員長 委員 15名

苦情処理委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
令和元年度は該当事項がなく開催なし
- (2) 人員構成 委員長 委員 8名

賠償請求対策委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
令和元年度は該当事項がなく開催なし
- (2) 人員構成 委員長 委員 9名

広報委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項 病院紀要・年報の発行に関する検討
- (3) 人員構成 委員長 1名 委員 4名

ホームページ委員会

病院のホームページの管理・更新を行い、常に新しく正しい情報を発信していくことで、病院の広報活動を行っている。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項
 - ・ホームページの更新及び管理
 - ・WEBサーバー管理（委託）
 - ・プロバイダー管理（委託）
 - ・メールアドレスの発行
- (3) 人員構成 委員 3名

広報プロジェクト

豊郷病院と地域の診療所がより密接な関係を築き、紹介患者や医療機器の共同利用を図るため、院内の情報を広く伝達、広報することを目的とし、広報紙を発行する。

「医心伝心」発行：年4回（4～5月、7月、10月、1月）

活動状況

(1) 開催時期 「医心伝心」発行約1ヶ月前

- ① 2019（令和元）年 5月21日（火）
- ② 2019（令和元）年 8月21日（水）
- ③ 2019（令和元）年11月15日（金）
- ④ 2019（令和2）年 2月 7日（金）

(2) 審議事項 掲載内容、作成日程、発行部数、配布先などの審議

(3) 「医心伝心」発行

- ・No.61 春季号 2019（平成31）年 4月
- ・No.62 夏季号 2019（令和元）年 7月
- ・No.63 秋季号 2019（令和元）年10月
- ・No.64 冬季号 2019（令和2）年 1月

(4) 人員構成 委員6名（うち広報委員2名）

接遇サービス向上委員会

医療・介護サービスの充実を図り、信頼される病院づくりのために職員の接遇ならびに利用者のサービスを強力に推進し、苦情にも積極的に取り上げて、あらゆる角度から改善・実践する。また、その活動を通じて全職員が医療職として成長し、職場全体のモラルが向上することを目指す。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第2水曜日 午後3時から

(2) 審議事項

- ・お手紙の回収と検討および改善
- ・新採用者オリエンテーション
- ・職員への接遇マナー研修会の企画・運営

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員16名

人権教育推進委員会

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

平成30年度 人権啓発活動目標

みんなで築こう人権の世紀～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心～

活動状況

(1) 開催時期 2019年 4月15日（月）

2019年10月21日（月）

(2) 研修・学習内容

院内・新入職員・各職場人権教育推進担当者・准看護学院学生対象人権研修会

2019年4月12日(金) 新入職員30名

講演 「人に優しく 人を大切に 目指そう素敵な大人」

講師 福原重和 氏 (彦根市役所 人権啓発指導専門員)

・2019年度 豊郷病院人権研修会 参加者470名

【医療職員対象】

7月26日(金)・31日(水)

テーマ:医療 老年の超越と人間尊重の医療 - 超高齢化時代の医療の倫理 -

講師:奈倉道隆 氏 (老年科医師・介護福祉士 / 京都大学医学研究科医の倫理委員会委員)

【介護職員対象】

7月29日(月)・8月1日(木)

テーマ:介護 老年の超越と人間尊重の介護福祉 - 超高齢化時代のケアの倫理 -

講師:奈倉道隆 氏 (老年科医師・介護福祉士 / 京都大学医学研究科医の倫理委員会委員)

・管理職対象現地視察研修会 参加者37名

2019年12月 7日(土)

場所:ゆずのだいどこ (甲良町長寺)

内容:西ヶ丘山林の歴史とゆずのだいどころのなりたちについて

講師 寺本純二 氏 (ゆずのだいどころ理事)

高橋良男 氏 (村づくり委員長)

・職場別人権学習

職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施

院外・研修会等に17回参加 参加者24名

主催 滋賀県

彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町

滋賀人権啓発企業連絡会

滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック

彦根・愛知・犬上職業対策連絡協議会

豊郷町人権教育推進協議会 等

地域連携委員会

外部との連携について、地域連携や外部発信・広報等の検討をする。

活動状況

(1) 開催時期 不定期開催

委員会開催日 2020(令和2)年2月25日(火) 持ち回り会議

公開セミナー 2019(令和元)年11月30日(土)

(2) 審議事項 ・2019年度の行事報告(愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事)

・2020年度の行事計画(愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事)

・地域連携委員会構成メンバーについて

・その他、愛知犬上医師連絡会の行事計画・公開セミナー・豊郷町健康フェスティバル・その他地域行事・開業医からの救急・入院受け入れについてなど

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員11名

防火班

病院の災害を防止し、安全かつ適切な防災体制を確立する。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3火曜日
防災訓練の実施
- ①防火避難総合訓練（3病棟2階にて）
2019年10月15日（火）
 - ②初期消火避難訓練（1病棟3階にて）
2020年3月17日（火）
- (2) 審議事項
- ・2019年度防火班事業活動計画書
 - ・消防訓練の計画準備 年2回（春季及び秋季）
 - ・災害対策マニュアルに沿った訓練の実施及び消防計画の内容の周知拡大
 - ・消防設備、火災受信機など器具の取扱いマスター保守管理
 - ・秋季及び春季火災予防運動期間中のポスター掲示及び旗による防火啓発
- (3) 人員構成 防火管理者1名 班長1名 班員14名

医療ガス安全管理委員会

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。

活動状況

- (1) 開催時期 年4回（研修・訓練含む）
- (2) 審議事項
- ・在宅酸素療法における火気の取扱いについて
 - ・火災等における緊急時のガス漏れ対応について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名

栄養管理委員会

入院患者・患者給食に対する栄養管理および給食業務の改善と合理化を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 栄養管理委員会を年2回、栄養管理小委員会を年10回として活動
第1火曜日
- (2) 審議事項
- ・電子カルテ運用（入力）について
 - ・献立について
 - ・栄養補助食品の検討
 - ・経腸栄養剤の検討
 - ・機材、食器等について
 - ・栄養管理情報提供書書式
 - ・備蓄食について
 - ・声の巣箱・苦情対応について
 - ・インシデント内容とその対策について

- ・アンケート結果の検討
 - ・栄養指導件数報告
- (3) 人員構成 委員長 1名 委員 15名、うち日清医療食品㈱ 2名
(小委員会：委員 11名、うち日清医療食品㈱ 1名)

図書委員会

職員の専門的知識を深め、質の向上を図るため。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
開催日 2019年 6月 20日
- (2) 審議事項
・会計報告
・年間予算額の決定
- (3) 人員構成 委員長 1名 委員 4名

療養病棟運営委員会

療養病棟の運営についての諸問題を検討し、地域の高齢者医療に貢献するために必要な事項を決める。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項 今年度は、療養病棟運営会議が必要とされる事項に該当せず、委員長の判断で委員会の開催はなし
- (3) 人員構成 委員長 副委員長 委員 12名

個人情報保護対策委員会

個人情報保護法の対策を検討し、個人情報の保護が行われているのかの監査を行い、職員に実施されることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
- (2) 審議事項 個人情報保護対策委員会と情報セキュリティ委員会を統合することに決定
個人情報またはセキュリティの研修は入職時とケアワーカー研修で毎年行っている
個人情報保護対策研修会を開催
- (3) 人員構成 委員長 1名 委員 19名

手術室運営委員会

手術室運営委員会は、以下の事項を審議して安全に円滑に手術室運営が行えるようにする。

- ・手術室運営に関する事
- ・医療設備に関する検討

- ・医療機器の修理、新規購入に関する事項
- ・電子カルテに関する取り決め手順などの統一

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回
- (2) 審議事項
- ・手術スケジュール調整についての協力要請と予約調整について
 - ・手術室自動扉の撤去についての検討
 - ・医療機器の更新について
 - ・手術ベッドの更新について
 - ・麻酔医の退職に伴う麻酔症例依頼、大学麻酔についての説明
 - ・麻酔科依頼に関するお願い
 - ・手術室アクシデント事例報告
 - ・新型コロナウイルス感染症に対する当手術室の入室基準とその対応予定・またその解除基準
- (3) 人員構成 委員長1名 委員5名 手術室スタッフ

ボランティア運営委員会

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況の詳細については54頁に記載のため省略する。

診療情報管理委員会

診療情報管理の円滑な運営を図るため、診療情報管理及び診療記録に関する事項の検討を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2水曜日
- (2) 審議事項
- ・診療記載の開示等について
 - ・診療記録の記載について
 - ・各文書の書式変更について
 - ・メンバー変更について
 - ・診療情報の共有について（オーダーでの文書管理）
 - ・サマリーの記入率について
 - ・その他
- (4) 人員構成 委員長1名 診療情報管理士2名 委員6名

血液浄化センター運営委員会

豊郷病院の血液浄化センターが安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

- (1) 開催日 センター長が必要と定めた時
- (2) 審議事項 2019年度は該当事項なく開催なし
- (3) 人員構成 委員長を含む4名

電子カルテ委員会

電子カルテの運用を検討し、保存義務のある情報を適切に保存するとともに、適正に利用することに資することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3火曜日
- (2) 審議事項
 - ・マスタの設定または運用の見直し
 - ・適正利用の確認
 - ・改善要望の進捗報告
- (3) 人員構成 委員長1名 委員21名

外来・救急運営会議

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回 第1金曜日 16時～
- (2) 審議事項
 - ・地域連携室を通しての予約状況について
 - ・救急外来患者数の統計（毎月）
 - ・外来診療に関する事項について（一般外来・救急外来）
 - ・待ち時間調査について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長2名 委員10名

エコ委員会

公益財団法人豊郷病院の各事業所におけるエコ活動への継続的な取り組みを推進し、各職員が業務のムダ・ムラ・ムリを無くし、不要な経費を削減し、法人の収益改善に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回最終月曜日
- (2) 審議事項
 - ・職場巡視（委員会終了後）
施設巡視によるムダの排除、並びに職員へのエコ意識の周知
 - ・エコ強調月間にポスター配布による啓発活動や、点検票により各職場の点検を実施
4月…『廃棄物』 7月…『電気』 12月…『水』
 - ・冷暖房の効率的な使用方法の検討及び周知
 - ・節電対策の周知徹底
 - ・廃棄物の分別と削減方法の検討及び周知
- (3) 人員構成 委員長 副委員長 書記 委員19名

NST・褥瘡対策委員会

院内における栄養サポート対策・褥瘡対策を討議・検討し、栄養サポートの関する知識、褥瘡に関する知識の増進・普及を図り、日常生活自立度が低い入院患者に対して栄養サポート対策、褥瘡予防と対策を図るとともに、医療の向上の促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 毎週水曜日 回診
第3水曜日 16時～会議

研修会

〈院外〉

- 2019年 6月 1日 第29回京滋NST研究会参加
2019年 6月29日 第11回日本静脈経腸栄養学会 近畿支部学術集会参加
2019年 8月23・24日 第21回日本褥瘡学会学術集会参加
2019年10月24・31日、11月7・14・24日 滋賀医大NST実習5日間参加

〈院内〉

- 2019年 4月17日 In Body研修会 (株)インボディ・ジャパン 杉本氏
2019年 8月21日 「外科におけるサルコペニアとりハビリ栄養療法の意義」
京都大学医学部附属病院 海堂 利実先生
(web 講座受講)

〈全体研修会〉

- 2020年 2月19日 「精神疾患と食の関わりについて」
梅花女子大学 井戸 由美子先生

- (2) 審議事項
- ・回診マニュアル評価
 - ・経腸栄養剤の見直し、検討、紹介
 - ・NST介入の拾い上げについて
 - ・NST介入の検査オーダーについて
 - ・研修会報告
 - ・褥瘡に関する危険因子評価表、褥瘡専任医師について協議
 - ・NST稼働認定の更新手続き
 - ・全体研修会の企画、実施
 - ・監査報告
 - ・NST介入の初回、終了時について
 - ・In Body 検査について
 - ・令和2年4月診療報酬改定での変更点確認

- (3) 人員構成 委員長1名 委員18名

関連施設委員会

法人内の関連施設が有機的に連携できるよう課題解決を図る会議

活動状況

- (1) 開催時期 年3回(2019年度実績)
- (2) 審議事項
 - ・各関連施設の状況報告
 - ・啓発活動について
 - ・マックスとよさと再開について
 - ・休日の訪問看護と医療連携について
 - ・災害時の対応について
 - ・包括の委託料について
 - ・レインボウのステーション統合化について 他
- (3) 人員構成 委員長1名 委員21名

SPD委員会

物品管理状況の把握と経費削減を目的に、委員会にて報告と提案を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 隔月第3火曜日
- (2) 審議事項
 - 物品購買実績報告
 - 物品消費実績報告
 - 新規医療材料等導入案内
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員10名

その他委員会

- 表彰委員会
- 懲戒委員会
- 制服委員会
- 制服委員会専門部会 歯科衛生士の部
- 制服委員会専門部会 ケアワーカーの部
- 制服委員会専門部会 看護の部
- 制服委員会専門部会 事務員女子の部
- 制服委員会専門部会 介護職員の部
- 在院日数短縮推進委員会(中止中)
- 保育所運営委員会
- 乳がん健診対策とマンモグラフィ活用検討プロジェクト委員会
- ワークライフバランス推進委員会

〈藥劑部門〉

〈医療技術部門〉

薬剤部理念

豊郷病院薬剤部は病院の基本理念に基づき、患者さまの安全を確保し、安心と満足が得られる質の高い医療の提供とサービスに努めます。

基本目標

1. 責任ある医薬品管理の徹底。
2. 適正な処方せんによる調剤。
3. 患者情報の収集・解析と適切な対応。
4. 医療事故防止策の周知徹底。
5. チーム医療への積極的な参画。
6. みんなが納得するサービスの提供。

1 薬剤部事業報告

薬剤部

① 概要

薬剤部では下記のスタッフにて、調剤業務、薬剤管理指導業務、配薬セット等の病棟業務、薬品管理業務、無菌調製業務（TPN、抗癌剤）、DI業務、手術・検査予定患者との外来での入院前面談業務など行っています。また、5年目となるTQM活動では診療部、トヨサボ、医事課、回復期病棟、地域包括ケア病棟のスタッフと協力して「高齢者におけるポリファーマシーの解消」をテーマとしたTQM活動に取り組みました。

今後もこの活動を継続的に行うことで、患者様の適正な薬物療法を提供していきたいと考えます。

② スタッフ 薬剤師 常勤：9人 事務員 非常勤：3人

③ 活動実績

〔表1〕 薬剤管理指導（服薬指導）

	年間人数・件数	月平均人数・件数
薬剤管理指導人数	3,379	281.6
薬剤管理指導件数	6,792	566
薬剤管理指導料算定件数	5,743	478.6
麻薬指導加算件数	136	11.3
退院時指導件数	1,340	111.7

〔表2〕 無菌製剤

	年間延べ件数	年間延べ剤数
抗がん剤調製	249	396
TPN製剤調製	830	830

〔表3〕 入院調剤

	年間枚数	月平均枚数
入院処方箋枚数	38,520	3,210
入院注射箋枚数	35,531	2,961

薬剤処方関係

	院内				院外			
	処方料 6種類以下 (42点)	幼)処方料 その他 (45点)	処方料 7種類以上 (29点)	処方料乳 (向精神薬多剤投与) (28点)	処方箋料その他 (68点)	処方箋料7種類以上 (40点)	(乳)処方箋料(その他) (71点)	(幼)処方箋料(その他) (71点)
	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数
4月	204	0	1	119	5,613	189	7	37
5月	208	0	1	104	5,598	180	19	58
6月	207	0	2	104	5,293	168	14	71
7月	229	0	1	111	5,715	207	10	35
8月	211	0	2	112	5,484	172	9	36
9月	206	0	1	100	5,351	195	7	21
10月	199	0	1	107	5,666	164	14	34
11月	206	0	1	107	5,364	193	15	26
12月	259	0	1	113	5,664	204	15	26
1月	232	0	1	112	5,179	179	14	20
2月	191	0	1	108	5,028	180	11	21
3月	200	0	1	127	5,514	204	14	18
合計	2,552	0	14	1,324	65,469	2,235	149	403
平均	213	0	1	110	5,456	186	12	34

(統計：医事課)

2 医療技術部事業報告

栄養科

① 概要

栄養科では“患者さんに継続した栄養ケアを提供しよう”と4年ぶりにTQM活動に参加しました。多職種と連携して、入院・退院後の生活を安心して送れるよう栄養管理に努めてまいります。

② スタッフ

管理栄養士 4人

③ 活動実績

5月19日、7月16日、1月21日

彦根市地域ケア会議

8月26日、10月28日、11月25日、12月23日、1月27日

湖東・食と栄養を考える会

④ 研修活動

5月15日 学会分類解説セミナー

6月1日 第29回京滋NST研究会

6月29日 第11回日本静脈経腸栄養学会 近畿支部学術集会

7月25日、8月19日、8月28日 特定健診・特定保健指導実践者育成研修

8月3日、9月7日、10月5日、12月7日 生涯教育研修会

9月28日 第1回研究教育事業部研修会

10月3日 令和時代の糖尿病治療UPDATE

10月22日 第2回糖尿病医療学研究会in滋賀

11月6日 退院支援機能強化事業 全体研修会

1月25・26日 第23回日本病態栄養学会年次学術集会

2月25日 栄養ケア研修会

栄養科 患者給食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般食	16,366	16,382	16,460	16,981	16,731	15,419	16,451	16,660	16,358	14,937	14,577	14,994
特別食	6,222	7,194	7,045	7,407	7,159	6,492	6,402	6,672	8,778	9,209	7,560	8,699
食数合計	22,588	23,576	23,505	24,388	23,890	21,911	22,853	23,332	25,136	24,146	22,137	23,693
経管栄養食	1,073	835	672	598	494	426	599	550	535	609	504	444
総合計	23,661	24,411	24,177	24,986	24,384	22,337	23,452	23,882	25,671	24,755	22,641	24,137
特別食加算の割合	27.5%	30.5%	30.0%	30.4%	30.0%	29.6%	28.0%	28.6%	34.9%	38.1%	34.2%	36.7%

(統計：栄養科)

栄養指導実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 院	糖 尿	6	7	6	5	6	8	8	7	8	10	9	13	93
	脂質異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	高 血 圧	15	14	11	7	10	8	17	13	16	15	5	14	145
	心 不 全	2	0	3	2	0	0	3	3	0	1	0	0	14
	肝 臓	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	腎 臓	1	2	3	0	1	3	2	0	1	1	1	0	15
	透 析	5	7	3	1	2	0	2	1	4	2	2	2	31
	肥 満	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	5
	呼吸器疾患	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	胃切術後	0	2	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	8
	胃 潰 瘍	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	脾 臓	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	低 残 渣	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	肝 臓	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	貧 血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	嚥 下	0	1	0	0	1	1	3	2	0	2	1	1	12
	低 栄 養	1	0	1	2	2	3	2	1	1	1	1	0	15
	計	32	35	28	19	25	25	38	29	33	37	19	33	353
	外 来	糖 尿	37	38	30	30	27	29	33	30	35	45	44	45
脂質異常症		2	1	5	9	5	6	2	4	5	5	1	3	48
高 血 圧		0	1	2	2	3	2	3	3	4	5	0	2	27
心 不 全		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
肝 臓		1	0	1	1	3	0	2	3	1	1	1	0	14
腎 臓		0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	4
透 析		9	6	6	8	11	8	11	9	10	7	4	5	94
高尿酸血症・痛風		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
呼吸器疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾 臓		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肥 満		2	1	1	0	2	1	1	1	1	2	0	0	12
小 児		3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
貧 血		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低 栄 養		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
嚥 下		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
高 尿 酸		0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
特定保健指導		1	0	1	0	1	0	0	3	0	0	1	2	9
計	55	47	48	51	55	48	53	54	57	65	52	58	643	
総 合 計	87	82	76	70	80	73	91	83	90	102	71	91	996	

(統計：栄養科)

放射線科

※活動状況及び放射線撮影データは(37)頁参照

臨床検査科

※活動状況及び検査データは(42)頁参照

臨床工学科

① 概要

臨床工学科の理念に基づき、患者様が安全・安楽に治療が受けられるよう医療機器の保守・点検・操作の充実を目指します。また、より良い治療のサポートが出来る様に個々のスキルを上げ、チーム医療に携わっていきたいと考えています。

② スタッフ

常勤 5名 認定資格 (呼吸療法認定士 3名、血液浄化専門臨床工学技士 1名、透析技術認定士 1名)

③ 活動実績

★毎月医療機器院内研修会実施 講師：臨床工学技士 対象：看護師他

★医療機器点検・検査・特殊浄化療法

	品目	2017	2018	2019
医療機器点検総件数	人工呼吸器	143	106	131
	麻酔器	125	120	136
	ベッドサイドモニター	882	856	688
	輸液・シリンジポンプ	263	235	245
	超音波ネブライザー	75	120	128
	バックバルブマスク	41	71	60
医療機器保守点検 (透析)	DCS/DBB-100NX,DBG03	26	21	58
	DAB-20	1	2	1
	RO	1	2	3
	A・B剤溶解装置 JUN505	2 12	2 12	8 12
医療機器修理総件数		215	234	262
睡眠時無呼吸検査解析総件数	PSG解析	58	53	61
	SAS2100解析	56	54	37
	PULSOXMe300解析	28	22	27
生菌・エンドトキシン測定	エンドトキシン測定、生菌培養	143	133	135
CPAP導入総件数	S10、DS、Airmini、A10	49	42	45
InBody検査総件数 (体液量測定)		489	328	406
特殊浄化総件数	LDL吸着	5	10	46
	エンドトキシン吸着	4	6	6
	CHDF	7	21	7
	血液吸着 (DHP)	0	0	2
	GCAP	11	2	17

④ 研修活動

血液浄化セミナー	5月	北川・山脇	京都
京都人工呼吸ケアセミナー	6月	多谷	京都
第63回日本透析医学会	6月	北川	横浜
リアル血液浄化CRRTを深める	7月	多谷	草津
第10回睡眠呼吸フォーラム	7月	多谷	草津
第4回臨床SASフォーラム	7月	福本	京都
MIRAI PARK施設見学 (高気圧酸素治療)	8月	福本・外川	神戸
第81回湖北透析談話会	10月	福本	長浜
日本アフェレシス学会	10月	福本	京都
第6回京都SASMANABIYA	10月	福本	京都
第4回滋賀呼吸ケアフォーラム	11月	福本	彦根
令和元年度医療安全対策研修会	11月	福本	大津
電波の安全性に関する説明会	12月	外川	大阪
第17回滋賀県呼吸器療法セミナー	12月	北川	草津
人工腎臓装置保守管理研修	1月	多谷	大阪
第11回東近江透析医療連携フォーラム	2月	北川	近江八幡
ServoベンチレーターPreventive Maintenance講習会	2月	多谷	大阪

〈看護部門〉

看護部の理念

その人らしさの回復をめざし
その人らしく生きることを支える

看護部の基本方針

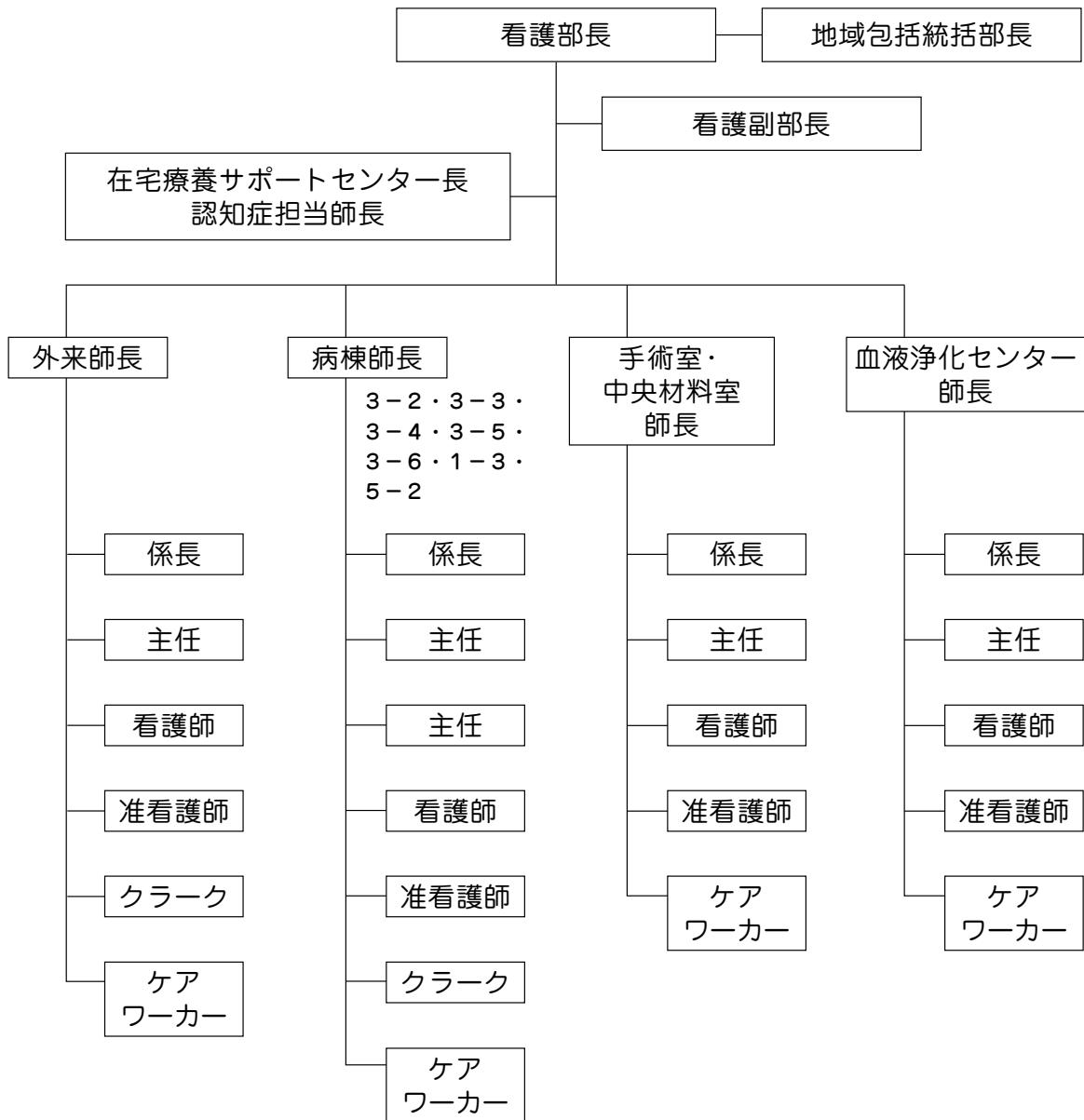
- 地域医療計画に基づき、病棟、病院、地域、施設との看看連携を促進し、切れ目のない看護サービスを提供する
- 患者・家族を中心として仲間及び多職種と協働できる向上心ある組織風土を築く
- 自立支援、意思決定支援につながる看護技術およびコミュニケーション能力の向上をめざす
- 「育つ」「育てる」人材育成のできる教育的環境を整える
- リスクマネジメントを推進し、医療事故を未然に防ぐ
- コスト意識を高くもち、効率性を考えムダ・ムリ・ムラをなくす

公益財団法人 豊郷病院 看護部

1 看護部組織系統図

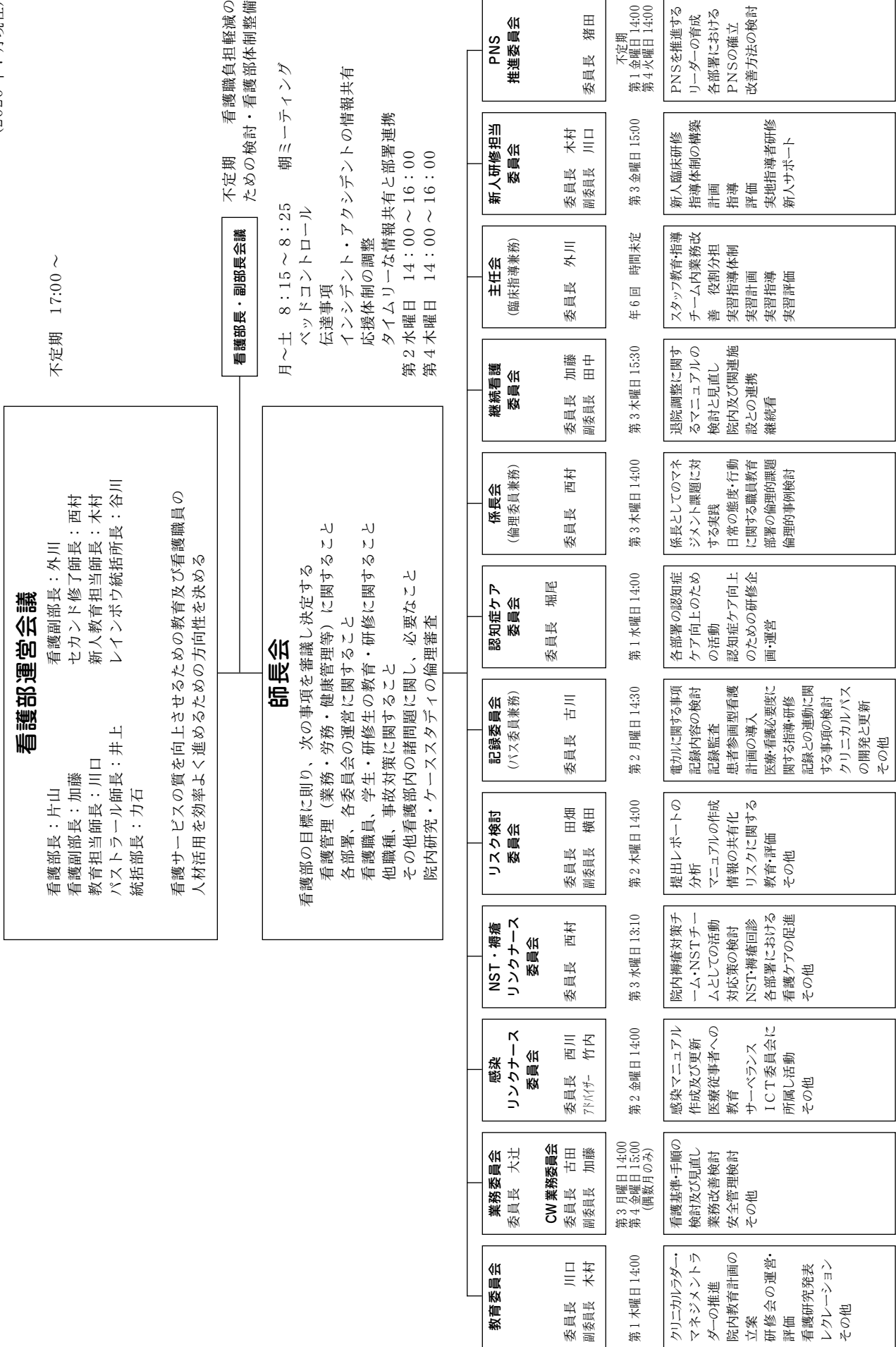
2020.7

看護部



(2020年7月現在)

2 看護部運営委員会組織図

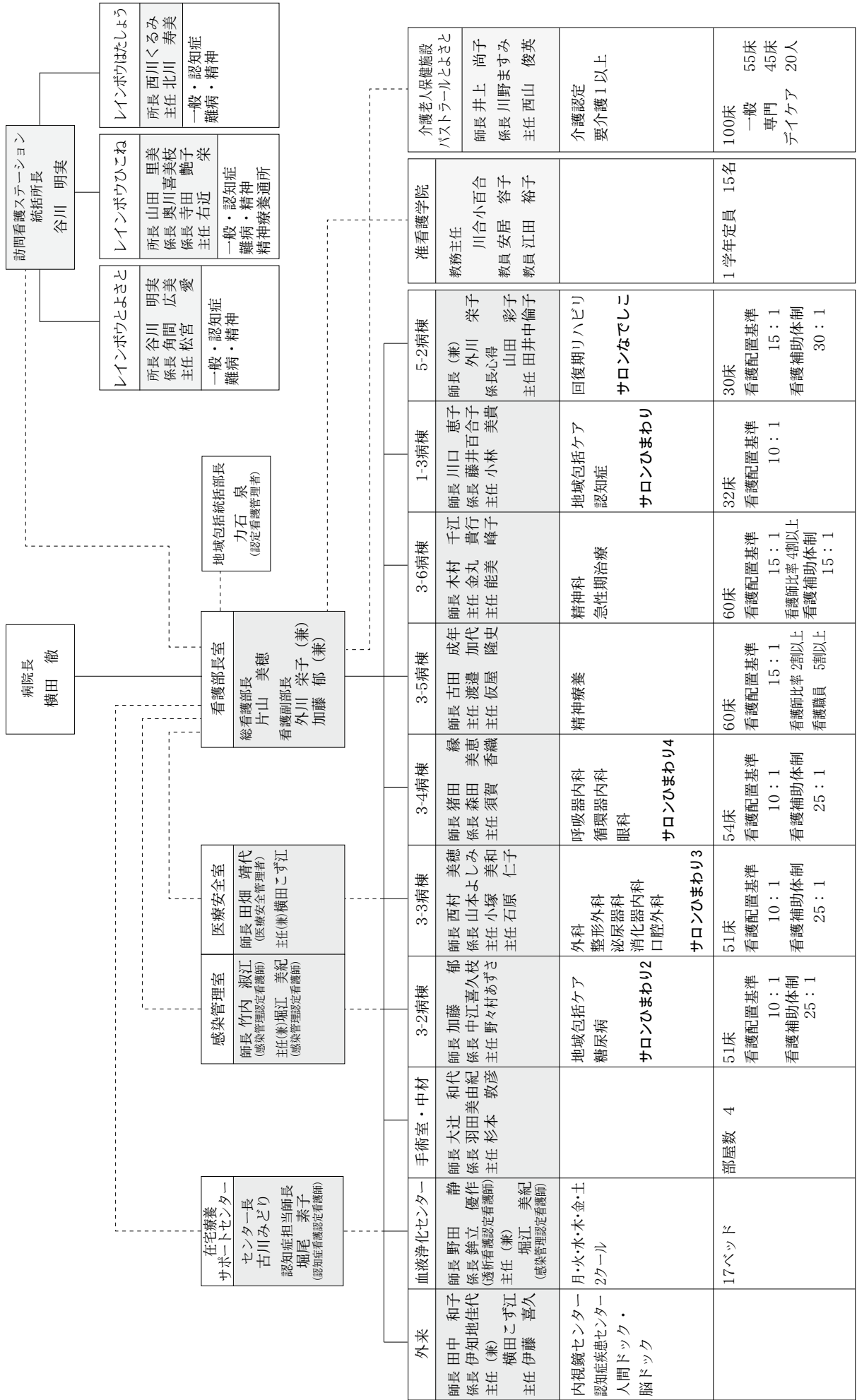


○ 各委員会委員は、3年任期とする。
○ 各委員会の委員は、2～3年で交替し様々な委員会を経験する。(感染リンクナースは3～4年で交替)
○ 各委員会の委員は、原則卒業3年目以上の看護職とする。

* 上記の看護部運営委員会議事録は、第2会議室の棚に保管する。議事録は、3年間棚に保管することとする。
* 第2会議室及び棚の鍵は、看護部長室に保管する。
* 会議終了後、委員長は速やかに看護部長に報告すると同時に議事録を綴じて閲覧できるようにしておく。

2020.7

3 看護サービス提供組織図



4 看護部 単位別目標及び評価

部署	目標	最終評価
看護部	<p>1. 地域包括ケアシステム時代における看護の役割を果たす</p> <p>1) 外来患者の重症化を予防し在宅療養を支援する 2) 入院患者の寝たきり・認知症の進行を予防し自立を支援する 3) その人らしい生活・生き方を支えるために意思決定できるように支援する</p> <p>【実践するために以下に取り組む】</p> <p>①個々の患者に関心を示す ②患者の持つ力を見つけて引き出す ③コミュニケーション能力を高める ④日々のケアの中で患者・家族の思いを聴きとる ⑤相手が意思決定できるように情報を提供し共有する ⑥人生の最終段階における医療やケア（ACP）を患者・家族と共に考えることができる ⑦院内・地域の多職種との連携を強化する</p> <p>2. 患者・家族、職員共に、この病院を選んで良かったと思えるように、患者・家族の満足度と職員満足度を高める。</p> <p>1) 患者満足度を高める ①スマイル行動（ほほえむ） ②スピード行動（お待たせしない） ③スマート行動（患者の状況をアセスメントし適切に対応） ④サポート行動（援助・支援）</p> <p>2) 職員満足度を高める ①互いを認め合い、助け合える職場づくり ②気持ちよく挨拶がかわせ、雰囲気の良い職場づくり ③お互いを高め合い、個人目標や課題達成に向け行動できる職場づくり ④自ら考え行動し助け合うチームづくり</p>	<p>1.</p> <p>1) とよサポをジョイントに外来と地域との連携が強化され、地域での生活状況・受診時の経過など互いに情報共有しながら患者の在宅療養を支援することができている。また、2019年度の相談件数は昨年度より1600件ほど増加し、とよサポが地域に認知され信頼もされていると感じている。次年度は病棟と外来の連携を強化して、患者の重症化予防と継続支援をさらに充実していきたい。</p> <p>2) 病棟では患者の生活に視点を向け、地域や多職種とのカンファレンスが充実してきており、個々の患者に関心をもちて関り支援をしている。 認知症認定看護師を中心に認知症ケアの学習を重ねたことやDSTの支援により、看護師は認知症患者への対応方法の理解や知識を高め効果的な対応が実践できるようになり、せん妄が減少した。 今後は、入院患者の早期離床と自立支援を目指して、院内デイ・黄昏ケアのさらなる充実を目指す。</p> <p>3) 各部署において患者の意思決定を支援するために患者の思いの確認や患者と家族の思いのズレを確認しながら支援する取り組みが行われており、今後も継続していく。教育委員会を中心に、ACP学習会の伝達研修が開催され、意思決定支援について学びを深めることができた。 今後は患者の意思決定を支援するために、具体的な支援ができることを目指す。</p> <p>2.</p> <p>1) 患者と家族が安心できる対応・あいさつ・コミュニケーションの充実など、患者満足度を高めるための取り組みを実践した。</p> <p>2) グループ活動を通して、解決力や創造力を育成しコミュニケーション力やチーム作りを行うなど、各部署で職員満足度を高める取り組みが実践された。今後も継続し、職員満足度を高めていきたい。</p>
3-2 病棟	<p>1. 地域包括ケア病棟の看護師として、その人らしさを大切にし、患者が意思決定できるよう支援する</p> <p>1) 患者の思いを家族や他の支援者に伝え、その人らしく生活し生きていけるよう支援する</p> <p>(1) 患者が安心して入院生活を送れるよう、笑顔のあいさつと、治療生活上の説明を十分に行い、初対面から患者・家族との信頼関係を築く</p> <p>(2) 看護師は受け持ち患者の生活歴を把握し、入院時とカンファレンス前後の最低2回、退院に向けて患者の「今の気落ち」をコミュニケーションシートに記入する *患者が意思の疎通が図れない場合は、入院時または転入時期に家族の思いを聞き取る</p> <p>(3) カンファレンスの場で、退院後の生活に向けた患者と家族の想いのズレを確認し、多職種と連携の中で退院支援を行う</p> <p>2. 職員満足度を高める</p> <p>1) 人はみな違うことを理解し、前向きに受け入れる</p> <p>(1) 毎日のPNSパートナー（夜勤は夜勤者同士）に「ありがとう」を笑顔で伝える</p> <p>(2) 自分と違う看護の方法に疑問を持ったら、素直な気持ちで直接質問し、本人と意見交換を行う</p>	<p>1.</p> <p>(1) 患者や家族に初対面のタイミングで、自分が受持ち看護師であることを伝え、各自が受持ち看護師としての意識を高めることができています。</p> <p>(2) 入院前の状況や退院に向けての思いも、入院当初から確認することが基本となってきた。しかし、コミュニケーションシートへの記載は十分にできていない。</p> <p>(3) 意思決定支援は認知症患者が増えたこともあり、患者本人よりも介護者である家族の思いが優先されることが多い。私たちは、日々の関りの中で得た情報を確実にコミュニケーションシートに残し、他職種との連携に役立て、早期から患者自身の意思を置き去りにしない退院支援に取り組んでいきたいと思う。</p> <p>2.</p> <p>(1) 挨拶や感謝の気持ちを伝えあうことができた。</p> <p>(2) 看護の方向性に疑問を感じた時、他者の考え（アセスメント）を確認し、自分の考えを伝え患者により良い看護を提供できるよう行動した看護師もいたが、積極的に行動できない看護師もいた。土台として、スタッフ間のコミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場風土を作ることが必要である。お互いに良いところを認め合い指摘し合える職場を目指したい。</p>

部 署	目 標	最 終 評 価
3-3 病棟	<p>1. 受け持ち患者が必要とする看護を見極め提供する</p> <p>1) 個々の患者に興味を示し、患者の持つ力を発見し引き出す支援をする(看護計画)</p> <p>2) 考える力、気づく力、見極める力、解決する力をつける</p> <p>2. より良い看護の提供のため、コミュニケーション力を高める</p> <p>1) PNSでのマネジメント力を鍛えるため、質問力をつける(4年目以上)</p> <p>2) パートナーまたはチーム内での個々の強みをいかす</p> <p>3) スタッフ間で情報共有し、患者家族に統一した対応をする</p> <p>4) 患者・家族、スタッフ間でのコミュニケーションを密に行い、相手の立場に立った適切な対応をする</p>	<p>1.</p> <p>1) チーム活動により、看護計画カンファレンス・コミュニケーションシート活用の実践ができた。しかし、課題として個別に指導を行う必要性があげられる。今後は、チームやPNSで補完し、継続的に支援をしていく。受け持ち看護師としての意識は高いが、力量に個人差があるため支援が必要である。</p> <p>2) 年間で3回の自己評価の後、チームリーダーと担当者(主任)がコメントを記載し、承認と課題の明確化ができた。リーダー・主任からのコメントが、各人の成長のきっかけになると実感した。</p> <p>2.</p> <p>1) マネジメントラダーIIのスタッフには、自己評価をして自己課題を明確にし、マネジメントについて考える機会を設けた。今後も継続的に取り組む。</p> <p>2) 2チームにチームリーダーを配置して、チーム目標と活動目標を挙げ、それぞれ役割を担って活動した。</p> <p>3) 係長が中心になり、認知症患者への対応を統一した。それによりスタッフは、円滑なケアが実践できた。</p> <p>4) 患者満足度調査の結果から課題を抽出し、取り組み目標を挙げた。前提となる言葉遣いに関しては、スタッフの教育が必要であるため、折々に事例を通して発信した。</p>
3-4 病棟	<p>【テーマ】想い・トキメキ</p> <p>1. 患者・家族の想いを聞き、看護ケアに活かすことができる</p> <p>1) カンファレンスまでに患者・家族から情報を得る。情報をもったうえで、カンファレンスに臨む</p> <p>2) 患者・家族が安心して治療が受けられるように、丁寧な対応と心地よい看護を提供する</p> <p>2. 気づく力をつける</p> <p>3. PNSを見直し、安心・安全な看護を行う</p> <p>4. グループ活動を通して、解決力と創造力を育む</p>	<p>1. 情報収集はある程度できたが、情報を具体的な援助にいかすことまではできなかった。カンファレンスの直前に情報収集することもあり、経過報告に終わるようなカンファレンスもあった。「患者にとっての心地よい看護」「丁寧な対応」ができるように、スタッフ間でのコミュニケーションを図った。</p> <p>2. 実践にいかせる勉強会を行い、以前よりも考える力がついた部分もある。しかし基本的に考えることをせず、気付く力も乏しい。観察する力も、もう少し必要だと考える。</p> <p>3. 指示受けのタイミングを考え、業務の見直しを行い、リーダー業務を作りシャッフルが定着したことにより、効果的に看護業務が行えるようになった。看護師にとっても患者にとっても、安心・安全な看護に近付いたと思う。スタッフ間で「思いやり」の心を持つことができるようになった。新人看護師をグループで育てるようにしたことは、メリットが大きかった。次年度も継続したい。</p> <p>4. スタッフ間でのコミュニケーションは良くなったと感じる機会が増えた。病棟の係り活動は個人差が大きい。勉強会係りは毎月テーマをもって動いており評価できる。行動を起こすと何らかの成果は出る。どの係りも行動に移し病棟を活性化できると良いと思う。業務の中で日々起こる問題に対し、スタッフみんなで考え解決していったとは言い難い。疑問に思ったこと・不安に思うこと等をもっと声に出して、スタッフが情報共有し解決方法を考えていくことが大切だと考える。</p>
3-5 病棟	<p>1. 患者の生活支援・意思決定支援とともに、自律性を回復し「その人らしい生活」の獲得ができるように支援する。</p> <p>1) 患者の全体像理解した上で、患者・家族の意思確認に基づいた看護を提供する</p> <p>①エンディングノートを再作成し、患者の意思確認・家族への伝達を行う</p> <p>②医師と共に急変時の定義と対応を共有する(確認書の聞き取りマニュアルの活用)</p> <p>2) 有効なカンファレンスを開催し、患者理解を深める</p> <p>①看護要約をカンファレンスで活用する</p> <p>②ADL表のあり方を検討する</p> <p>3) 急性期からの受け入れを円滑にするため、退院支援に取り組む</p> <p>①患者の退院に関する意思を確認し、共有する</p> <p>②退院支援ファイルを活用し、優先順位を検討する</p>	<p>1.</p> <p>1) エンディングノートの再作成は行ったが、家族への伝達はできていない。伝達するための確認表を作成したが、活用できていない。病棟連絡ノートや病棟会議などで発信していく。</p> <p>2) カンファレンス担当を付けることで担当者の自覚ができ、議題を挙げ効率的に司会進行できている。またCWからも様々な意見が出ている。看護要約がカンファレンスで活用できたのは、2・3例であった。活用していくための検討が必要である。</p> <p>3) 毎週カンファレンスを行っているが、何となく退院できそうな患者を見渡して漠然と進捗状況を話していた。そのため、毎回同じような話の繰り返しになっていた。月の1度のカンファレンスで退院促進者の優先順位の確認をし、進捗状況を報告し退院のための具体案を考えスタッフが統一して関わられるようにしていく。受け持ち看護師が不在でも、家族や関係者に話ができるようにしていきたい。</p>

部 署	目 標	最 終 評 価
3-5 病棟	<p>2. 患者・家族の満足度向上のため、スタッフのスキルアップを図る</p> <p>1) PNS導入することの意味を理解する ①PNS委員を中心に、病棟独自のPNSを検討する</p> <p>2) 受持ち看護師とCWのサポート体制を明確にしておく ①情報共有の場を検討する</p> <p>3) 病棟勉強会を開催し、精神科看護の理解を深める ①e-ラーニングを利用して、勉強会を毎月開催する ②急変時の勉強会を開催する</p>	<p>2.</p> <p>1) スタッフ間でパートナーを選出したが、スタッフ数が少ないためペアを組めない時が多い。PNSで動きの確認や情報共有はしているが、ペアによっては、一方に負担が多かかっているケースもある。ペアだけで業務が完結せず、他者が手伝っている現状である。</p> <p>2) 患者の衣類に関し、不適切なものを着用し整理整頓ができていないことが目に付く。CWは衣替え・整理と確認、看護師は家族に依頼するといったような役割分担も必要かもしれない。また、患者の管理能力を再確認する必要もある。</p> <p>3) 数名を除き、年間を通してe-ラーニングの視聴ができています。急変時の勉強会を実施し、動画撮影をした。次年度に修正を入れ再度動画撮影をする予定である。【3—5急変時手順】の周知を図るため、掲示方法を考える。</p>
3-6 病棟	<p>1. その人らしい生活・生き方を支えるために、意思決定できるよう支援する</p> <p>1) 個々の患者に関心をもつ ①受け持ちが決まれば担当看護師であることを患者・家族に伝え挨拶をする ②患者の身の回りの整理・整頓をする ③患者の身だしなみに気を付け、清潔を保つ</p> <p>2) コミュニケーション能力を高める ①患者の分かりやすい言葉で、丁寧に伝える ②話すスピード、声のトーンと大きさ、身振り・手振り、表情に留意する ③患者が「話してよかった」と思うような返しができる</p> <p>3) 日々のケアの中で、患者・家族の想いを聴き取る ①入院前後の状態を確認する ②面会時には患者の状態を伝える ③退院について患者の思いを確認する</p> <p>2. 自己の目標が、患者中心の看護に繋がっている 個々の能力をアップするために、意識的に病棟の役割・研修会・e-ラーニング等に取り組む</p> <p>1) 自己学習は計画的に行う 2) 病棟の役割は、計画を立て行う</p>	<p>1.</p> <p>1) 一部のスタッフを除き、患者の意思を尊重して関わることができている。一部のスタッフに委縮しながら業務を行っていた看護師が、そのくびきから解放され本来持つ力を発揮できるようになった。</p> <p>2) 言葉遣いも丁寧になり、スタッフが患者に八つ当たりの言動をすることはなくなった。</p> <p>3) 家族に患者の状態を伝える時には、看護師が自分の言葉で家族が安心できるような対応ができている。</p> <p>2.</p> <p>1) e-ラーニング視聴は個人差が大きい。 2) 自己学習も個人差が大きい。学習目的が曖昧なままなのが原因の一つかもしれない。</p>
5-2 病棟	<p>れ 礼儀正しく、接遇の強化</p> <p>①スマイル行動 笑顔を決やさない</p> <p>②スピード行動 早急に対応し、お待たせしない</p> <p>③スマート行動 患者の状況を判断し、適切に対応する</p> <p>④サポート行動 患者が困らないように、必要な時期に必要な援助や支援をする</p> <p>い 意思決定 患者自身が退院後の生活やケアを家族とともに考えられるように、情報を提供し一緒に考える</p> <p>①面談には必ず患者も参加し、発言の時間を設ける</p> <p>②カンファレンスには可能な限り患者も参加し、思いを聴き取る もしくは受け持ち看護師が、先に聞きとっておき患者の考えを皆に伝える</p> <p>わ 輪をつなぐ 看護師・CW全員がお互いさまと考えるチーム</p> <p>①毎月ミドル会議の前に、係長と主任がスタッフの意見を聴き取り会議に提案する</p> <p>②CW会議は、勤務表を考慮して極力全員出席できるようにし、生の意見を聞く</p> <p>③病棟会議は全員参加を原則とし、必ず数名のワークを行い全員の意見を聞く</p> <p>④病棟の一員として会議に参加し、言いたいことが言える関係を作る</p>	<p>れ 患者・家族を中心に置き、家族やその関係者に笑顔で対応するということを言い続け、患者満足度調査でも良い評価を得ている。しかし、一部のスタッフの言動が、声の巣箱に入った。患者から「怖い」という声があったスタッフには、個別面談で指導した。笑顔の少ないスタッフにも個別指導した。病棟がぎくしゃくする事態になったので、どうしたら病棟がよくなるかスタッフにアンケート調査を実施した。アンケート結果をまとめ見える化することで意識していきたい。</p> <p>い 面談には患者も出席し思いを発言できるようにしている。その場で意見を発言しにくい患者には、出来る限り事前に想いを聞き取り、患者の立場に立って、患者の代わりに看護師が聞き取った思いを発言するようになっている。食べないし点滴もしないと意思決定した患者の看取りを行った。この事例をまとめ倫理カンファレンスで振り返りをした。それ以降、患者の退院後に振り返りカンファレンスを数例実施することができた。</p> <p>わ 毎月、病棟会議の前日までにミドル会議・CW会議を行っている。病棟会議は全員出席を原則とし、出席率は良い。病棟会議では毎回、2～3人で必ずワークを行い全員の意見が反映できるようになった。</p>

部 署	目 標	最 終 評 価
1-3 病棟	<p>1. 地域包括病棟として役割を果たし、患者に寄り添う看護を提供する</p> <p>①認知症について理解を深め、患者・家族の思いを聴き、心身状態のアセスメントができる</p> <p>②多職種との連携を密にし、カンファレンスを充実させ、個々の患者に応じた看護が実践できる</p> <p>③受け持ち患者の多職種カンファレンスに参加し、退院支援への一連の流れを理解し実践できる</p> <p>④地域連携パスを構築し、地域と病院との連携に役立たせる</p> <p>⑤病院運営における自分たちの決めた役割を遂行し、病棟構築ができる</p> <p>2. 患者・家族・スタッフが安心できる環境を構築する</p> <p>①スタッフ全員が患者を尊重した言動ができ、患者・家族に合わせた対応ができる</p> <p>②スタッフが助け合い、認め合えるチームの構築ができる</p> <p>③患者・家族・スタッフ間で、笑顔・あいさつ・声掛けを忘れず、円滑なコミュニケーションがとれ、安心できる環境を構築できる</p>	<p>1.</p> <p>①定期的な認知症の勉強会を持つことはできなかったが、睡眠については勉強会をもった。認知症だけでなく基礎疾患をもっている患者が大半であるため、今後は病態と関連したアセスメントができる勉強会を開催する予定である。</p> <p>②週に2回初期カンファレンスを開催し、多職種で今後の方向性を考えることができています。日々のカンファレンスでは、面談状況・IC内容・今後の方向性について共通理解を持ち、患者・家族の思いを踏まえたカンファレンスができるようになってきた。</p> <p>③退院前カンファレンスやIC時に、受け持ち看護師が入るようになってきた。</p> <p>④パス入力が確実にできていない現状を踏まえ、認知症診断パスを使用し入力しやすいように変更ができた。今後も修正しながらパスを連携に役立つようにしていく。</p> <p>⑤3つの係りに分かれたが積極的な活動はできなかった。しかし、個々の認知症患者に応じた対応ができるようになってきている。</p> <p>2.</p> <p>①患者を尊重した態度や言動ができるように数回話し合いの場を持ち、声もかけてきた。患者・家族に統一した対応ができるようになってきている。望ましい言動についてもモデルとなるスタッフを意識して見習えるようにしていきたい。</p> <p>②病棟ルールを皆で決め、助け合う姿勢を「ありがとう」から伝えるようにしている。声を掛け、助け合いながら業務ができています。自分の役割を理解し思いやりを忘れず良好なメンバーシップがとれるよう、個々の意識改革と努力が今後必要である。</p> <p>③家族や面会者にも、気持ち良く挨拶ができるようになってきた。声を掛け合い確認することが円滑なコミュニケーションに繋がり、安全・安心な看護の提供に繋がる。今後もスタッフの振る舞いに注意し、スタッフと患者・家族間に良好なコミュニケーションを築いて、患者・家族が安心できる病棟環境を構築していきたい。</p>
外来	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける外来看護の役割を果たす</p> <p>1) 療養生活が円滑に送れるよう援助する</p> <p>①個々の患者に関心を持ち、外来患者の問題点に着目する</p> <p>②外来看護師は、患者が地域で療養生活を送っていることをイメージし、とよサポと協力し院内外の多職種との連携を強化する</p> <p>2) 日頃から患者や家族とのコミュニケーションを取り、関係性を構築する</p> <p>3) その人らしい生活・生き方を支えるために、意思決定を考える</p> <p>人生の最終段階の医療ケアを共に考えることができるように、病状説明などには積極的に同席し、情報を得るとともに情報を提供し共有する</p> <p>2. 皆にやさしい職場環境作り</p> <p>1) 協力体制の強化</p> <p>①応援要請を自ら発信できる環境作り</p> <p>②仲間が困っていることに気づき、助け合えるチーム作り</p> <p>③チームリーダーを中心に、複雑な業務の問題点を抽出し解決を図る</p> <p>④積極的に挨拶を交わす</p>	<p>1.</p> <p>1) 2) 外来患者を生活者として捉えることが徐々に出来るようになり、同居者や生活環境について情報収集できるようになってきた。とよサポ介入患者について、自主的に報告できるようになり、地域とのつながりを実感している。病棟からの退院連絡患者票も定着して初回受診までにカルテで情報収集できるようになり、患者に関心をもつようになった。</p> <p>3) Aチーム（内科系）は業務に追われICへの参加が難しかったが、地域との連絡が密になるに従い情報提供の必要性を感じるようになり、ICに参加し記録に残せるようになった。科内のミニカンファレンスや医師への質問もできるようになった。</p> <p>2.</p> <p>効果的な応援体制のためにチーム制を導入したが、チーム内で人員を調整することは難しかった。1年間で4人の退職者があり、人員不足の中で教育ができないことと個人の適性や性格もあって人材が育っていない。Aチームはエリアが集中しておりチームの状況が把握しやすく、リーダーを中心に協力体制や教育もできています。他のチームはエリアが離れていたり科によって業務にばらつきがあるためリーダーが状況を把握することは難しい。後期より導入した3役による10：30～ラウンドで、休憩の采配や応援要請に応じることができるようになった。また、各チームリーダーと3役による16時からの業務カンファレンスで振り返りや情報共有をし、困りごとを検討できるようになった。</p>

部 署	目 標	最 終 評 価
とよサボ	<p>【療養サポート】</p> <p>1. 「通院中の記録を入院病棟へ」「入院中の経過を外 来へ」「退院後の経過を病棟へ」と、互いに連携 ができる「繋ぎ役」の役割を果たす</p> <p>①入院時支援を通して、外来での経過を病棟へ伝 える</p> <p>②病棟から退院の連絡を受けたら、各科外来に伝 える</p> <p>③看護記録委員会と協働し、記録を通じて連携で きる</p> <p>④継続看護委員会と協働し、症例検討を通じて連 携できる</p> <p>⑤認知症パスを使用することで、外来と病棟が連 携できる</p> <p>【認知症サポート】</p> <p>1. 個人、家族及び集団に対して熟練した看護技術 を用いて、水準の高い看護を実践する</p> <p>1) 認知症患者を総合的にアセスメントし、看護実 践を行う（クリティカルパスの運用）</p> <p>2) 認知症のBPSDを悪化させる要因・誘因を部署 のスタッフと共に考え、具体的なケアを導き出 す（DST活動）</p> <p>3) 認知症の人の意思決定を支援する（認知症ケア 委員会で検討）</p> <p>4) 認知機能の評価を行い、看護記録に残す（ケー スファイルの作成と活用）</p> <p>2. 看護実践を通して、看護職に指導を行う</p> <p>1) 院内でエキスパート研修を実施し、実践に結び 付けられる指導を行う（1-3病棟、2回/年）</p> <p>2) 認知症看護について全体研修を実施する（8月）</p> <p>3) 新人看護師に、認知症高齢者に関連した講義を 行う（4月）</p> <p>4) 部署での認知症ケアに関する事例検討や勉強会 のサポートを行う</p> <p>3. 看護師にコンサルテーションを行う</p> <p>1) 院内外の看護師からの認知症に関連した相談に 対応する</p>	<p>【療養サポート】</p> <p>1.</p> <p>①入院支援患者数は月20件に満たない。オリエンテーシ ョンの中で、患者・家族と顔の見える関係になり日常生活 での困りごとが聞き取りできるようになってきている。 排泄や食事のちょっとした不安を解消できるよう看護記 録だけでなく、コミュニケーションシートや掲示板にも 記録し、情報共有に努めている。</p> <p>②電話とグリーンカードを通して、病棟から退院の報告が 入るようになった。看護としてどう継続して関わってい くのか明確にできていないことが多い。看護を病棟から 外来につなげていく仕組みを考えていきたい。退院前カ ンファレンスへの参加は、月に1件程度のみである。退 院後の在宅生活がイメージできるよう、退院の報告があ ったケースについては、初回外来受診の様子を病棟に返 していくように努めていきたい。</p> <p>③看護記録や掲示板・コミュニケーションシートの記録方 法について、記録委員会でも検討してきた。</p> <p>④羽座岡看護師が継続看護委員として、病棟と外来の情報 共有について事例発表した。今後も外来と病棟の連携に ついて情報発信し、連携の在り方を模索していきたい。</p> <p>⑤入院時支援にはパスを利用している。一般病棟を経由し て入棟する患者にもパス入力をし、病棟カンファレンス にも毎週参加している。退院後の病棟と地域との連携は、 比較的できていると思っている。</p> <p>【認知症サポート】</p> <p>1.</p> <p>問診票など書面から情報収集をして業務効率を上げた。情 報収集のあり方について、地域スタッフと話し合いをしたい。 DST介入依頼はVaDの診断患者が多く、せん妄リスクが予測 される患者では入院直後に介入依頼が入る。精神科スタッ プから、対応困難な状況でも諦めずに対策を練ることで解決 への糸口が見つかったと実践報告があった。意思決定支援の検 討はできなかった。</p> <p>2.</p> <p>DSTの際にスタッフカンファレンスができていない。 委員会での事例検討が病棟にフィードバックできているか 不明であるため、次年度は赤本を活用してケア方法の浸透を 図りたい。</p> <p>3.</p> <p>DCNの役割が分からず活用しにくいと地域から指摘を受けた。 キャッチフレーズを活用して広報をしていく。</p>
血液浄化 センター	<p>透析患者ひとり、ひとりの思いを大切に、慢性病を 抱える中でも生きがいをもって日々の生活を送れるよ う支援する</p> <p>1. 患者と受持ち看護師が看護計画を共有し、継続的 に関わる</p> <p>①透析室だけでなく、在宅での日々の生活にも目 を向ける</p> <p>②患者の生活目標を立案し、患者とスタッフ皆が 目標の共有を行う</p> <p>③日々のケアの中で、患者・家族の想いを聴きとる</p>	<p>透析患者ひとり、ひとりの思いを大切に、慢性病を抱える中 でも生きがいをもって日々の生活を送れるよう支援する</p> <p>1.</p> <p>12月に患者と共に生活目標を立案し、看護計画にも反映で きた。 生活目標はファイリングし、スタッフ全員で情報共有して それぞれが患者に介入している。患者一人ひとりを大切に し、透析中に目的をもって関わる時間を増やしていきたい。 また、在宅生活を支えるため、看護師が意思決定支援への 理解を深める必要がある。</p>

部 署	目 標	最 終 評 価
血液浄化センター	<p>2. 透析に関わる知識・技術の向上</p> <p>①透析ラダーコルフを用いた育成 ②月に1回の勉強会 ③院外研修会への参加 ④専門的知識を生かした患者のセルフケア支援</p> <p>3. 患者・家族及びスタッフ一人、一人を大切に思いやる</p> <p>①お互いを尊重し合う ②相手の痛みを理解し、寄り添える ③挨拶をしっかり行い、笑顔のある雰囲気の良い血液浄化センター作り ④助け合うチーム作り「ひとりではみんなのためにみんなはひとりのために」</p>	<p>2.</p> <p>①透析ラダーコルフを用いて、透析のスキルアップに取り組めた。 ②勉強会は毎月実施できた。次年度からは、臨床工学科と共に勉強会を実施する。 ③積極的に院外研修に参加して、自己研鑽しているスタッフも多い。 ④毎月実施はしたが、評価はできなかった。ポスターを掲示していたが、患者の半数以上が活動を理解していなかった。支援方法と評価方法を検討し、支援を継続していく。</p> <p>3.</p> <p>PNSをとっていないため、各人が自分の言動に責任を持つ必要がある。 自分を大切にできる人は多いが、他者を思いやり患者とその家族も大切に思っていることができるスタッフを育成することが必要である。</p>
手術室	<p>1. スタッフそれぞれが看護実践能力の向上を意識して、知識技術を習得するように努める</p> <p>①術前訪問に行く時間をチームとして捻出し、病棟看護師から情報を得て患者の不安軽減に努める ②看護の質を上げるため、チームで術前ディスカッションをし、術後の振り返りで今後の看護に活かす ③ディスカッションや術後の振り返りで得たものを、朝礼で報告できる ④午前中の業務を見直し、術後患者訪問のための時間をつくる</p> <p>2. スタッフ同士のコミュニケーションを活性化し、リスク回避やインシデント回避ができるような職場風土を目指す</p> <p>①自分がされて嫌なことは言わない、しない ②スタッフ同士が気持ち良く挨拶を交わし、助け合い得る環境を作る ③忙しい時ほど声を掛け合い、効率よく円滑な業務ができるようにする</p>	<p>1.</p> <p>術前訪問・術後訪問は、ほぼ定着してきている。局所麻酔での術当日入院手術などがあり、そういう場合には訪問ができない。術前訪問用紙を見直し、朝礼で簡潔に報告することで、チームとして情報の共有ができた。しかし、報告と情報共有を、看護の質の向上に結び付くディスカッション・振り返りにつなげる迄には至らなかった。</p> <p>2.</p> <p>コミュニケーションをとることで、リスクとインシデントの回避に繋がった事例があった。今後は、忙しい時にリーダーがコーディネイトしていける力を付けていく必要がある。経験年数に偏りがあるため知識や技術に差がある。先輩が後輩を褒めて伸ばし、共感と円滑な業務につなげていきたい。スタッフ間の挨拶はできており助け合える環境になってきたと思うが、公私混同して私語が多くなっているスタッフが存在する。</p>
医療安全室	<p>医療安全の質向上</p> <p>1) 医療安全マニュアルを遵守し、インシデント・アクシデント事例が減少する</p> <p>①ダブルチェックに関する事例報告が多いため、現状を把握し見直しを図る ②レポート報告から、マニュアルが遵守されているか確認し、状況によりラウンドの実施やマニュアルの見直しにつなげる</p> <p>2) 身体拘束0を目指し、患者の安全・安楽を図る</p> <p>①身体拘束患者の現状把握を行い、毎月集計を出す ②行動制限患者が、行動制限規定に沿って実施されているか把握する ③各部署と情報共有し患者の安全と安楽につなげる</p> <p>3) M&Mカンファレンスを実施し医療の質の向上を図る</p> <p>①毎月M&Mカンファレンスを行い、医療内容を振り返り提供した医療の質を検討する</p>	<p>医療安全の質向上</p> <p>1) リスク委員会を通してKJ法により現状を把握した。京大病院のダブルチェックへの取り組みをリスク委員会で勉強した。ダブルチェック方法の見直しや、多数あるチェック方法の整理はまだできていない。 レポート提出がされていないインシデント・アクシデント事例があり、件数の減少に繋がった。スタッフの意識が低いことや、レポート報告の目的が理解されていないことがレポートを提出しない原因だと思われる。</p> <p>2) 毎月、拘束患者を集計し師長会で報告した。RMが集計結果を部署に返すことで、スタッフの拘束に対する意識を上げることができたと思う。1年間の集計で、患者の拘束は減少していると分かった。分析はまだできていない。</p> <p>3) 医療安全対策管理委員会と金曜日カンファレンスで、毎月M&Mカンファレンスを実施した。事例から問題点をあげ、委員会や医局会を通して周知し、改善に繋がった。</p>
感染管理室	<p>1. 血液媒介病原体による職業感染対策の推進</p> <p>1) 鋭利器材の適切な取り扱い</p> <p>①リキャップしない ②安全装置器材の正しい使用</p> <p>2) 防護用具の適切な使用</p> <p>①採血・静脈確保時の手袋 ②喀痰吸引時等のゴーグル ③救急外来や観血的処置時のフルPPE</p> <p>3) サーベイランスの継続</p> <p>4) 血液・体液曝露防止月間による啓発</p> <p>5) 曝露事例発生時のHIV検査の導入</p>	<p>1.</p> <p>2019年度は9件の報告があった。前年度と比べ4件減少したが、病床数から考えると多いと思われる。発生件数を部署別でみると、パストラルが多かった。血液・体液曝露ゼロを目指して取り組みを継続する。HIV検査はできていない。</p>

部 署	目 標	最 終 評 価
感染管理室	<p>2. 手指衛生の遵守率と消毒剤使用量の向上への取り組み</p> <p>1) 手指衛生の実施状況調査、直接観察 2) 手指消毒剤の使用量調査 3) 医師・コメディカル・事務への啓発 4) お互いが指摘し合い受け入れられる環境（風土）を作り、手指衛生の向上に繋げる</p> <p>3. CLABSI発生ゼロ</p> <p>1) サーベイランスの継続 2) 手指衛生を含めたカテーテル管理の手技確認、マニュアルの見直し</p> <p>4. 抗菌薬の適正使用</p> <p>1) ASTの結成 2) 届出抗菌薬使用量の減少 3) デーエスカレーションの重要性の啓発等</p> <p>5. ムリムダムラのない感染対策の推進</p> <p>1) 清潔リネン・不潔リネンの運搬方法の標準化と一元化 2) 環境整備の標準化 ①日常清掃、定期清掃、感染症発生時の清掃、退院時清掃など ②環境クロスの見直し</p> <p>6. その他、TOPICS</p> <p>1) 歯科機器や単回使用医療機器における再利用物品の見直し 2) 手指消毒剤等の消耗品の見直し、経費節減</p>	<p>2. 手指衛生の実施状況を直接観察することはできなかったが、防止技術グループによる技術チェックの中で手指消毒タイミングのチェックを行った。フィードバックはしたが、スタッフの意識変容に繋がったかどうかの確認はできていない。</p> <p>3. 3-3病棟で1件発生した。</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、1月から十分なカンファレンスが実施できていない。</p> <p>5. 新しい環境クロスを導入した。マニュアルも作成し運用している。</p> <p>6. 取り組みができなかった。</p>
レインボウとよさと	<p>顧客満足度向上、安定した経営を目指す</p> <p>1. 在宅看取りの意思決定支援、ターミナルケア計画をタイムリーに立案し、必要に応じた柔軟な訪問活動を展開する</p> <p>2. 利用者満足度調査を実施する</p> <p>3. 定期的な事例検討会、情報収集、アセスメントシートの見直し、研修の伝達講習による学びの再確認と伝達能力の向上を図る</p> <p>4. クリニカルラダーの活用により、自己の課題・目標を明確にし、スキルアップを図る</p> <p>5. スタッフ全員が経営を意識し、目標達成度を共有する（毎月の収入500万円以上、利用者110人/月以上キープ）</p> <p>6. 事業所の存在アピール ことうチームケア研修会に必ず1名は出席し、多職種にレインボウの存在をアピールする</p>	<p>1. 5件の在宅看取りがあり、ターミナルケア加算が算定できた。意思決定支援については、本人の意思確認ができる場合でも家族間で考え方が違い、上手くいかなかったケースもあった。主治医からの説明を聞いていても理解できないまま自宅療養になると、看取りの意思決定について介入するタイミングや話のもって行き方が難しかった。</p> <p>2. 満足度調査を実施して、利用期間が長い利用者程満足度が高いという結果が見られた。</p> <p>3. 定期的な事例検討会は継続できているが、情報収集やアセスメントシートの見直しができなかった。</p> <p>4. 訪問看護ステップアップシートを利用して、年に2回自己評価を実施した。僅かながら点数が上昇している。</p> <p>5. 月報をスタッフに回覧しているが、理解度は確認できていない。</p> <p>6. 隔月で開催される湖東チームケア研修会に1名は参加するように計画していたが、夜間に掛かる研修のため参加できるスタッフが限られた。</p>
レインボウはたしよ	<p>1. 利用者に寄り添う看護が提供できる</p> <p>1) 利用者満足度調査を実施し、ニーズを明確にする 2) コミュニケーション技術を高め、利用者・家族の想いを理解する 3) ユマニチュード技術を習得し実践する</p> <p>2. 地域に寄り添う看護が提供できる</p> <p>1) 地域の会議に参加し、地域の強みと弱みを把握する 2) 地域住民と交流できる機会をもつ</p>	<p>1. 利用者満足度調査を実施した。全体的に肯定的な評価を得た。苦情があった緊急時の対応については、電話での対応を改善していくことにスタッフに周知した。コミュニケーション技術は全体研修ができず自主学习になった。コミュニケーション不足が原因と思われる苦情があり、カンファレンスで振り返り利用者の気持ちに寄り添えていなかったと気付くことができた。ステーション全体でコミュニケーション能力が高まるような研修が必要であると考えている。</p> <p>2. 地域の会議に参加し、訪問看護のアピールができた。在宅医療フォーラムにはスタッフ全員が参加して、関わった症例を振り返ることができた。その席では地域住民との交流もあり、実際の看護に対する評価を受けモチベーションの向上にもつながっている。今後も地域の会議や研修会に参加して地域のニーズを把握し、地域の看護師として頼られる存在を目指したい。</p>

部 署	目 標	最 終 評 価
レインボウ はたしよ	3. 利用者の望む生き方を把握し、支えることができる 1) ACPを理解し、看護師自身の「もしも」の時に望むケアについて考える機会をもつ 2) 利用者、家族の人生の最終段階の自己決定を支える ①利用者、家族へACPを説明し、ともに考える機会をもつ	3. ACP勉強会を実施して看取り期の希望にはそれぞれの価値観が反映することを理解し看取り期の支援について考えることができた。訪問の場では終末期について利用者や家族とじっくり話す機会が少なく、看護師にも個人差がある。場合によっては看護師2人で訪問するなどしてACPへの理解と経験を深めていくことが必要である。
レインボウ ひこね	1. 地域包括ケアシステムにおける訪問看護師としての役割を明確にし、地域に貢献する 1) 精神訪問看護の実践力強化を行い、地域において強みをいかした訪問看護が実践できる ①心のケア研究会に参加し、在宅でのチーム医療に必要な多職種協働の在り方を学ぶ ②セラピストとの協働による訪問看護の強みをいかし、認知度を高める 2. 患者・家族満足度と職員満足度を高める 1) 利用者に向け満足度調査を実施し、課題を明確にする 2) 「仕事と生活の調和」を考え、有給休暇取得、時間外労働削減に努め心身の健康を図る	1. 精神医療に関する地域での会議や事例検討会に積極的に参加し、地域包括ケアシステムにおける課題を提起することができた。地域の研修会では、メンバーと事例を検討することでネットワークが広がり、福祉や保健の考え方を学ぶことができた。 2. 利用者満足度調査を実施し、回収率は70%であった。その8割から肯定的な評価を得た。課題として上がってきた病態予測に関しては、分かりやすい言葉で伝えられるよう次年度で取り組んでいく。 事務員と看護師の離職が経営に影響したため、人材が定着するように組織におけるコミュニケーションとスタッフ間の信頼関係構築に努めていきたい。
パスト ラール とよさと	1. 地域包括ケアシステム時代における看護の役割を果たす 1) 利用者の状態変化に素早く気づき、医療に繋がることができる ①CWと連携を密に行い情報共有し、異常の早期発見に努める ②利用者の状態のアセスメント能力アップのためe-ラーニングを活用する 2) 利用者・家族に寄り添い、意思決定できるように支援する ①個々の利用者に関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図る ②ターミナルカンファレンスにスタッフも参加することで、家族の思いを知る 3) 看護師が、利用者の入所前・退所前の在宅訪問を経験することで、在宅での生活を考慮した看護が実施できる 2. 利用者と家族の満足度を高める ①丁寧な言葉遣いで話す ②笑顔で対応する ③スタッフ同士で気持ちよく挨拶が交わせ、雰囲気の良い職場づくりを行う	1. 1) ①昼のフロアカンファレンスをはじめとして常に情報交換・情報共有を行い協働することができた。 ②積極的にe-ラーニングを利用したと言える人はいなかった。次年度は、1人3講座は必ず受講することに決めた。 2) ①状態不良の利用者や訴えのある利用者にはコミュニケーションを図れたが、全ての利用者に余裕をもってコミュニケーションを図ることはできなかった。 ②年間4例のターミナル認定があり、うち3例にカンファレンスを実施し3名の看護師が参加した。デスクカンファレンスも2例実施できた。今後も継続していきたい。 2. 余裕がなく、丁寧な言葉遣いを継続することができないこともあった。お互いに注意し合えるようにしていきたい。スタッフ間では、笑顔であいさつを交わすことができていた。

5 各種委員会

看護部業務委員会

看護業務の改善、合理化の検討をし、資質の向上を図り業務に関する事項の統一を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第3月曜日
- (2) 審議事項
 - ・新人研修 採血実践計画評価反省会・手順の見直し
 - ・業務手順の項目 手順書目次の改定変更
 - ・入院チェックリストの改定
 - ・感染管理委員会・リスク委員会からの提案や変更、手順書の書き換えに対する情報を共有して看護手順の見直しをして円滑で安全な業務ができるようにする
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

CW 業務委員会

患者さんを中心に考え、その人らしい生活や生き方を支えるために、統一した対応ができるよう看護師・看護補助者との連携を強化する。患者さんが、安全で生活しやすい療養環境を看護補助者が中心となり整備し提供する。

- (1) 開催時期 第4金曜日 15:00～
 - ・前年度目標の評価と今年度目標の検討
 - ・今年度のCW研修の予定
 - ・看護師・看護補助者の業務分担、見直し
 - ・業務上の問題・課題の検討
 - ・リネン伝票の再検討
 - ・ポータブルトイレの洗浄について
 - ・ポータブルトイレ
 - ・看護補助者研修会の検討・開催後の評価
 - ・看護業務分担表および、業務内容における注意事項一覧の作成
- (2) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員8名

看護記録委員会

決められたルールを守り、情報共有するための記録ができるために活動。「重症度、医療・看護必要度」の入力が正しくできるために活動。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第2月曜日 14:00～
- (2) 審議事項
 - ・「重症度、医療・看護必要度」研修の実施
 - ・電子カルテマニュアルの見直し
 - ・記載基準マニュアルの見直し
 - ・年2回の記録監査、年2回の必要度監査
 - ・院内連携のための検討
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

クリニカルパス委員会

チーム医療の推進、インフォームド・コンセントの促進、リスクマネジメントの促進等を目的として、各種疾患に対するクリニカルパスの作成・使用推進を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 6月・11月の第2月曜日 14時～
- (2) 審議事項
 - ・使用中のクリニカルパスの修正について
 - ・新しいクリニカルパスの開発について
 - ・クリニカルパスの運用について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員15名

感染リンクナース委員会

感染に関する知識を深め、統一した感染対策を実施する。お互いに指摘・助言し合い、適切な感染対策を実施することで医療関連感染の防止・低減に繋げる。

(1) 開催時期 毎月1回 第2金曜日 14時～

(2) 業務改善、実践

- ・中心ライン関連サーベイランス
- ・手指消毒剤使用量サーベイランス
- ・手指衛生強化月間（7月・11月）
- ・針刺し・体液曝露防止強化月間（5月・9月・2月）
- ・外来診察室の手指消毒剤使用量チェック、医師ヘフィードバック
- ・感染防止技術グループでの技術チェックラウンド
- ・TQM活動「ちっくしょー、感染対策できてねえ・・・感染5レンジャー出動!!
～お互いが指摘し合える環境を作り、みんなで感染対策頑張ろう～」

- ・全職員を対象に意識調査
自身の感染対策が何%できているか、できていない人を見かけたら指摘できるか？
- ・差し出すカードの作成
- ・お互いが指摘し合う、アサーティブコミュニケーションの方法を動画撮影
- ・環境クロスの見直し
- ・環境整備の標準化（日常清掃、定期清掃、感染症発生時の清掃、退院時清掃など）
- ・カテーテル透析の手技統一
- ・マニュアル・看護手順の作成・改訂

〈マニュアル〉 ・部門別；外来；輸入感染症

- ・リネン類の取り扱い ・微生物サーベイランス ・蚊媒介感染症
- ・流行性ウイルス疾患の職業感染対策マニュアル ・新型コロナウイルス感染症対応
- ・部門別；透析；ブラッドアクセスカテーテルからのカテーテル透析手順
- ・感染管理業務；HBワクチンプログラム、流行性ウイルス疾患ワクチン接種の重要性
ワクチン接種拒否願ひ、ICDの役割

〈看護手順〉 ・病室の清掃

(3) 研修会の開催

時期	対象	内容
4/2	新規入職者	標準予防策・感染経路別予防策
4/17	新人看護師	手指衛生のタイミング・血液媒介感染症対策・針の取り扱い
4/18	新人看護師 CW、介護士	カテーテル関連血流感染防止技術・ミキシング・プライミング 防護用具の着脱実践・カテーテル関連尿路感染防止技術・喀痰吸引
5/14	新人看護師	CVルート交換・刺入部消毒・固定・サーフロー留置実践・血培採取
10/15、10/16	全職員	医療施設における環境整備
1/23 1/24	全職員	「みんなで取り組む感染対策～お互いが指摘し合い、受け入れられる風土づくりを～」

★院外研修参加

- 8/30 滋賀県感染ネットワーク主催 看護職員感染対策研修会（基礎編） リンク
ナース2名
- 9/27 滋賀県感染ネットワーク主催 看護職員感染対策研修会（中級編） リンク
ナース1名
- 10/29 滋賀県感染ネットワーク主催 看護職員感染対策研修会（応用編） リンク
ナース2名

(4) 人員構成 委員長1名 委員10名 アドバイザー1名

看護リスク検討会

看護師の医療安全に関する知識を深め、医療現場における安全性の確保と看護の質の向上を図る。
活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2木曜日
- (2) 審議事項
 - ・医療安全マニュアルの見直し
 - ・新人研修 転倒・転落研修会
 - ・RRSの学習会 ・出張の伝達講習
 - ・転倒・転落の各部署の事例報告と情報共有
 - ・転倒・転落防止対策への取り組み
 - ・各部署の事例報告と情報共有
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員11名

看護部教育委員会

看護職員の相互理解と資質の向上、および関係者の親睦を図る。

キャリア開発プログラムに沿った目標管理、教育計画の立案、実施、評価を行う。看護研究を推進し、看護師の質の向上をめざす。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第1木曜日
- (2) 審議事項
 - ・看護研修の推進
 - ・レベル別及び全体を対象とした教育計画の企画立案、実施、評価
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員10名

係長会

地域包括ケアシステムを理解し、地域における病院の役割、看護部の役割を理解したうえで退院支援看護師として係長がその役割を十分に果たせるように、倫理的感性を高め、資質の向上を目指すことを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日 14時～
- (2) 審議事項
 - ・地域包括ケアシステムを理解し、地域の現状から地域における当院の役割、看護部の役割を理解する
 - ・看護部として継続看護を推進するために、係長として部署内で果たす役割を実践する
 - ・部署内で発生した倫理問題を把握し、倫理カンファレンスを定着する目的達成のための取り組み検討。倫理研修を定期的実施
- (3) 人員構成 委員長1名 看護部係長11名

継続看護委員会

患者中心の医療と療養と生活を繋ぐ

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日 15時半～16時半
- (2) 審議事項
 - ・事例検討会
 - ・部署間の継続看護、看看連携における“とよサポ”の活用
 - ・スタッフへの継続看護の教育的役割
 - ・継続看護の質の均一化を図るための、マニュアルの見直し・修正・作成
(退院支援と退院調整に関するツールの作成)
 - ・院外研修を基にした学習会 (e-ラーニング活用も含む)
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員8名

看護部主任会

豊郷病院における主任業務遂行のため、看護チームの円滑な運用及び効果的な教育・指導を実践する。臨地実習指導者委員も兼ね、学生の実習目標が達成できるように、学校教員と連携を取りながら指導・支援を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回

- (2) 審議事項
- ・主任として自部署の効果的な運用、スタッフ育成、リーダーの育成と指導。その振り返りと情報交換
 - ・目標達成のための行動目標立案と評価
 - ・チームリーダーとしての役割の把握
 - ・主任の立場での勉強会、研修会参加
 - ・実習の振り返り
 - ・病棟内ソフト面・ハード面の整備
- (3) 人員構成 委員長1名 各部署主任全員

新人研修委員会

豊郷病院看護部に入職する新人看護職員を全職員がともに支え合い、成長することを目指すために、また、新人看護職員が臨床現場に順応し、臨床実践能力を獲得するための支援体制を整える。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3金曜日
- (2) 審議事項 本委員会は厚生労働省の示す新人看護職員研修ガイドラインをもとに以下の事項を審議、実践する。
- ①施設及び看護部門の教育方針に基づき、研修プログラムを策定・企画
 - ②策定された研修プログラムを元に、より具体的な研修方法・研修内容等について審議
 - ③教育担当者・実施指導者の研修に関する審議
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員7名

NST 褥瘡リンクナース委員会

公益財団法人豊郷病院における院内栄養サポート、褥瘡予防対策と治療を討議・検討し栄養サポートと褥瘡に関する知識の増進・普及を図り、日常生活自立度が低い入院・入所患者に対して栄養サポート・褥瘡予防対策と治療を図るとともに医療の向上、看護のケアの促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 リンクNs委員会 月1回第3水曜日 13:10～
褥瘡回診 毎週水曜日 14:30～
褥瘡ラウンド 月2回第1・3水曜日 14:30～
- (2) 審議事項 保有患者症例検討 褥瘡計画表・評価表・マニュアルの見直し
電子カルテでの計画書の運用 マット点検 体交枕の検討
レンタルマットの検討 院外研修の伝達講習 創傷ケア通信発信
- 研 修 会 2020年2月19日(水) 17:15～18:15(全体研修)
「認知症による食行動への影響」
梅花女子大学 井戸由美子先生
モルテン 体圧分散マット導入に伴い勉強会
- (3) 人員構成 委員長1名
各セクション看護師各1名ずつ計9名(パストラール含む)

認知症ケア看護委員会

各部署の認知症ケア向上のための活動

活動内容

- (1) 開催時期 月1回 第1水曜日 14時～15時
- (2) 審議事項
- ・事例検討会
 - ・部署間の認知症看護、看看連携における実践内容の検討
 - ・スタッフへの認知症看護の教育的役割
 - ・認知症看護の質の均一化を図るためのマニュアルの見直し・修正・作成
(認知症看護に関するツールの作成)
 - ・院内研修を基にした学習会
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

6 看護教育委員会事業報告書

レベル	【実践能力】・テーマ	開催日	参加者数	内容
I	【ニーズをとらえる力】 アナムネ	7/22(月) 17:30～18:30	31名 61%	講師:古川師長 講義とペーパーベシエントの情報からアナムネの情報収集を行ない、必要な情報についてのグループワークを行った。入院時より退院後の生活を見据えた情報収集や情報の共有が大切であるということが学べた研修であった。
	退院支援にサマリーを活かそう	8/20(火) 17:30～18:30	27名 53%	講師:野田係長・山本係長 「退院支援とは」サマリーにどのような情報が必要か「当院サマリー様式について」の講義とグループワーク。実際に入院していた患者のサマリーを提示され、グループで患者の人物像、家族のとらえ方、指導、関わりについて読み取る。そこからディスカッションしながら何が必要であるかを学んでいく研修。今後のサマリーに役立てたい、どのようなことを書けばよいのかよくわかったなどの感想も多く、今後活かされる研修であった。
	【ケアする力】 救命救急	9/6(金) 9/13(金) 17:30～18:30	23名 15名 計38名 74%	講師:教育委員 CPRの手技確立、SBARの説明、AEDの実施。急変時の流れや役割分担、声かけなどコミュニケーションの重要性、タイムリーに記録を残すこと、SBARを用いて報告すると明確に伝わるなど演習を通して多くのことが学べた。今後も継続が必要研修である。
	【協働する力】 コミュニケーション	6/25(火) 17:30～18:30	31名 61%	講師:江田教務 2人1組でテーマに沿って5分で「伝える」「聞く」を行なう演習。パーソナルスペースについて体験、声のトーンや目線、うなずき、姿勢などコミュニケーションに必要な要素が学べた研修であった。
I・II 合同	I・II合同 【意思決定を支える力】 エンド・オブ・ライフケア	10/17(木) 17:30～18:30	53名 48%	講師:野田係長・種村係長 講義と事例によるグループでのロールプレイ(患者役・看護師役・見学役)での演習。ロールプレイでは患者役になりきる人や感情移入し泣く人もいた。演習を行ない改めて自分の弱みやできていないところがわかった、客観的に第三者として見る事でフィードバックすることができ、さまざまな視点から考察できよくなったなどの感想が多かった。話を聞く環境を整えること、沈黙も大切な時間であること、自分たちの治療に対する知識も患者に安心を与えるために必要なこと、寄り添うことなど、意思決定時の看護師の役割を理解できた研修であった。
II	【ニーズをとらえる力】 サマリーの書き方	9/30(月) 17:30～18:30	19名 32%	講師:森田係長 昨年受講した人の次へのステップ研修。 サマリーについての講義とグループワーク。実際に入院していた患者のサマリーを具体例として提示され気づきや欲しい情報についてのグループワークを行った。実際のサマリーを用いることでイメージしやすく、情報を受ける側に立って書くことが大切であるということ、連携の重要性について学べた研修であった。
	【ケアする力】 救命救急 基礎編	10/2(水) 10/3(木) 17:30～19:00	19名 18名 計37名 62%	講師:教育委員 1部:DVD視聴、CPR、SBAR 2部:事例に基づいてのシュミレーション演習。役割分担、発見時からSBAR報告、BLS一連の流れ、行動の理解までをグループで役割を決めて行なう実践形式の研修。演習後の感想として、担当を決め声をかけあい協力しあうことが大切、急変対応が少ない部署なので基礎の振り返りができた、不安があったが今後活かされるなどの感想あり体験を通して学ぶことができた研修。
	救命救急 応用編	11/14(木) 1/9(木) 17:30～19:30	14名 13名 計26名 44%	講師:伊部Dr・富田Dr 11/7が中止となり1/9へ変更となった。 1部:DVD視聴、CPR、SBAR 2部:事例に基づいての演習挿管・除細動 Drを交えてのシュミレーション演習であったの臨場感のある研修となった。研修後の感想では、実際にDrに電話でSBARを用いて報告し、とてもリアルな体験ができてよかった、何回か研修を受けることにより少しずつではあるが、自信がついてくるものだと実感した、指示をしっかりと出しつつ自分も動けるようにしていきたいなど、自分の振り返りや今後の実践に活かされるといった意見が多かった。
	【協働する力】 アサーション 昨年受講していない人対象	12/20(金) 17:30～18:30	8名	講師:金丸主任 昨年参加者48名以外の受講研修。アサーションについて講義、アサーションスキルを活用したトレーニングと事例を用いてのグループワーク。アサーションについての基礎知識を学び、現在の自分の自己表現方法に対する振り返りができた。アサーションスキルは実践することで習得できるものであることが学べた研修。
	アサーション 昨年受講した人対象	1/8(水) 17:30～18:30	21名 44%	講師:金丸主任 アサーションについて講義、事例でのグループワークと発表。 4つの事例を「みかんでいいな」のアサーティブコミュニケーションのツールを用いて、アサーショントレーニングを実施。「み」見たこと・聞いたこと、「かん」感じたこと、「てい」提案する、「いな」否と言われたら代案・折衷案を記載していく用紙を用いてグループ毎にアサーショントレーニングを実施した。立場や人によって感じ方の違いを知ることができた、伝えることの難しさ、伝えることの大切さ、相手の気持ちを尊重することなどグループワークを通して学ぶことができた。
	リーダーシップ	8/22(木) 8/23(木) 17:30～18:30	8名 17名 計25名 42%	講師:金丸主任 経験年数4年以上の研修 グループワークでK法を用いてリーダー業務で困っていること、悩んでいることを出し合い、グループで課題を共有、解決策を考え発表しあった。 他病棟も同じ悩みや不安を持っていることがわかった。リーダーシップ、メンバーシップを発揮するにはコミュニケーションが大切、スタッフ同士の関係性が大切、報告、連絡、相談が大事など共有できた部分も多く、課題解決へ向けて自分がやらなければならないことも認識できた研修となった。研修日により出席者数の差があり調整も必要であった。
III	【ケアする力】 救命救急	2/13(木) 17:30～19:00 3/5・3/12の研修は 新型コロナウイルス感 染防止のため中止	15名	講師:伊部Dr・鄭Dr 1部:DVD視聴 2部:CPR 事例に基づくシュミレーション 外来待合室、病室の2事例 外来待合室で3ヶ所に分かれてCPR訓練を実施した。スペースが広く効果的に演習ができた。2つのシュミレーションを実施しDrの協力で臨場感のある研修となった。 研修後の感想では忘れかけていた部分を再確認できた、振り返りができた、連携がとれているとスムーズに動けることがわかった、何度も繰り返して行なうことが大切という意見あり。新型コロナウイルス感染防止のため3回予定の研修は1回のみ開催となった。

レベル	【実践能力】・テーマ	開催日	参加者数	内容
III	【ニーズをとらえる力】 入院支援	12/18(水) 17:30～18:15	27名 40%	とよサボ 講師：堀尾師長・羽座岡Ns 事例紹介、とよサボ介入の流れ、認知症ケアチーム介入の流れ、入退院支援の必要性について、講義形式の研修。研修後の感想では、事例紹介もあり、とよサボがどのような関わりや入退院支援をしているのかを理解できた、連携の重要性を実感した。入院時から退院支援が必要な患者を把握し、問題を早期にみつけ支援していくことが必要などの意見あり。 入退院支援の必要性・他部署、多職種との連携の必要性が学べた。自分たちがどのように入退院支援に関わっていかねばならないか考える機会となった。
	【協働する力】 地域包括ケアシステムとしくみづくり	11/29(金) 17:30～18:30	30名 45%	講師：藤井主任・野々村Ns・古川Ns 10/29開催の看護協会研修 「地域包括ケア時代の継続看護Ⅰ」に参加後の伝達講習 全国、滋賀県の高齢化の動向、地域包括ケアシステムについて(野々村Ns) 当院での地域包括ケアについて(藤井主任) 実際の在宅療養について(古川Ns) 本人の意思・家族の気持ちを尊重し、在宅で過ごす方法をさまざまな目線から考え、可能な資源を使って「自分らしく生きる」支援をしていくこと、QOD良い死、人生の最終段階への支援についても学べた研修。
	【意思決定を支える力】 エンド・オブ・ライフケア	10/11(金) 17:30～18:30	38名 57%	講師：藤井主任 8/23開催 看護協会研修 「意思決定支援時における倫理的支援を解決するために」参加後の伝達講習 アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の概念や 本人の意思が明確な場合の意思決定支援時にどのような視点で考えていかなければならないか学べた研修。
III・IV 合同	【ニーズをとらえる力】 血液浄化センター研修 (III・IV合同)希望者	7/1(月) 8/5(月) 9/2(月)中止 8:15～16:50	4名 2名	講師：鉾立係長 透析療法、不均衝症状、腎機能・腎障害の理解、シャ音や人工シャント音の違いなどの説明を受け透析開始から返血までの流れを見学。感想では、心エコーの見方などスタッフのスキルの高さがうかがえた。透析療法の流れや病態が学べた、今後の看護に活かせるなどの意見あり。希望者のみの研修であったが参加が少なかった。自分の時間での研修のため、時間内での研修なら参加したいなどの意見もあった。
IV	【ニーズをとらえる力】 訪問看護体験	3月中に訪問看護体験 3/27(金) 17:30～18:30 全体研修予定であったが新型コロナウイルス感染防止のため中止。		訪問看護ステーション体験 25名中17名が参加。今までに体験した人は希望者とした。個人目標をもって参加、体験終了後レポートを提出。全体研修を予定していたが新型コロナウイルス感染症防止のため延期とし、次年度の研修とした。
	【協働する力】 地域包括ケアシステムとしくみづくり	12/12(木) 17:30～18:30	26名 100%	講師：山田所長訪(レインボウひこね所長) 古川師長 11/11開催の看護協会研修 「地域包括ケア時代の継続看護Ⅱ」参加後の伝達講習とグループワーク 訪問看護の現状、在宅での患者支援、病院での退院調整など在宅を見据えた多職種連携について学べた研修。院内連携への取り組みも今後の課題である。
	【意思決定を支える力】 アドバンス・ケア・プランニング	3/27(金) 17:30～18:30 訪問看護体験後の全体研修と合同で行なう予定であったが新型コロナウイルス感染防止のため中止。		講師：谷川統括所長 12/8開催の看護協会研修 「三職能で考える看取り」参加後の伝達講習 中止のため次年度の研修とした。
全体 研修	認知症研修 認知症地域包括ケア病棟の役割・紹介	7/23(火) 17:30～18:30	89名 45%	講師：カ石地域包括統括部長 健康寿命と平均寿命、2025年問題、日本の認知症制度について、認知症施策推進の考え方より「共生」「予防」についての講義と7月から地域包括ケア病棟に編成された1・3病棟の紹介、入院されていた患者の退院後の状態について事例報告があった。講義と繋がり、わかりやすかったという感想が多かった。病院の強みを活かして地域に役立っていくことの大切さを感じた。1人1人が意識すれば必ず結果が出るような課題を提示され同じ目線で考えられたなどの意見もあった。
	認知症研修 認知症患者の体験している世界を知ろう	8/30(金) 17:30～18:15	73名 36%	講師：堀尾師長 認知症の病態、症状、オアシス外来やDSTでの事例紹介やスタッフの関わり方についての講義であった。わかりやすかった、楽しく研修が受けられた、イラストがかわいく見やすかった、もっと学びたいと思ったなどの感想も多く、講師や講義に関しても好評であった。感想では、患者が主体であること、傾聴の大切さも理解できた。リアリティオリエンテーション、ファーストタッチ、一番困っているのは患者さんだということを理解し対応する、最後の患者の続きが気になるという意見あり。
	教育委員会総会 片山新看護部長講演	6/6(木) 17:30～18:30	66名 33%	2018年度事業報告、2019年度研修予定報告を行なった。会計報告は間に合わず紙面で後日報告となることを報告した。 片山新看護部長の講演では、今年度の看護部目標の説明や患者満足度調査の報告があった。部長の看護に対する思いやビジョンが語られ今後の方向性も理解できた講演であった。
	ナラティブ発表会	9/25(水) 17:30～19:00	90名 45%	12名の発表があった。12名の看護のドラマを聴き、感動し振り返りができた発表会となった。
	看護研究 「研究をしよう」	発表会 2/29(土) 13:10～15:30	64名 32%	年間を通して計画、実践、まとめた研究成果を発表し、学びの共有の場となった。 発表部署 3-2・3-3・3-4・3-6・外来・バストラール・レインボウはたしょう 講評 カ石地域包括統括部長 座長 古川師長
	【意思決定を支える力】 看護協会第5地区支部研修と合同研修 「糖尿病の早期発見と早期対応」	11/28(水) 17:30～18:30	院内70名 院外19名 計89名	講師：岩崎裕美氏 (彦根市立病院 糖尿病認定看護師) 佐川香子氏 (友仁山崎病院 糖尿病認定看護師) 自分の検診結果について、糖尿病の「け」があるという言葉について、糖尿病と境界型、コーチングプロセス、糖尿病指導で大切なこと、糖尿病治療最新情報について講義あり。 自分の検診結果を持参して参加。患者の気持ちがわかった、患者側、医療者側での目線での説明があり、わかりやすかった。今後活かせるという意見が多かった。院外からも参加が多く高木Drの参加もあり。
	リフレッシュ研修	10/25(金) 11/1(金) 18:30～20:30	37名 46名 計88名 44%	グランドデュークホテルでお食事会 日々業務を忘れリフレッシュでき、楽しいひとときを過ごせた。

7 看護院内研究発表会

日時：令和2年2月29日（土）13：10～15：30

場所：9-2 ホール

1. コミュニケーション技法実践によるスタッフの意識変化調査

～認知症患者との関りに注目して～

3-2 病棟 ○太田悠介 深里千里 河合良美

2. 急性期病棟で働く看護師の認知症患者に対する調査

～勉強会前後の認知症患者に対する意識・行動の変化～

3-3 病棟 ○黒木麻衣 秋山未有 中元理沙 小西勇輝

3. 実践で活かせる勉強会へ取り組んだ事による認識の変化

～スタッフのアンケート調査から～

3-4 病棟 ○若松なつみ 砂原玲奈 浅居美樹

4. 発達障害患者の青年期における排泄行動変容

～看護師のかかわりと発達段階における退行現象の意味と理解～

3-6 病棟 ○金丸貴行 林こず恵 小野将之

5. 介護老人保健施設におけるターミナルケアに関する職員の意識変化

～前回の調査から事例を重ねて変化したことと今後の課題を考える～

パストラール ○石部健三 青木信也 井上尚子 安田篤生 馬場澄代

6. 外来看護師のインフォームドコンセントに対する意識調査

外来 ○尾崎朱美 中村純子 尾本美和子

7. 在宅看取り時の看護師の役割

～在宅を支えるケアマネージャーから意見を聞いて～

レインボウはたしょう ○外川はつえ 間宮ひかる 大町有希 岸本佳世

〈地域連携室部門〉

〈医療福祉相談室部門〉

医療福祉相談室理念

豊郷病院の基本理念に基づき、疾病に伴い生ずるさまざまな生活上の問題を共に考え、その解決に向け質の高い援助を提供します。

基本目標

1. 患者さんご家族の人権を尊重し個人としての尊厳を擁護します。
2. 患者さんご家族のプライバシーを尊重し秘密を保持します。
3. 患者さんご家族が自らの問題解決に主体的に取り組めるよう支援し、自己決定権を保障します。
4. 院内の他職種、及び地域の保健・医療・福祉の関係機関との連携を強めます。
5. 質の高い援助を提供するために、常に専門職としての研修・研鑽に努めるとともに、後輩の育成に努めます。
6. 専門職の立場から社会活動を行い、社会資源の活用と開発を図ります。

1 地域連携室事業報告

地域連携室

① 概要

「地域連携室」は、地域の医療機関、診療所の先生方と円滑な連携を図り、患者さまに迅速で適正な医療・検査を提供できるよう、2003（平成15）年5月に設置されました。

《業務内容》

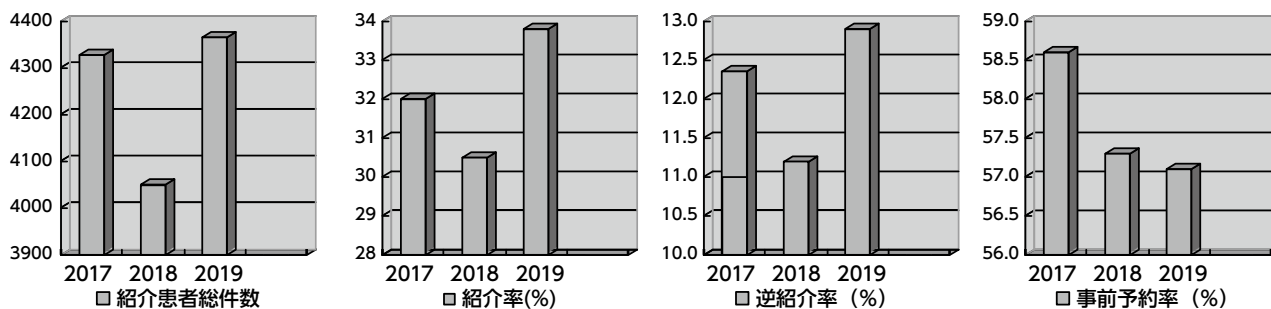
1. 病病、病診連携業務
 - 1) 診察・検査予約調整
(地域の医療機関からの予約受付及び地域の医療機関への予約依頼)
 - 2) 各種問合せの対応
(地域の医療機関からの問合せ及び地域の医療機関への問合せ)
 - 3) 転院調整
 - 4) 紹介患者来院・入退院報告書処理
 - 5) 診療結果報告書等処理(持参・郵送)
 - 6) 紹介患者データ統計処理・分析
 - 7) びわ湖あさがおネットの公開処理
 - 8) 医療機関・福祉施設・行政への訪問
2. 近隣医師会との連携業務務
愛知・犬上医師連絡会
3. 広報紙活動
 - 1) 広報紙の発行・配布
 - 2) 外来診療担当表・及び病院からのお知らせ等配布
 - 3) 医療情報収集・発信
4. 地域との連携業務
 - 1) 地域向け行事の開催
 - 2) 地域行事への参加
5. その他調整業務

② スタッフ 室長 上野 志保 主任 多林 晴美 室員 西山 瑠夏

③ 活動状況

1. 紹介患者

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R元)年度
紹介患者総件数	4,328	4,049	4,366
紹介率	32.0%	30.5%	33.8%
逆紹介率	11.0%	11.2%	12.9%
事前予約率 (地域の医療機関からの予約)	58.6%	57.3%	57.1%



2. 研修会

□愛知犬上医師連絡会

愛知犬上医師連絡会の詳細は50頁に別記掲載のため省略する。

3. 広報紙発行

豊郷病院広報紙「医心伝心」の発行

◇定期号4回発行 4月・7月・10月・1月

4. 地域との連携業務

連携内容の詳細は51頁の4公開セミナー・出前講座・健康フェスティバルに別記掲載

④ 研修活動

1 院内研修会

2019 (R元) 年

4月23日	キャッシュレス説明会	2名	12月5日	医療ガス安全研修会	1名
7月17日	医療安全研修会	2名	1月15日	全職員対象研修「発達障害」	1名
7月18日	医療安全研修会	1名	1月30日	ほめたつ研修会	1名
7月26日	人権研修会	2名	2月13日	個人情報対策・	
10月15日	感染防止対策研修会	1名		ITセキュリティ対策研修会	3名
10月16日	感染防止対策研修会	2名	2月17日	新型コロナウイルス	
11月22日	医療安全研修会	3名		感染症対策研修会	3名
11月29日	施設基準勉強会	3名	3月18日	医療改定説明会	1名

2 室内研修会

2020 (R2) 年 2月13日 室内人権研修会

⑤ 各紹介元データ

紹介元医療機関

医療機関名	医療機関名	医療機関名	医療機関名
JA 長野厚生連北信総合病院	関西電力病院	高畑医院	彦根中央リハビリテーション
JCHO 滋賀病院	神崎中央病院	高山内科循環器科	久居病院(三重)
OCHIS 健康管理センター	上林医院	田口診療所	日野記念病院
明石医療センター	ききょうの丘健診プラザ	武田総合病院(京都)	ひらたクリニック
浅田レディース勝川クリニック	木島病院	竹中医院(城医院)	広田整形外科
アップルクリニック	北村医院(愛荘町)	たけは内科医院	ひろた皮膚科医院
在田医院	きたむら内科	辰巳医院	琵琶湖大橋病院
アロフェンテ彦根	きづきクリニック	田中クリニック	深江レディースクリニック
いいだクリニック(名古屋)	木村歯科医院	たなか小児科(彦根)	福岡和白病院
いがわ耳鼻咽喉科	キヤノンマシナリー(株)	たなか小児科(東近江)	福田眼科
行岡病院(大阪)	京都刑務所	地域医療機構滋賀病院	ふじせき医院
生田病院	京都工場保健会診療所	ツカザキ病院	ふじた医院
いけだ耳鼻咽喉科	京都大学医学部附属病院	塚本医院	藤本クリニック
いけだ内科医院	京都府立大学医学部附属病院	つじ泌尿器科クリニック	ふせクリニック
石川医院	近畿健康管理センター	つたむね眼科	古河 AS (株)衛生管理室
石塚医院	草津こころのクリニック	つちだ内科医院	古道医院
井関診療所(眼科)	草津総合病院	つつみクリニック	舞鶴共済病院(京都)
伊藤整形外科	工藤神経内科クリニック	堤整形外科	真木アスリート整骨院
伊藤内科医院	久留米大学病院(福岡)	ティラド製作所	牧野リウマチ整形外科
伊藤内科クリニック	甲南病院	寺井産婦人科	梶田医院
岩本整形外科	神戸大学附属病院	東京品川病院	松尾医院
ヴォーリス記念病院	公立甲賀病院	東洋アルミニウム(株)日野製造所	松木診療所
宇治おうばく病院	国立印刷局彦根工場診療所	徳田医院	松澤呼吸器科クリニック
太秦病院	ここの郷	富田クリニック	松島医院
宇多野病院(京都)	小菅医院多賀診療所	富山病院	松原耳鼻咽喉科
宇都宮協立診療所	こすぎクリニック	豊郷町役場保健福祉課	松本医院
運輸・交通SAS対策支援センター(東京)	湖東記念病院	鳥越医院	松本医院(眼科)
えがわ整形外科	湖南病院	長岡病院(京都)	水谷整形外科医院
エスペラル近江八幡	小森医院	中川クリニック	水口病院
恵比寿ハートビル	こやま整形外科医院	中沢医院	南草津けやきクリニック
江竜皮ふ科	済生会滋賀県病院	中條眼科(三重)	南草津健診センター
御池クリニック(京都)	坂田整形外科	なかつか内科医院	南彦根クリニック
近江温泉病院	桜井眼科	中西医院	宮尾医院
近江鉄道健康管理室	さざなみ整形外科	中野クリニック	宮路医院
近江八幡市立総合医療センター	さつき診療所	中橋整形外科クリニック	宮下内科
おうみリウマチ膠原病・内科クリニック	滋賀医科大学医学部附属病院	長浜赤十字病院	むらかみ耳鼻咽喉科
大内雅之アイクリニック	滋賀県厚生農協共同組合連合会	菜の花心療クリニック	村田眼科医院
大垣市民病院	滋賀県立小児保健医療センター	成美記念クリニック	村田製作所健康管理室
大辻医院 川相診療所	滋賀県立精神医療センター	成宮クリニック	村田病院
大津赤十字病院	滋賀県立成人病センター	西川医院	明愛眼科
おおはし内科循環器科クリニック	滋賀里病院	西京都病院	メープルクリニック
大林内科循環器科	歯科白石医院	西奈良中央病院	目加田眼科
大町病院(福島)	滋賀八幡病院	日生病院(大阪)	もりおか小児科医院
岡羽総合病院(三重県)	滋賀保健研究センター	日本放送協会大阪診療所	守山こころのクリニック
おかもと眼科	重森医院	日本電気能登川	やしのきクリニック(沖縄)
岡山健康づくり財団	柴田医院	布留クリニック	安井クリニック
おがわ耳鼻咽喉科クリニック	島原医院	布引内科クリニック	安澤内科診療所
沖野診療所山田内科	しみずクリニック	野口小児科	野洲病院
小串医院	しもいけメディカルクリニック	のぞみクリニック	矢部医院
おくの内科	下嘉医院	ハイメディック京大病院	山岡整形外科医院
おぎき内科医院	城東眼科	橋添眼科	やまぐち内科クリニック
おした整形外科医院	白石外科・胃腸内科	橋本医院	山崎外科
小田クリニック(広島)	市立長浜病院	秦荘歯科診療所	山崎整骨院
各務原病院(岐阜)	市立福知山市民病院	はちまんコスモクリニック	やました医院

かさい整形外科	白山内科(津市)	パナソニック電工㈱健康管理室	山下医院
笠原レディースクリニック	神野レディースクリニックアリス	馬場医院	やましたクリニック
片岡クリニック	菅原メンタルクリニック	東近江敬愛病院	山田クリニック
加藤乳腺クリニック	杉本整形外科	東近江市あいとう診療所	やまもと内科・外科クリニック
金岡医院	すみよしクリニック	東近江市蒲生医療センター	友仁山崎病院
かのうクリニック	セフィロト病院	東近江市休日急患診療所	弓削メディカルクリニック(竜王)
かみやキッズクリニック	曾我医院	東近江市湖東診療所	ゆりの郷
亀山市立医療センター(三重)	蘇生会総合病院(京都)	東近江総合医療センター	世一クリニック
かわせ大村歯科医院	だいたうクリニック	東住吉森本病院(大阪)	横須賀共済病院
川端医院(八幡)	高崎医院	彦根市立病院	横野医院
関西青少年サナトリウム	高田内科クリニック	彦根中央病院	吉川整形外科クリニック
吉田内科クリニック	嶺南こころの病院	若松医院	わだ医院
洛和会音羽病院(京都)	レイメイクリニック	和歌山刑務所	㈱平和堂健康管理室
リハビリセンターあゆみ	老人ホーム金亀荘	鷲見病院(岐阜)	東近江市能登川病院

※患者数については別記

歯科紹介元医療機関

医療機関名	医療機関名	医療機関名	医療機関名
青木歯科	木村歯科	中島歯科医院	マキノ歯科医院
あかい矯正歯科(大藪)	きむら歯科クリニック	なかつか内科医院	マナベ歯科医院
あかい歯科(戸賀)	湖東記念病院	長浜赤十字病院	三希子歯科医院
旭ヶ丘歯科クリニック	こば歯科・矯正歯科クリニック	中村歯科医院	宮川歯科医院
アンジュデンタルクリニック	桜井歯科医院	成美記念クリニック	宮澤歯科医院
いけだ歯科高宮	滋賀県歯科医師会口腔衛生センター	成宮クリニック	ミント歯科
いしかわ矯正歯科	歯科白石医院	にとべ歯科クリニック	むとう歯科医院
イシカワ歯科	しがや歯科	のりがわ中央歯科	矢部医院
伊勢赤十字	重森医院	野村歯科医院	山口歯科医院
井田歯科東診療所	下村歯科	はしもと歯科医院	やまだファミリー歯科
市田歯科医院	白石外科	秦荘歯科診療所	友仁山崎病院
井本歯科医院	白石歯科	東近江湖東診療所	吉川整形外科クリニック
近江八幡市立総合医療センター	市立波総合病院	東近江総合医療センター	吉田歯科医院
小川歯科医院	曾我歯科	ヒコネ矯正歯科	若松医院
加藤歯科医院(横溝)	曾我歯科医院	彦根市立病院	若松歯科医院
金岡医院	田井中歯科医院	彦根中央病院	わたなべ歯科医院
かわせ大村歯科医院	たかとり歯科医院	藤本歯科医院	
川南歯科医院	たきい歯科医院	文村歯科医院	
きたがわ矯正歯科	長寿歯科医院	ふれあい歯科医院	
北村歯科医院	塚本歯科医院	堀口歯科医院	

※患者数については別記

検査依頼

医療機関名	医療機関名	医療機関名	医療機関名
JCHO 滋賀病院	重森医院	なかつか内科医院	藤本クリニック
石川医院	しもいけメディカルクリニック	中橋整形外科クリニック	水谷整形外科医院
えがわ整形外科	白石外科・胃腸内科	成美記念クリニック	矢部医院
大辻医院川相診療所	しらいし耳鼻咽喉科	布引内科クリニック	やまぐち内科クリニック
大林内科循環器科	すみよしクリニック	東近江市あいとう診療所	世一クリニック
おがわ耳鼻咽喉科クリニック	せんだ歯科クリニック(安土)	東近江市湖東診療所	吉川整形外科クリニック
おした整形外科医院	たきい歯科医院	松木診療所	若松医院
上林医院	たけは内科医院	水谷整形外科医院	わだ医院
貴島会クリニック	堤整形外科	矢部医院	
湖東診療所	トッパングループ健保組合	やまぐち内科クリニック	
坂田整形外科	中川クリニック	世一クリニック	

※患者数については別記

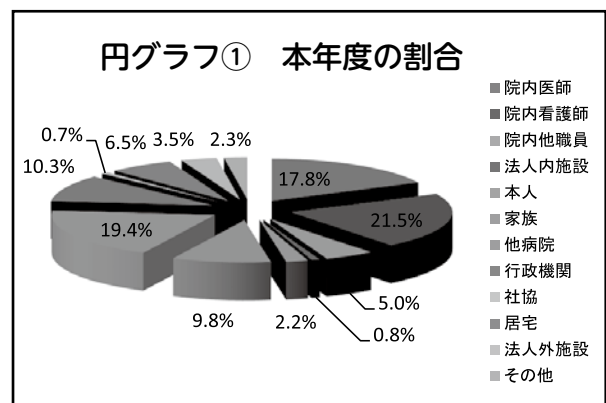
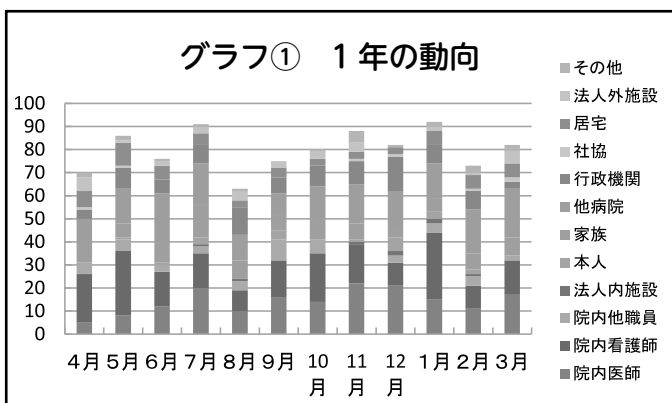
2 医療福祉相談室事業報告

医療福祉相談室

1、新規ケースの紹介経路

表①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年度計	2018年度計
院内医師	5	8	12	20	10	16	14	22	21	15	11	17	171	68
院内看護師	21	28	15	15	9	16	21	17	10	29	10	15	206	183
院内他職員	5	5	3	3	4	9	6	0	3	4	4	2	48	30
法人内施設	0	0	0	1	1	0	0	1	2	2	1	0	8	3
本人	0	1	1	3	0	4	0	1	6	3	2	0	21	29
家族	9	6	9	14	8	7	9	7	4	6	7	8	94	102
他病院	10	15	21	18	11	9	14	17	16	15	19	21	186	150
行政機関	4	9	6	8	12	7	9	10	15	8	8	3	99	106
社協	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	7	2
居宅	7	10	6	5	3	4	3	3	3	6	6	6	62	79
法人外施設	6	1	2	3	4	3	3	4	0	2	1	5	34	22
その他	2	2	1	1	1	0	1	5	1	2	3	3	22	27
計	70	86	76	91	63	75	80	88	82	92	73	82	958	801

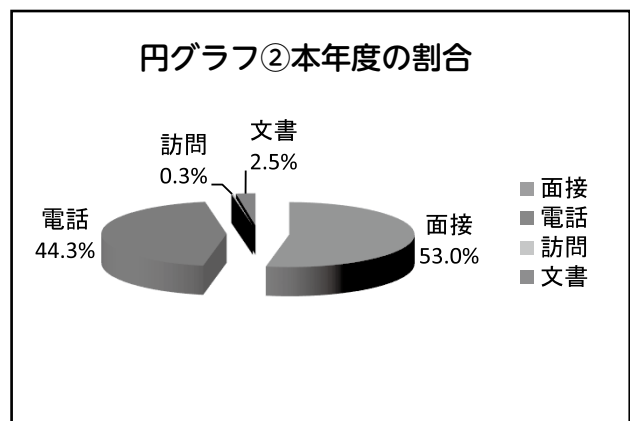
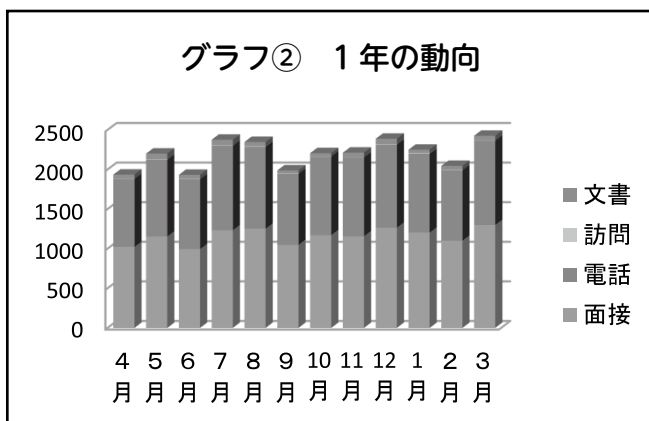


2、援助方法

表②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年度計	2018年度計
面接	1,027	1,158	998	1,237	1,257	1,051	1,174	1,161	1,269	1,207	1,105	1,304	13,948	12,066
電話	852	965	879	1,064	1,030	894	989	990	1,046	993	886	1,060	11,648	9,471
訪問	2	5	6	5	8	5	5	3	7	9	6	5	66	58
文書	56	74	51	71	54	39	39	60	67	42	49	58	660	623

(件)

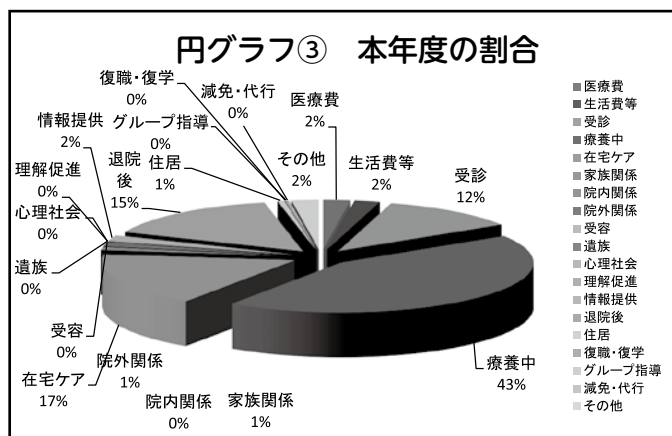
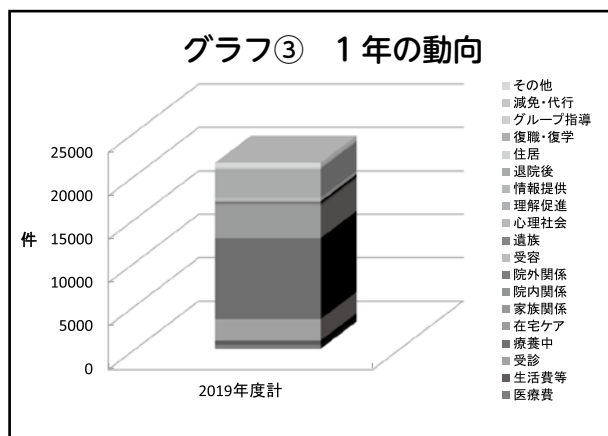


3、援助内容

表③

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年度計	2018年度計
医療費	28	41	48	55	41	54	48	32	30	35	41	38	491	598
生活費等	33	42	34	57	40	35	34	38	32	27	38	50	460	617
受診	184	154	192	212	200	227	225	204	250	219	214	217	2,498	2,259
療養中	531	691	676	873	837	670	789	822	834	800	789	1,007	9,319	7,225
在宅ケア	322	296	226	369	340	275	280	306	344	373	296	293	3,720	4,163
家族関係	10	13	15	11	18	12	14	21	24	27	11	19	195	190
院内関係	3	1	2	3	2	2	9	4	2	0	0	1	29	54
院外関係	23	24	33	23	34	13	17	24	18	23	23	31	286	254
受容	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2
遺族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
心理社会	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	6	7
理解促進	1	1	1	2	3	0	1	0	2	0	0	0	11	35
情報提供	40	66	36	40	34	24	24	29	43	24	25	33	418	1,027
退院後	351	397	228	274	266	194	262	289	391	270	188	210	3,320	3,827
住居	3	17	9	10	8	4	18	10	11	11	10	8	119	105
復職・復学	1	3	4	2	5	8	2	0	1	0	2	3	31	20
グループ指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160
減免・代行	10	11	8	4	2	2	4	0	0	1	2	0	44	64
その他	41	35	43	40	46	47	39	35	30	54	40	40	490	638

(件)

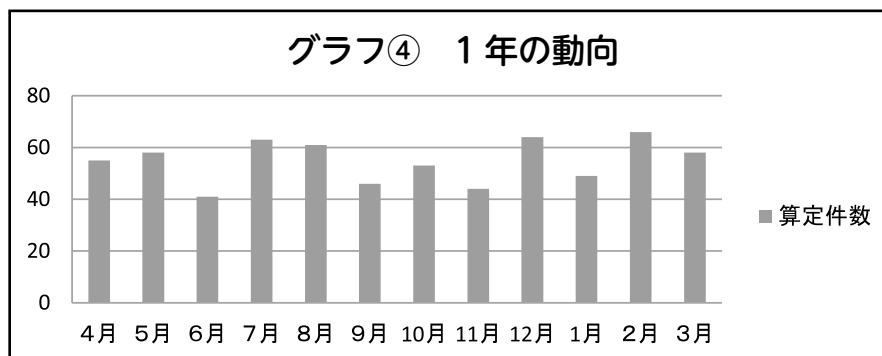


4、退院支援計画書算定

表④

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年度計	2018年度計
算定件数	55	58	41	63	61	46	53	44	64	49	66	58	658	348

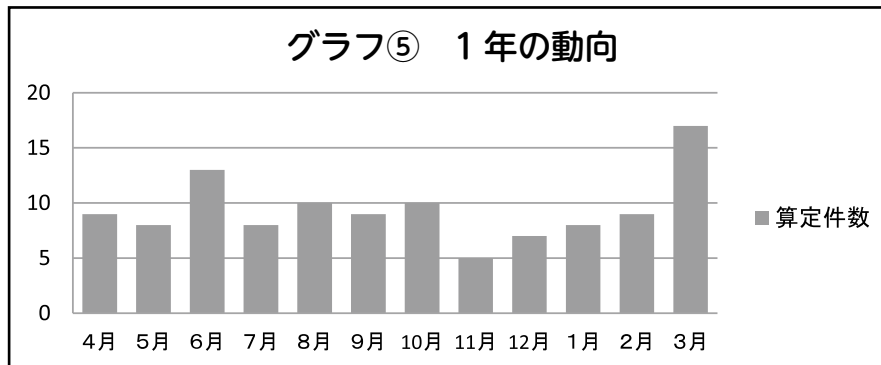
(件)



5、介護支援連携指導料算定

表⑤

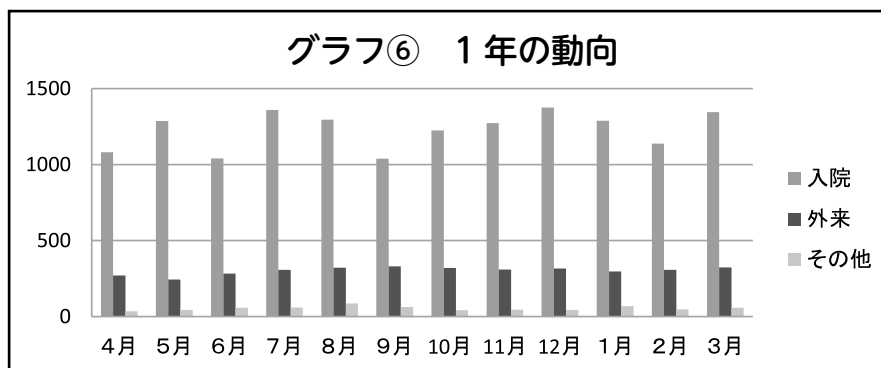
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年度計	2018年度計
算定件数	9	8	13	8	10	9	10	5	7	8	9	17	113	105



6、入院 / 外来区分

表⑥

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年度計	2018年度計
入院	1,082	1,286	1,040	1,359	1,296	1,039	1,224	1,273	1,376	1,289	1,138	1,345	14,747	11,547
外来	271	244	283	307	321	331	319	309	317	296	308	324	3,630	3,659
その他	35	44	58	59	86	63	42	45	43	68	48	57	648	565



7、定期会議・委員会・地域活動等

院内	課科長師長会、外来救急運営会議、事務部会、准看護学院講師 病院管理会議、事務部課長会、事務部管理会議、関連施設委員会	1名
	1-3地域包括ケア病棟運用会議、地域包括ケア病棟入院料2 施設基準取得に向けて ボランティア運営委員会、ボランティア交流会、課長補佐会議、七夕コンサート 若年認知症総合相談支援事業について、3-5病棟カンファレンス、退院支援委員会	1名
	3-4病棟カンファレンス	2名
	患者支援カンファレンス	2名
	精神科病棟再編プロジェクト会議	2名
	精神科新規入院カンファレンス、ピア交流会(患者と地域の方々との交流会) 地域移行支援会議、医療保護入院者退院支援委員会、行動制限最小化委員会	2名
	3-3病棟カンファレンス、整形リハビリカンファレンス	2名
	3-2病棟カンファレンス	3名
	5-2病棟カンファレンス、クリニカルパス委員会、1-3病棟初期カンファレンス 1-3病棟認知症患者対象の地域包括ケア病棟立ち上げのための勉強会 5-2病棟運動会	1名
	医療保護入院者退院支援委員会、医療観察法多職種チーム会議 事後審査委員会、3-6病棟カンファレンス、接遇・サービス向上委員会	1名

院内	エコ委員会、継続看護委員会、3-4病棟勉強会	1名
	リハビリカンファレンス、3-3病棟 退院支援・介護保険の勉強会	1名
	互助会美化運動、相談室会議、部署内人権学習	4名
院外	滋賀のみんなでつくる地域精神保健医療福祉チーム湖東圏域推進協議会 自立支援障害程度区分認定審査会、滋賀医科大学地域医療支援関連病院協議会 滋賀県医療観察制度運営連絡協議会	1名
	湖東地域ネットワーク会議、豊郷町多職種協働会議、湖東圏域難病対策地域協議会 入退院支援ルール評価検討事業コア会議、湖東圏域認知症疾患医療連携協議会 滋賀県認知症疾患医療センター推進会議、認知症施策担当者会議、MSW協会理事会	1名
	湖東4病院MSW連絡会議	3名
	湖東地域脳卒中地域連携検討会パスワードキング部会、彦根市福祉まるごと会議 ひこっとパス研究会、東近江脳卒中地域連携連絡会議、5-2病棟院外面談 三方よし研究会	1名
	病院・ケアマネジャー入退院支援を考える合同会議	2名
	豊郷町健康フェスティバル	2名

8、各種研修会等

4月	院内研修:キャッシュレス決済と今後のニーズについて学ぶ	5名
5月	MSW協会総会/記念講演	3名
	ことう地域チームケア研究会	1名
6月	難病講演会『福祉制度・手当に関する情報』	1名
7月	MSW協会研修部会	1名
	2019年度第1回医療安全研修会	6名
	院内研修2019年度人権学習	3名
	2019年度部署事業計画(行動計画)に伴うヒアリング	1名
	院内研修2019年度人権学習	3名
9月	滋賀県医療ソーシャルワーカー協会研修	2名
	彦愛犬介護支援専門員連絡協議会研修	1名
	若年認知症支援ネットワーク研修会	1名
	院内研修:感染防止対策研修会	3名
	令和元年度避難訓練	3名
	院内研修:感染防止対策研修会	3名
11月	退院支援機能強化事業全体研修会	1名
	施設基準等の適時調査	1名
	医療安全研修	3名
	院内研修:感染防止対策研修会	3名
	公開セミナー	2名
12月	医療ガス研修	4名
	地域移行支援研修会	1名
	MSW協会ソーシャルワーカー研修会	2名
1月	院内研修:みんなで学ぼう発達障害をもつ人の対応方法 基礎編	6名
	感染研修	3名
	感染研修	2名
	ほめたつ研修会	1名
2月	一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 研修会企画 第27回 ソーシャルワーカー研修会(アドバンス研修)	1名
	院内研修 情報セキュリティ勉強会	2名
	院内研修 情報セキュリティ勉強会	3名
	新型コロナウイルス感染対策研修会	5名
	院内研修NST・褥瘡予防対策研修	2名
	医療安全対策窓口担当者研修会	1名
	TQM発表会	1名
3月	診療報酬改定説明会	1名

〈事 務 部 門〉

〈診療情報管理室部門〉

〈各種統計資料〉

事務部理念

豊郷病院事務部は病院の基本理念に基づき、医療の質とサービスの向上につとめ、合理的で安定した運営管理を行い、地域医療に貢献する

基本目標

1. 地域に必要な医療設備と患者さま本位の快適な環境の整備に努める。
2. 人権を尊重し、思いやりの心で明るく優しい対応に努める。
3. 優秀な人材確保と育成に努める。
4. 法令遵守と安全・安心・信頼を築く。
5. ムダをなくし、経費削減に努め、健全経営を行う。
6. 地域に開かれた運営と連携に努める。

1 事務部・診療情報管理室事業報告

管理課

① 概要

職員の労務管理。

具体的には労働時間管理、給与・福利厚生、職員のライフイベントに沿って生じる諸手続きの管理、任免・賞罰、労使関係、教育研修、職員採用、人権関係など。

② スタッフ

課長 宇野玲子、課長補佐 熊木英夫、北川未奈実、加藤佐和子

③ 活動実績

看護職のための豊郷病院見学・相談会

5/25、7/20、8/29、9/29、11/30、1/25、3/28（コロナにより中止） 計6回開催

20組参加（4名就職、5名奨学生決定）

〈一般活動〉

- ・働き方改革「労働時間法制の見直し」の実現に向けた取り組み実施
 - ① 1人1年あたり5日間の年次有給休暇の取得
 - ② 労働時間の客観的な把握（健康管理の徹底、管理職も対象）
- ・改正健康増進法に伴う敷地内全面禁煙の導入
- ・人権教育の推進（全体研修、新人研修、管理職員）
- ・職員の人材育成（管理職員対象「ほめたつ研修」の実施）
- ・法改正「同一企業内における正規・非正規の間の不合理な待遇差の解消」に向けた準備

④ 研修活動

〈課内研修会と5S活動〉

5/28～5/31 5S活動

8/27 個人番号(マイナンバー)の取り扱いについて

10/1 マイナンバー導入後の社会保険の変更点について

11/6 年末調整に向けて 昨年の税改正(配偶者控除)について

12/25 人権研修「近代医学の基礎を築いた人々」

1/28 「DCの異動手続」と「健康保険被扶養者の条件」について

3/11 接遇研修 接遇・マナーの10か条

3/31 2020年法改正と対応について

企画財務課

① 概要

2018年12月より経営企画部門を新たに設置、総務課経理係と統合し、『企画財務課』として発足。

② スタッフ

課長 山本 保 課長補佐 山本洋道 課員 2名

③ 活動実績

- ・収益UPに向けた企画立案
- ・各部署の目標や課題、その取り組み内容の把握と、実績評価
- ・現・預金の出納管理
- ・法定調書の作成
- ・各金融機関・行政・税務署などと交渉・調整
- ・コンサルタント会社と法人各担当者と折衝
- ・各税金・保険料等の納税納付
- ・財務諸表の作成・分析

2019.6.5	会計監査	2019.6.26	決算役員会
2019.11.12	近畿厚生局立入調査	2019.11.26	保健所（精神科）監査
2019.11.27	中間役員会	2019.3.25	予算役員会

④ 研修活動

- 2019.8.26 課内人権研修
2019.9.13 消費税10%及び軽減税率制度研修会

診療情報管理室

① 概要

患者と職員が診療情報を共有し、相互の信頼関係を深め、質の高い医療を提供するための診療情報の管理と情報の提供を行う。また、診療情報の統一を行い、その情報が広域的に活用されることにより、患者および病院や地域医療の医療・保健・福祉に貢献する。院内のシステム機器の管理や修理・調整をおこない、診療を円滑にする環境を提供する。

② スタッフ

担当課長 山本 保、係長 清水宏美、主任 大矢 進 室員2名

③ 活動実績

- 個人情報資料の破棄
- 電子カルテサーバー定期再起動（年3回）

④ 研修活動

2020.2 個人情報保護対策研修会を実施

医療支援室

① 概要

今年度より5人体制となり、業務拡大を行った。

② スタッフ

課長 堤 俊博、課長補佐 岡村昌彦、主任 平木真理奈、課員1名 ニチイ学館3名

③ 活動実績

- ・待ち時間削減を目的とした外来医師補助業務
- ・年間3,000件以上の診断書作成補助
- ・書類全般の問い合わせ窓口
- ・カルテ代行入力や診断書補助による医師の事務作業軽減

〈研修活動〉

- ・個人情報研修会（1回/年）
- ・人権学習研修会（1回/年）
- ・接遇研修会（1回/年）
- ・医療クラーク内勉強会（1回/年）

医事課

① 概要

診療報酬明細書（レセプト）作成業務、各種請求業務、外来受付業務、入退院業務、患者サービスに係る業務、健康診断（人間ドック）、各種データ作成・分析、未収金管理など

② スタッフ

課長 岡村昌彦、係長 上林真紀・森田克哉、主任 関口康江、課員10名 外部委託23名

③ 活動実績

〈医事課内活動〉

- 医事課内 人権学習（1回/年）
- 医事課内 個人情報研修（1回/年）
- 医事課内 接遇研修（1回/年）

〈医事課内委員会〉

- 保険診療減点等検討会（毎月1回 10日頃）
- レセプト博士委員会（不定期）
- サービス向上委員会（毎月1回 月末）
- 保険証確認強化日（毎月2回）
- 業務改善委員会（毎月1回 20日頃）
- 未収金強化日（毎月1回）

④ 研修活動

〈院外活動〉

私立病院協会主催の研修会開催（年4回）

豊郷町人権問題学習講座への参加（数回に分かれての参加）

総務課

① 概要

総務、資材、営繕、リネン、宿舎、電気、保育、学童、警備、清掃を担当。

- ・開設事項、役員会の業務、施設の改変事務、設備管理、社宅管理、施設基準、諸補助金並びに各種申請報告に関する事。
- ・諸契約事項及び通達、文書物件の収発管理に関する事。
- ・病院内諸会議事項及び病院内連絡調整に関する事。
- ・当直業務、保安、警備、防災、救急情報センター業務、電話交換業務、自動車運行管理に関する事。
- ・リネン、清掃、給食業務の各委託業務管理に関する事。
- ・病院のボイラー、給水湯、冷暖房、自家発電装置、電気、ガス、上下水道、廃水、コ・ジェネレーション等設備管理に関する事。
- ・医療機器、事務機器、医療材料消耗品、事務消耗品、被服、伝票類、発注購買、検収、保管、管理及び入出庫業務に関する事。

② スタッフ

課長 岩佐 武、主任 山本真弓

総務担当 3名、資材担当 2名、営繕担当 3名、リネン担当 2名、宿舎担当 1名

③ 活動実績

3病棟 防鳥ネット工事

90kw ガスエンジン発電装置 No.1号機 18,000時間E点検セミ OH+No.2号機触媒コア交換

非常時用避難スロープ塗装工事

TQM活動

④ 研修活動

人権研修

接遇研修

⑤ 受賞・表賞関係

詳細については59頁に掲載のため省略する。

診療情報管理室

2 各種統計資料

各科月別新患者統計（保険別）

（自2019.4.1～至.2020.3.31）

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器科	国保	10	7	14	13	9	13	12	10	6	12	10	6	122
	健保	17	28	20	18	18	18	18	17	23	20	15	26	238
	後期高齢	13	14	15	18	12	15	9	11	14	13	9	14	157
	生保	1	2	2	4			1		1	4	1		16
	労災													0
	自費	3	1	1		1	2	1	1	2	1	2	4	19
	その他													0
	合計	44	52	52	53	40	48	41	39	46	50	37	50	552
消化器科	国保	10	28	20	29	27	20	34	21	11	18	14	19	251
	健保	46	44	50	63	63	53	65	40	40	44	32	55	595
	後期高齢	19	19	28	23	24	12	19	15	23	15	9	17	223
	生保	3	3	4	5	1	1		1		2		1	21
	労災			2	1		1							4
	自費	5	3		2		4	7	3	1	3	4	4	36
	その他													0
	合計	83	97	104	123	115	91	125	80	75	82	59	96	1,130
内科(糖尿・透析)	国保	2	5	9	8	7	2	11	2	7	3	9	2	67
	健保	10	18	17	23	25	17	9	17	14	23	6	10	189
	後期高齢	5	8	5	7	9	4	3	7	4	3	3	2	60
	生保	2					1		3					6
	労災													0
	自費	2	6		10	4	5	3	1	2	4	3	8	48
	その他													0
	合計	21	37	31	48	45	29	26	30	27	33	21	22	370
呼吸器内科	国保	23	25	31	27	24	16	21	25	17	31	21	14	275
	健保	55	63	60	49	54	45	50	58	79	79	67	54	713
	後期高齢	21	15	49	30	27	24	32	20	22	25	21	14	300
	生保	2		3	2	2	1		1			2	2	15
	労災													0
	自費	5	2	3	6	3	3	7	3	2	8	5	8	55
	その他													0
	合計	106	105	146	114	110	89	110	107	120	143	116	92	1,358
呼吸器外科	国保													0
	健保													0
	後期高齢													0
	生保													0
	労災													0
	自費													0
	その他													0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	国保	14	11	20	22	19	11	18	10	13	14	14	8	174
	健保	31	30	27	26	24	20	25	18	25	24	29	20	299
	後期高齢	14	14	11	15	18	21	22	15	11	14	13	9	177
	生保	1	2	1	2	3		1	2			1	1	14
	労災													0
	自費		1	2	1		2	1			1			8
	その他													0
	合計	60	58	61	66	64	54	67	45	49	53	57	38	672

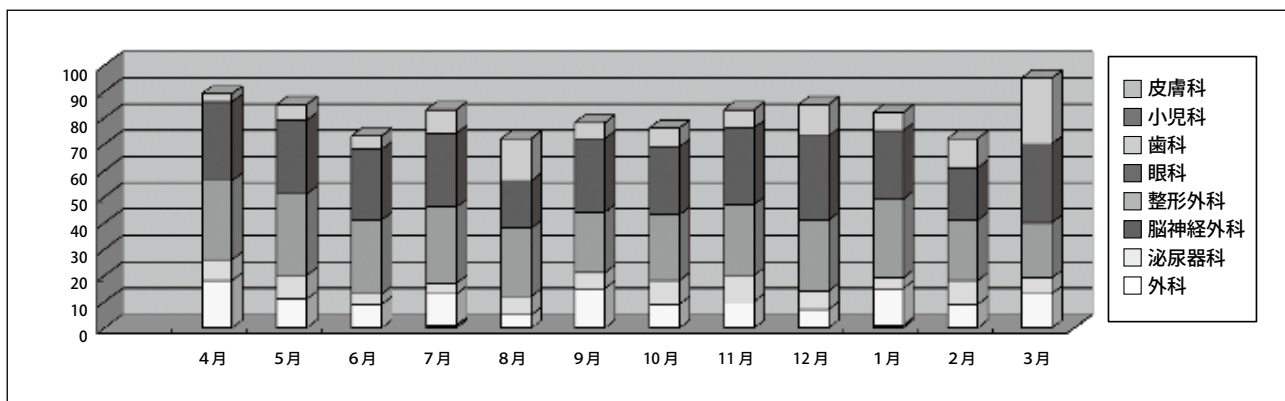
科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析	国保									1		1		1	3
	健保														0
	後期高齢								1	1		1	1		4
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
合計		0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	1	7
外科	国保	15	15	16	14	18	13	14	11	9	16	9	11	161	
	健保	26	36	36	41	43	39	39	29	33	13	17	21	373	
	後期高齢	8	11	16	20	16	14	14	11	18	16	6	10	160	
	生保		1		2	2	2	2	1	1		3	1	15	
	労災		2										2	4	
	自費	13	14	6	9	14	4	11	14	7	11	6	6	115	
	その他	1			1		1	2		1	1			7	
合計	63	79	74	87	93	73	82	66	69	57	41	51	835		
脳神経外科	国保	6	7	11	12	5	11	8	7	4	10	6	5	92	
	健保	16	7	15	21	25	16	11	9	13	14	17	10	174	
	後期高齢	8	6	9	13	9	9	9	5	8	7	7	8	98	
	生保	1		2	1		1			2	1	1		9	
	労災													0	
	自費	2	3	1	2	1	1	6	2		1	1		20	
	その他		1		4	1	1			1	1		2	11	
合計	33	24	38	53	41	39	34	23	28	34	32	25	404		
脳神経内科	国保				1									1	
	健保					1	2	1	1	3	1	2	1	12	
	後期高齢		1		2			1		1		1	1	7	
	生保													0	
	労災													0	
	自費													0	
	その他													0	
合計	0	1	0	3	1	2	2	1	4	1	3	2	20		
整形外科	国保	56	68	62	60	58	55	53	37	50	54	57	47	657	
	健保	157	127	164	159	147	140	115	144	123	125	136	91	1,628	
	後期高齢	58	75	55	56	62	44	60	58	71	59	40	56	694	
	生保	4	3	6		2	7	2	1	2	3	1	1	32	
	労災	3	2	1	1	2		1	1				3	14	
	自費	16	23	20	12	18	18	16	14	20	6	21	13	197	
	その他	9	9	10	10	5	3	6	7	6	5	9	5	84	
合計	303	307	318	298	294	267	253	262	272	252	264	216	3,306		
眼科	国保	39	28	35	35	26	29	31	23	18	38	27	20	349	
	健保	45	46	27	34	36	30	28	37	35	29	24	34	405	
	後期高齢	33	25	19	38	31	25	23	27	23	24	18	16	302	
	生保	1	3	4	4	7	2		1	1	1	1	2	27	
	労災											1		1	
	自費	2		1	2	3	3	2	3	1	1			18	
	その他													0	
合計	120	102	86	113	103	89	84	91	78	93	71	72	1,102		

科別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
耳鼻咽喉科	国保	17	19	12	12	13	7	14	10	14	10	10	14	152
	健保	43	40	33	38	34	33	32	31	33	34	30	45	426
	後期高齢	12	17	18	21	19	9	14	13	11	9	14	12	169
	生保	1	1	4	1	1	2	1	2	2		3	3	21
	労災													0
	自費		2				2	2	1	1	2	3	4	17
	その他													0
	合計	73	79	67	72	67	53	63	57	61	55	60	78	785
皮膚科	国保	14	17	21	17	15	10	6	5	8	12	7	14	146
	健保	20	26	16	20	37	18	21	22	21	19	20	31	271
	後期高齢	13	25	16	16	20	12	17	21	19	17	17	9	202
	生保		4	1		2		3	3	2	2	3	1	21
	労災		1											1
	自費											1		1
	その他													0
	合計	47	73	54	53	74	40	47	51	50	50	48	55	642
歯科・歯科口腔外科	国保	36	46	38	36	32	39	32	41	31	35	34	39	439
	健保	64	66	62	63	83	51	69	57	67	42	54	62	740
	後期高齢	61	54	47	68	56	41	46	48	35	50	46	43	595
	生保	8	7	10	7	4	4	4	6	3	4	6	3	66
	労災													0
	自費	5	1		2		2	1	1		1	1	2	16
	その他					1	1		1					3
	合計	174	174	157	176	176	138	152	154	136	132	141	149	1,859
婦人科	国保	1	2	2	1	3	1	5	2	1	1	2	1	22
	健保	1	8	7	2	3	7	1	4	5	3	1	3	45
	後期高齢	2	1	2	2	1		3	1	2			2	16
	生保	1					1			1				3
	労災													0
	自費													0
	その他													0
	合計	5	11	11	5	7	9	9	7	9	4	3	6	86
小児科	国保	15	34	17	12	11	16	17	10	20	18	20	8	198
	健保	74	125	90	104	65	60	81	80	85	79	84	62	989
	後期高齢													0
	生保	3	1	3	1	1	3	1	2	2			2	19
	労災													0
	自費		4	2	4	2		1	2		1		2	18
	その他	1												1
	合計	93	164	112	121	79	79	100	94	107	98	104	74	1,225
精神科	国保	8	7	12	13	15	17	15	17	12	15	14	7	152
	健保	20	18	24	22	20	25	24	23	23	26	20	19	264
	後期高齢	27	24	24	34	30	29	37	23	23	13	24	29	317
	生保		2	2	2	2	1	3	5	4	2	5	2	30
	労災												1	1
	自費	3	5	2	3	3	3	3	1	2	2	5	5	37
	その他					1	2		1	2				6
	合計	58	56	64	74	71	77	82	70	66	58	68	63	807

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心療内科	国保														0
	健保														0
	後期高齢														0
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	国保		266	319	320	312	282	260	291	232	221	288	254	216	3,261
	健保		625	682	648	683	678	574	589	587	622	575	554	544	7,361
	後期高齢		294	309	314	363	334	259	310	276	285	266	229	242	3,481
	生保		28	29	42	31	27	26	18	28	21	19	27	19	315
	労災		3	5	3	2	2	1	1	1			1	6	25
	自費		56	65	38	53	49	49	61	46	38	42	52	56	605
	その他		11	10	10	15	8	8	8	9	10	7	9	7	112
合計		1,283	1,419	1,375	1,459	1,380	1,177	1,278	1,179	1,197	1,197	1,126	1,090	15,160	

手術の件数

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(消化器内科)															0
呼吸器科						1						1			2
外科			18	11	9	12	5	15	9	10	7	14	9	13	132
泌尿器科			8	9	4	4	7	6	9	10	7	4	9	6	83
脳神経外科															0
整形外科			30	31	28	29	26	23	25	27	27	30	23	21	320
眼科			30	28	27	28	18	28	26	29	32	26	20	30	322
歯科			3	6	5	9	16	6	7	7	12	7	11	25	114
小児科															0
精神科											6	4		5	15
皮膚科															0
合計			89	85	73	83	72	78	76	83	91	86	72	100	988



各科診療取扱患者数《外来・通所》

(自2019.4.1～至.2020.3.31)

(医療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		853	874	812	901	773	808	835	776	889	795	781	814	9,911
消化器内科		490	555	568	660	655	582	632	531	539	530	479	564	6,785
内科一般		461	516	474	501	520	471	496	469	494	498	426	500	5,826
呼吸器内科		957	915	1,003	1,024	917	904	984	979	1,009	911	854	928	11,385
呼吸器外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科		315	329	350	351	328	367	325	298	317	289	246	305	3,820
泌尿器科		691	624	624	662	675	623	684	642	682	657	622	638	7,824
透析		631	600	555	617	626	583	655	676	649	639	572	616	7,419
皮膚科		255	302	256	319	326	222	225	267	244	236	216	264	3,132
脳神経外科		196	159	195	198	196	172	189	172	169	163	171	153	2,133
脳神経内科		55	37	46	46	48	49	54	56	56	52	48	52	599
整形外科		1,877	1,879	1,803	1,904	1,863	1,769	1,750	1,695	1,819	1,706	1,602	1,700	21,367
婦人科		39	51	62	54	57	51	51	57	62	40	34	59	617
耳鼻咽喉科		355	307	333	347	311	288	300	305	302	274	301	363	3,786
眼科		825	808	727	787	749	695	716	714	761	649	650	714	8,795
歯科		601	544	574	585	548	485	493	583	521	487	490	510	6,421
小児科		200	266	197	211	203	165	213	182	222	184	205	176	2,424
心療内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科		1,571	1,491	1,455	1,586	1,539	1,575	1,644	1,520	1,563	1,533	1,463	1,683	18,623
合計		10,372	10,257	10,034	10,753	10,334	9,809	10,246	9,922	10,298	9,643	9,160	10,039	120,867

(介護)

訪問看護ステーション	1,508	1,461	1,396	1,607	1,596	1,535	1,709	1,575	1,498	1,402	1,406	1,567	18,260
介護老人保健施設	280	289	285	297	269	269	296	289	259	263	230	287	3,313
彦根デイサービス	805	849	815	916	838	847	870	829	761	771	780	798	9,879
甲良デイサービス	473	472	425	445	427	382	450	454	410	386	362	419	5,105

各科診療取扱患者数《入院・入所》

(自2019.4.1～至.2020.3.31)

(医療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		567	440	516	625	543	500	410	401	461	385	450	509	5,807
消化器内科		532	559	711	765	775	669	774	699	607	431	475	632	7,629
内科一般		146	103	93	108	148	89	32	82	147	171	140	122	1,381
心療内科		107	218	96	69	99	103	13	32	100	102	155	122	1,216
呼吸器内科		714	717	749	741	670	666	749	773	805	774	679	846	8,883
呼吸器外科		234	205	257	150	262	275	237	285	408	349	190	185	3,037
外科		607	696	549	613	510	420	486	428	590	606	547	449	6,501
泌尿器科		154	347	247	221	192	162	207	227	161	143	207	167	2,435
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科		717	711	752	636	559	542	682	891	765	811	817	595	8,478
眼科		93	87	93	74	62	86	79	100	97	72	56	91	990
歯科		4	13	10	15	19	11	11	21	22	23	17	63	229
小児科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科		3,082	3,118	2,956	3,271	3,224	3,122	3,238	3,173	3,283	3,308	2,892	3,211	37,878
療養病棟		675	672	726	707	760	485	503	496	695	714	571	671	7,675
回復期リハ		877	881	831	892	878	749	819	843	897	917	802	834	10,220
合計		8,509	8,767	8,586	8,887	8,701	7,879	8,240	8,451	9,038	8,806	7,998	8,497	102,359

(介護)

介護老人保健施設	2,798	2,861	2,661	2,818	2,836	2,771	2,754	2,537	2,734	2,724	2,535	2,724	32,753
彦根グループホーム	238	261	270	280	252	248	241	240	245	233	232	248	2,988
甲良グループホーム	270	279	270	279	279	270	279	267	265	279	261	279	3,277

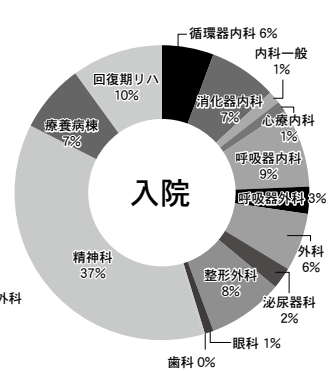
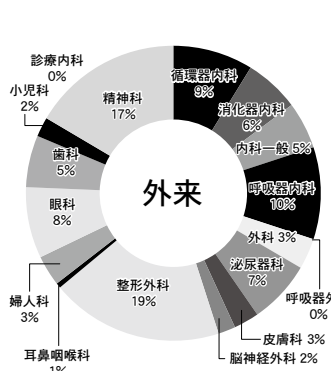
外来地域別診療患者数 (自2019.4.1～至.2020.3.31)

郡 市	犬 上 郡			愛知郡	三 市			その他	合 計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡市		
内 科	1,159	823	231	1,218	1,246	512	23	116	5,328
消化器内科	1,133	671	292	1,426	1,178	506	32	105	5,343
循環器内科	2,678	1,153	428	2,226	1,753	591	65	173	9,067
外 科	530	357	148	595	587	168	18	60	2,463
脳神経外科	407	152	83	439	549	174	9	84	1,897
整形外科	2,456	1,970	831	2,825	3,478	1,101	142	340	13,143
婦 人 科	105	60	20	153	102	40	3	25	508
耳鼻咽喉科	914	463	132	698	632	199	12	61	3,111
眼 科	1,800	1,232	488	2,030	1,491	523	43	67	7,674
精 神 科	1,126	649	444	1,191	5,319	2,581	375	767	12,452
脳神経内科	88	47	10	129	156	64	7	0	501
歯 科	1,102	378	157	831	1,206	452	39	151	4,316
呼吸器科	1,322	790	489	2,046	3,532	1,085	136	233	9,633
泌尿器科	1,190	817	399	1,550	1,603	728	29	134	6,450
皮 膚 科	845	424	150	562	435	156	20	42	2,634
小 児 科	796	164	65	690	168	20	11	43	1,957
透 析	171	94	14	123	174	6	0	1	583
オアシス	176	243	177	268	847	169	18	38	1,936
合 計	17,998	10,487	4,558	19,000	24,456	9,075	982	2,440	88,996

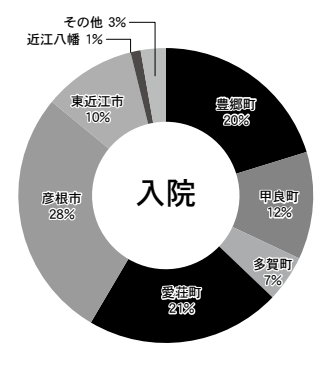
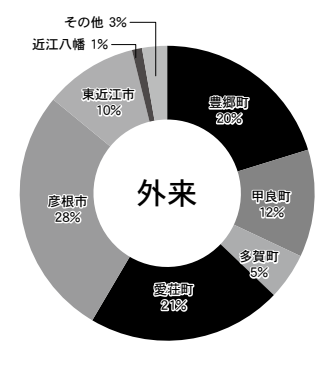
入院地域別診療患者数 (自2019.4.1～至.2020.3.31)

郡 市	犬 上 郡			愛知郡	三 市			その他	合 計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡市		
内 科	14	14	4	30	24	7	0	0	93
消化器内科	147	71	35	139	203	19	7	20	641
循環器内科	86	45	20	75	89	5	0	13	333
外 科	91	32	45	123	134	30	8	26	489
脳神経外科	26	20	10	47	61	22	0	15	201
整形外科	106	91	62	168	256	65	5	37	790
眼 科	45	45	16	77	74	22	1	2	282
精 神 科	75	39	53	118	631	296	94	106	1,412
歯 科	14	5	6	29	60	8	1	2	125
呼吸器科	131	84	49	175	228	68	16	20	771
泌尿器科	43	37	24	66	65	34	1	0	270
心療内科	22	41	19	50	201	38	6	18	395
合 計	800	524	343	1,097	2,026	614	139	259	5,802

各科別收容比率



地域構成比率



診療科別・月別・患者数(入院実人数)

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検
総 数	計	2,416	192	185	203	212	216	180	189	183	235	182	212	227	123	-
	男	1,220	98	93	98	105	111	92	101	102	113	93	95	119	68	-
	女	1,196	94	92	105	107	105	88	88	81	122	89	117	108	55	-
内 科	計	55	4	3	3	4	4	5	2	3	8	8	6	5	3	-
	男	12	1	-	2	-	2	2	-	1	1	2	1	-	1	-
	女	43	3	3	1	4	2	3	2	2	7	6	5	5	2	-
消化器科	計	332	34	21	39	32	30	24	27	26	36	18	20	25	27	-
	男	166	16	10	22	16	19	13	10	15	17	6	7	15	8	-
	女	166	18	11	17	16	11	11	17	11	19	12	13	10	19	-
循環器科	計	134	10	15	10	17	8	8	13	5	20	7	12	9	19	-
	男	50	4	8	2	6	5	1	5	2	6	2	3	6	6	-
	女	84	6	7	8	11	3	7	8	3	14	5	9	3	13	-
外 科	計	273	22	29	18	22	23	20	19	21	17	22	33	27	13	-
	男	158	10	16	7	14	13	14	14	14	13	11	18	14	5	-
	女	115	12	13	11	8	10	6	5	7	4	11	15	13	8	-
脳神経外科	計	42	4	2	3	4	5	4	4	3	4	1	2	6	1	-
	男	23	3	1	1	2	4	-	4	1	2	1	-	4	1	-
	女	19	1	1	2	2	1	4	-	2	2	-	2	2	-	-
整形外科	計	329	31	25	28	29	33	22	20	22	39	16	34	30	2	-
	男	112	12	10	5	6	13	3	8	10	16	9	10	10	-	-
	女	217	19	15	23	23	20	19	12	12	23	7	24	20	2	-
婦 人 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼 科	計	257	22	23	19	21	18	22	23	24	27	16	18	24	-	-
	男	126	13	11	9	12	9	11	13	13	10	9	6	10	-	-
	女	131	9	12	10	9	9	11	10	11	17	7	12	14	-	-
精神神経科	計	161	10	8	17	9	18	13	9	16	12	18	14	17	1	-
	男	73	2	3	9	4	9	8	6	7	4	8	5	8	1	-
	女	88	8	5	8	5	9	5	3	9	8	10	9	9	-	-
歯 科 口 腔 外 科	計	122	4	6	6	8	15	8	8	8	15	9	13	22	-	-
	男	58	2	1	5	3	4	3	6	3	9	6	4	12	-	-
	女	64	2	5	1	5	11	5	2	5	6	3	9	10	-	-
呼吸器科	計	274	28	23	20	23	25	23	25	17	20	30	18	22	30	-
	男	169	17	12	9	16	11	17	15	14	14	17	13	14	25	-
	女	105	11	11	11	7	14	6	10	3	6	13	5	8	5	-
泌尿器科	計	195	14	18	17	20	17	11	15	21	15	12	17	18	7	-
	男	149	11	12	12	15	13	8	12	17	11	10	14	14	5	-
	女	46	3	6	5	5	4	3	3	4	4	2	3	4	2	-
呼吸器外科	計	98	7	5	13	10	6	7	9	4	10	10	11	6	13	-
	男	71	6	5	9	7	3	6	5	3	7	7	8	5	11	-
	女	27	1	-	4	3	3	1	4	1	3	3	3	1	2	-
皮 膚 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 児 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
心療内科	計	144	2	7	10	13	14	13	15	13	12	15	14	16	7	-
	男	53	1	4	6	4	6	6	3	2	3	5	6	7	5	-
	女	91	1	3	4	9	8	7	12	11	9	10	8	9	2	-
麻 醉 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

時間内救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転帰別	入院	36	39	50	34	36	36	38	32	46	25	39	37	448
	その他	60	80	56	89	69	65	62	72	57	66	54	61	791
	計	96	119	106	123	105	101	100	104	103	91	93	98	1,239
来院方法	救急車	19	24	29	27	23	23	19	30	19	18	17	21	269
	その他	77	95	77	96	82	78	81	74	84	73	76	77	970
	計	96	119	106	123	105	101	100	104	103	91	93	98	1,239
種別	交通事故	5	2	2	5	4	4	4	8	5	4	4	7	54
	その他	91	117	104	118	101	97	96	96	98	87	89	91	1,185
	計	96	119	106	123	105	101	100	104	103	91	93	98	1,239
1日平均	3.8	4.8	4.2	4.7	4.0	4.4	4.0	4.3	4.3	4.0	4.0	3.9	4.2	
日数	25	25	25	26	26	23	25	24	24	23	23	25	294	

※平日 8:30～16:50

土曜日 8:30～12:40

時間外救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転帰別	入院	21	25	22	13	22	13	26	20	30	25	19	24	260
	その他	89	132	123	106	145	102	97	84	145	126	86	85	1,320
	計	110	157	145	119	167	115	123	104	175	151	105	109	1,580
来院方法	救急車	35	36	27	15	42	21	29	28	37	40	25	23	358
	その他	75	121	118	104	125	94	94	76	138	111	80	86	1,222
	計	110	157	145	119	167	115	123	104	175	151	105	109	1,580
種別	交通事故	3	12	5	1	9	6	5	2	8	5	8	2	66
	その他	107	145	140	118	158	109	118	102	167	146	97	107	1,514
	計	110	157	145	119	167	115	123	104	175	151	105	109	1,580
1日平均	3.7	5.1	4.8	3.8	5.4	3.8	4.0	3.5	5.6	4.9	3.6	3.5	4.3	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	31	29	31	366
診療科別	内科	30	46	41	24	52	28	47	34	47	48	19	26	442
	心療内科		1		1				1					3
	呼吸器科	2	9	5	4	5	1	7	5	12	9	6	7	72
	外科	11	37	22	30	34	22	24	23	25	14	12	24	278
	泌尿器科	4	8	4	4	5	4	3	2	7	5	1	3	50
	皮膚科				3	1								4
	脳神経外科	1			2		1	2					2	8
	整形外科	51	51	57	40	50	47	32	33	65	60	50	36	572
	婦人科													0
	耳鼻咽喉科			2	1	5				1	1		1	11
	眼科	2				1								3
	小児科										1			1
	精神科	9	5	11	9	14	12	8	6	18	13	17	10	132
	オアシス			2										2
	歯科・歯科口腔外科			1	1									2
	透析													0
計	110	157	145	119	167	115	123	104	175	151	105	109	1,580	

※日曜・祭日 8:30～ 翌8:30

土曜日 12:40～ 翌8:30

(統計:総務課)

病歴統計

疾病別・診療科別・患者数（大分類）

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科	
	不明	計	20	-	1	1	5	-	4	-	-	-	5	1	1	1	-	-	-	1	-
		男	8	-	-	2	-	-	1	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-
		女	12	-	1	1	3	-	3	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1
	総数	計	2396	55	331	133	268	42	325	-	257	156	121	273	194	98	-	-	-	143	-
		男	1212	12	166	50	156	23	111	-	126	70	58	168	148	71	-	-	-	53	-
		女	1184	43	165	83	112	19	214	-	131	86	63	105	46	27	-	-	-	90	-
I	感染症及び寄生虫症	計	44	3	18	6	7	-	-	-	-	-	-	4	1	4	-	-	-	1	-
		男	20	1	10	1	4	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-
		女	24	2	8	5	3	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-
II	新生物(悪性新生物)	計	193	-	31	1	88	-	10	-	1	-	2	8	40	12	-	-	-	-	-
		男	134	-	22	1	51	-	4	-	1	-	2	7	35	11	-	-	-	-	-
		女	59	-	9	-	37	-	6	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	-
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	1	-
		男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-
		女	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	63	20	17	10	4	-	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	1	-
		男	23	7	5	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-
		女	40	13	12	5	4	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1	-
V	精神及び行動の障害	計	263	-	7	1	4	-	-	-	-	144	-	4	-	1	-	-	-	102	-
		男	106	-	1	3	-	-	-	-	-	64	-	2	-	1	-	-	-	35	-
		女	157	-	6	1	1	-	-	-	-	80	-	2	-	-	-	-	-	67	-
VI	神経系の疾患	計	140	1	9	-	10	1	14	-	-	9	1	57	-	12	-	-	-	26	-
		男	85	-	4	-	5	1	8	-	-	5	-	41	-	10	-	-	-	11	-
		女	55	1	5	-	5	-	6	-	-	4	1	16	-	2	-	-	-	15	-
VII	眼及び付属器の疾患	計	256	-	-	-	-	-	-	-	256	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	125	-	-	-	-	-	-	-	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	131	-	-	-	-	-	-	-	131	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	9	1	3	2	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
		男	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	7	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計	144	2	13	62	16	31	1	-	-	-	-	6	2	5	-	-	-	6	-
		男	67	-	6	19	11	17	1	-	-	-	-	3	2	4	-	-	-	4	-
		女	77	2	7	43	5	14	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	2	-
X	呼吸器系の疾患	計	280	10	26	29	3	-	-	-	1	-	1	155	2	53	-	-	-	1	-
		男	160	2	9	13	2	-	-	-	-	-	-	96	-	37	-	-	-	1	-
		女	120	8	17	16	1	-	-	-	1	-	1	59	2	16	-	-	-	-	-

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼吸器	外科	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
XI	消化器系の疾患	計	364	2	153	2	92	-	-	-	-	-	114	-	1	-	-	-	-	-	-
		男	212	-	95	-	63	-	-	-	-	-	53	-	1	-	-	-	-	-	-
		女	152	2	58	2	29	-	-	-	-	-	61	-	-	-	-	-	-	-	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	13	1	3	-	3	-	1	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	1
		男	6	-	-	-	2	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	7	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	90	1	2	1	7	3	71	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	1
		男	31	-	-	1	3	2	23	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
		女	59	1	2	-	4	1	48	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	158	11	13	15	5	-	-	-	-	-	-	17	95	1	-	-	-	-	1
		男	84	2	4	7	2	-	-	-	-	-	-	8	60	1	-	-	-	-	-
		女	74	9	9	8	3	-	-	-	-	-	-	9	35	-	-	-	-	-	1
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計	23	2	12	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1
		男	10	-	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1
		女	13	2	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計	278	1	3	3	23	7	219	-	-	-	1	1	3	12	4	-	-	-	1
		男	98	-	1	1	8	3	71	-	-	-	1	-	2	8	3	-	-	-	-
		女	180	1	2	2	15	4	148	-	-	-	-	1	1	4	1	-	-	-	1
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	66	-	18	-	2	-	4	-	-	-	1	-	3	35	3	-	-	-	-
		男	45	-	5	-	1	-	2	-	-	-	-	-	35	2	-	-	-	-	-
		女	21	-	13	-	1	-	2	-	-	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別・在院期間別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
	不明	計	20	3	1	2	2	7	3	1	-	-	160.8
		男	8	1	-	2	-	4	-	-	-	-	33.4
		女	12	2	1	-	2	3	3	1	-	-	45.3
	総数	計	2396	964	318	182	146	357	237	145	11	5	35.6
		男	1212	564	181	82	72	139	90	62	14	5	30.8
		女	1184	400	137	100	74	218	147	83	17	6	40.4
I	感染症及び寄生虫症	計	44	19	7	6	4	7	1	-	-	-	18.6
		男	20	10	4	1	1	3	1	-	-	-	17.5
		女	24	9	3	5	3	4	-	-	-	-	19.6
II	新生物(悪性新生物)	計	193	93	34	15	12	26	9	4	-	-	18.9
		男	134	58	26	12	9	21	6	2	-	-	19.5
		女	59	35	8	3	3	5	3	2	-	-	17.6
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	8	1	4	-	2	1	-	-	-	-	19.8
		男	4	1	2	-	-	1	-	-	-	-	20
		女	4	-	2	-	2	-	-	-	-	-	19.5
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	63	7	14	9	5	18	3	6	1	-	39.5
		男	23	3	7	4	2	3	-	4	-	-	32
		女	40	4	7	5	3	15	3	2	1	-	43.8
V	精神及び行動の障害	計	263	21	21	14	15	75	70	28	13	5	76.8
		男	106	9	11	4	5	28	26	14	8	1	75
		女	157	12	10	10	10	47	44	14	5	4	78.1
VI	神経系の疾患	計	140	83	12	2	5	18	13	2	2	3	45.1
		男	85	63	6	1	1	6	4	1	1	2	37.8
		女	55	20	6	1	4	12	9	1	1	1	56.5
VII	眼及び付属器の疾患	計	256	210	46	-	-	-	-	-	-	-	4.8
		男	125	104	21	-	-	-	-	-	-	-	4.8
		女	131	106	25	-	-	-	-	-	-	-	4.8
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	9	8	-	-	-	1	-	-	-	-	6
		男	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5
		女	7	6	-	-	-	1	-	-	-	-	6.4
IX	循環器系の疾患	計	144	21	10	19	16	27	12	36	2	1	60.8
		男	67	12	7	10	7	8	3	18	1	1	61.7
		女	77	9	3	9	9	19	9	18	1	-	59.9
X	呼吸器系の疾患	計	280	38	50	37	42	51	24	29	6	3	46.2
		男	160	21	28	20	30	28	13	14	4	2	46.9
		女	120	17	22	17	12	23	11	15	2	1	45.4

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数		
XI	消化器系の疾患	計	364	260	43	25	6	14	8	4	3	-	1	14.4	
		男	212	157	25	16	3	5	4	1	-	-	-	1	12.5
		女	152	103	18	9	3	9	4	3	3	3	-	-	17.1
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	13	3	4	1	-	4	-	1	-	-	-	29.6	
		男	6	3	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	23.2
		女	7	-	3	1	-	2	-	1	-	-	-	-	35.1
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	90	11	5	6	10	40	11	4	3	-	-	47.3	
		男	31	7	4	-	4	8	6	2	-	-	-	-	41.9
		女	59	4	1	6	6	32	5	2	3	-	-	-	50.2
XV	腎尿路生殖器系の疾患	計	158	55	35	25	14	15	8	5	-	1	-	24.8	
		男	84	34	22	6	6	8	6	1	-	1	-	-	26.1
		女	74	21	13	19	8	7	2	4	-	-	-	-	23.3
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計	23	8	5	3	1	3	3	-	-	-	-	22.6	
		男	10	2	2	1	-	3	2	-	-	-	-	-	31.8
		女	13	6	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	15.5
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計	278	64	27	19	13	54	74	25	1	1	-	49.1	
		男	98	37	14	7	3	13	19	5	-	-	-	-	34.4
		女	180	27	13	12	10	41	55	20	1	1	-	-	57.1
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	66	58	1	1	1	3	1	1	-	-	-	8.6	
		男	45	41	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	5.3
		女	21	17	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	15.7
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

疾病別・年齢階層別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	平均年齢	
	不明	計	20	1	-	-	2	2	2	1	1	1	2	4	4	1	-	69.4
		男	8	-	-	-	1	1	2	-	1	-	-	1	2	-	-	66.4
		女	12	1	-	-	1	1	-	1	-	-	2	3	2	1	-	71.4
	総数	計	2396	5	12	61	70	110	141	333	635	345	354	200	55	8	71.3	
		男	1212	4	6	31	32	68	77	191	342	165	175	71	15	-	69.9	
		女	1184	1	6	30	38	42	64	142	293	180	179	129	40	8	72.7	
I	感染症及び寄生虫症	計	44	-	-	1	2	-	3	-	8	13	6	6	4	1	-	72.4
		男	20	-	-	1	1	-	3	-	3	5	1	4	2	-	-	68.1
		女	24	-	-	-	1	-	-	5	8	5	2	2	2	1	-	76.1
II	新生物(悪性新生物)	計	193	-	1	-	1	3	1	3	40	80	34	23	6	1	-	75.1
		男	134	-	1	-	1	-	1	2	25	56	26	17	5	-	-	75.9
		女	59	-	-	-	-	3	-	1	15	24	8	6	1	1	-	73.3
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	2	2	-	-	80
		男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	84.3
		女	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	75.8
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	63	-	-	-	-	1	4	6	11	11	16	11	3	-	-	80.8
		男	23	-	-	-	-	1	2	2	3	2	8	5	-	-	-	79.4
		女	40	-	-	-	-	-	2	4	8	9	8	6	3	-	-	81.6
V	精神及び行動の障害	計	263	-	-	2	13	10	27	31	59	24	47	18	1	-	-	67.8
		男	106	-	-	-	5	5	12	8	14	8	25	4	-	-	-	68.3
		女	157	-	-	2	8	5	19	17	34	16	22	14	1	-	-	67.4
VI	神経系の疾患	計	140	-	-	1	2	10	24	26	30	9	14	10	1	-	-	65.6
		男	85	-	-	-	1	5	9	20	18	2	5	5	1	-	-	63.9
		女	55	-	-	1	1	5	4	4	8	11	7	5	-	-	-	68.3
VII	眼及び付属器の疾患	計	256	-	-	-	-	-	3	7	44	120	49	26	6	1	-	75.2
		男	125	-	-	-	-	-	3	5	20	56	29	9	3	-	-	74.5
		女	131	-	-	-	-	-	-	2	24	64	20	17	3	1	-	75.8
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	9	-	-	-	-	1	1	2	3	2	-	-	-	-	-	68
		男	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	71
		女	7	-	-	-	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	67.1
IX	循環器系の疾患	計	144	-	-	-	1	3	3	5	14	30	22	29	27	10	-	80.1
		男	67	-	-	-	-	3	2	5	9	15	11	7	12	3	-	76.4
		女	77	-	-	-	1	-	1	-	5	15	11	22	15	7	-	83.3
X	呼吸器系の疾患	計	280	-	-	-	-	1	3	16	26	57	56	67	35	16	3	80.1
		男	160	-	-	-	-	-	2	7	9	38	27	49	20	8	-	81
		女	120	-	-	-	-	1	1	9	17	19	29	18	15	8	3	79

コード	国際分類大項目分類	総数	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	平均年齢		
XI	消化器系の疾患	計	364	-	5	4	40	36	20	21	27	55	77	36	21	20	2	-	57.3	
		男	212	-	4	-	19	16	9	15	13	42	54	24	11	5	-	-	-	59.4
		女	152	-	1	4	21	20	11	6	14	13	23	12	10	15	2	-	-	54.5
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	13	-	-	1	-	1	1	-	1	2	2	2	1	1	2	1	72.9	
		男	6	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	55
		女	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	1	88.3	
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	90	-	-	-	1	3	4	3	15	33	13	10	5	2	2	1	73.2	
		男	31	-	-	-	-	2	4	1	5	10	2	6	-	1	-	-	-	69.3
		女	59	-	-	-	1	1	-	2	10	23	11	4	5	1	1	1	75.3	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	158	-	-	-	4	3	5	10	22	39	27	25	14	9	-	-	75.1	
		男	84	-	-	-	1	3	4	7	17	24	12	11	4	1	-	-	-	71.3
		女	74	-	-	-	3	1	3	5	15	15	15	14	10	8	-	-	-	79.4
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計	4	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	39.3	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	4	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.3
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計	23	-	-	-	-	1	2	-	1	7	2	5	4	1	1	-	77.4	
		男	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	1	1	2	1	-	-	78
		女	13	-	-	-	-	-	1	1	-	1	3	1	4	2	-	-	-	77
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計	278	-	-	7	16	10	8	15	9	24	59	36	52	34	5	3	69.8	
		男	98	-	-	5	10	7	6	10	4	8	19	9	16	4	-	-	-	58.2
		女	180	-	-	2	6	3	2	5	5	16	40	27	36	30	5	3	76.2	
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	66	-	-	-	-	-	1	2	4	18	15	13	10	3	-	-	73.9	
		男	45	-	-	-	-	-	1	-	3	17	13	7	4	-	-	-	-	71.4
		女	21	-	-	-	-	-	-	2	1	1	2	6	6	3	-	-	-	79.2
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

II

介護事業の部

訪問看護事業は利用者は+1.6%でありました。一方在宅看取やターミナル期、重症の利用者など短期集中での関わりの需要が増えました。訪問看護に求められる専門性を発揮し地域との連携を強化し精神の訪問看護を強味とした顧客確保に努めております。

介護事業については介護老人保健施設「パストラールとよさと」は入所は前年並みとなりました。特に後半は新型コロナウイルスの影響により委託事業の中断、面会制限、会議やレク、行事の自粛を行ったことにより例年のような取り組みが行えない状況がつづいています。早い終息を願い感染蔓延しないよう努めました。

「マックスとよさと」は2019年5月から事業を再開しました。「地域包括支援センターきらら」はネットワーク構築のための会議、ケア会議への参加や金亀体操、認知症講座など関係医療機関や社協、地域の自治会長、民生委員等と連携協働で行いました。

デイサービスセンター「きらら・けやき」では毎月の稼働状況を把握し、居宅介護支援事業所へ情報提供と積極的な受け入れを行い利用者数の確保に繋げることが出来ました。グループホーム「ゆうゆう、らくらく」では自立支援や生活機能向上を目指したケアで入居者が安定した生活を送れるサービスができました。また認知症カフェ、介護相談支援の継続で地域密着のホームとして地域に根づいています。

経営理念

施設を通じて地域社会に密着し人間らしく
心豊かに暮らせるよう 仁愛の精神で奉仕し
生活文化向上に役立ち社会に貢献する

基本方針

- ・ 自立支援と家庭復帰をめざす。
- ・ 明るい家庭的雰囲気づくり。
- ・ 施設、地域、家庭の結びつき重視。
- ・ 親切、快適、安心、満足、可能性の追求。

行動規範

- ・ 誠心誠意のサービスの提供をしよう。
- ・ 柔軟発想で創造しよう。
- ・ バイタリティーあふれる考動をしよう。
- ・ 頑強な心身をつくろう。

バストラールとよさと

経営理念

しあわせな老後をめざし普通の生活を活力
をつけてゆったり気分で仲間といっしょに
楽しむためにあたたかいもてなしの心で提
供し、地域社会に貢献する。

彦根市デイサービスセンター **きらら**
彦根市在宅介護支援センター
甲良町デイサービスセンター **けやき**

彦根市グループホーム **ゆゆう**
甲良町グループホーム **らくらく**

1 介護事業・各事業所業績

1 各種教室・講師派遣

I 訪問看護レインボウ

① <レインボウひこね>

*講師派遣その他

・自殺未遂ネットワーク会議（山田）・彦根市地域ケア会議（山田） TQM発表

2. 研修受入状況

① 実習受け入れ

レインボウとよさと 県立看護専門学校2名、聖泉大学9名、県立大学6名、常磐大学2名
 レインボウはたしょう 県立看護専門学校6名、聖泉大学9名、県立大学2名
 レインボウひこね 県立看護専門学校3名、聖泉大学8名、県立大学4名

② パストラールとよさと

学生受け入れ

学生受入：延 337人

学校：滋賀県立大学、びわこ学院大学、聖泉大学、滋賀医療技術専門学校、
 京都文教短期大学、京都橘大学、彦根総合高校

③ デーサービスセンターきらら

学校名	期間	人数	学校名	期間	人数
同志社大学	5月13日～17日	1	彦根総合高校（3年）	8月2日・27日	5
京都教育大学	6月10日～14日	1	河瀬中学校（2年）	9月2日～6日	3
愛知産業大学	6月24～28日	1	京都光華女子大学	9月9日～13日	1
みどり幼稚園	7月2日	100	滋賀大学	9月16日～20日	1
びわこ学院大学	8月5日～9日	1	彦根中学校	10月23日	6
	8月12日～16日	1	豊郷病院新人看護師見学会	11月7日	18
大谷大学	8月19日～23日	1	若葉小学校（6年）	11月26日	22
豊郷病院准看護学院	8月28日・29日	3	みどり幼稚園	12月6日	95
	9月12日・13日	3			

④ グループホームゆうゆう

○豊郷病院附属・准看護学院

令和元年8月28日（水） 女性1名

令和元年9月12日（木） 女性2名

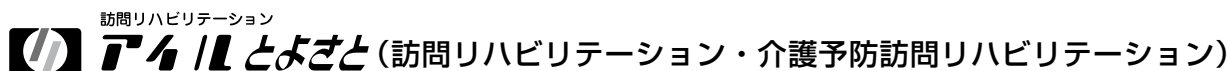
令和元年8月29日（木） 女性2名

令和元年9月13日（金） 女性2名

○びわこ学院大学短期大学部

令和元（2019）年11月11日（月）～11月15日 5日間 女性1名・男性1名

2 介護事業・各事業所別事業報告



概要

開設日	平成13年5月1日
責任者	吉田 環
定員 (サービス提供量)	理学療法士1名当たり12回/日
職員	理学療法士3名 (山田知美 小椋法子 木村香奈子)

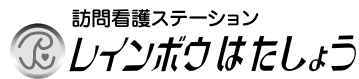
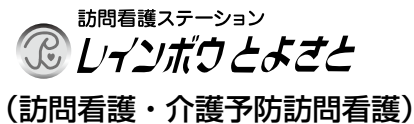
事業経過

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問回数(回)	395	372	370	436	389	379	456	445	447	452	380	434
利用者数(人)	36	34	32	36	36	36	39	39	42	43	43	41
新規者数(人)	2	3	2	3	1	1	3	2	3	0	1	3
終了者数(人)	6	1	1	2	3	0	0	1	0	1	4	3

要介護度	要支援 1.2	10	年齢	40歳代	0	地域	彦根市	34	疾患	脳血管	19
	要介護 1	17		50歳代	2		豊郷町	12		整形	31
	要介護 2	15		60歳代	2		甲良町	5		特定疾患	5
	要介護 3	10		70歳代	24		多賀町	2		呼吸器	3
	要介護 4	6		80歳代	32		愛荘町	10		内科	3
	要介護 5	5		90歳代	3		圏域外	0		廃用	2

利用状況

- ・延べ利用者数は457名、延べ訪問回数は4955回。
1か月平均で利用者数は約38.1名、訪問回数は約412.9回と昨年より減少。
- ・新規利用は1年間で24名、短期集中加算対象者は17名と昨年に比べ大幅に増加した（昨年新規利用15名、短期集中加算対象者12名）。終了者は22名。
- ・要介護度では、要介護1・2が5.1割、要介護3～5が3.3割、要支援は1.6割となった。前年度の割合と大きな変化はみられなかった。
- ・年齢別では前年度同様80歳代が多く、利用の約5割。
- ・地域別では前年同様に彦根市の利用が最も多い。
- ・疾患別では整形外科疾患が最も多く、全体の5割。次いで脳血管疾患で全体の3割を占める。
- ・当事業所スタッフはPTのみのため、OTが必要な利用者1人に対し訪問看護ステーションよりOT1名応援あり。
- ・2020年3月より産休のためリハビリテーション科に欠員があり、週3回午後からパストラールに応援を行うため、訪問リハビリ新規依頼の制限を行った。そのため、訪問回数の増加には至らなかった。
- ・昨年に比べやや終了者が多く、また終了には至らないが週の訪問回数が減った利用者もあり、訪問回数の増加にはつながらなかった。
- ・新規依頼、短期集中加算の件数は昨年度に比べ上昇し、終了件数は昨年と同程度であったため回転率としては上がるが、訪問回数の増加にはつながらなかった。しかし回転率は上昇したため、本年度も社会参加支援加算の算定が可能になった。



概要

レインボウとよさと

所長・統括所長兼務 谷川 明実

看護師 常勤6人 非常勤2人 OT1人常勤、1人非常勤(3ステーション兼務) 事務員1人

レインボウはたしょう

所長・西川 くるみ

看護師 常勤5人 非常勤2人 事務員1人(パート)

レインボウひこね

所長 山田 里美

看護師 常勤7人 非常勤3人 OPT1人 常勤(3ステーション兼務) 事務員1人

事業経過

訪問看護ステーション レインボウとよさと、レインボウはたしょう、レインボウひこね

令和1年度事業報告

令和1年度はレインボウ全体の収益が前年度より+7%となりました。

利用者数、収入とも前年度とほぼ横ばい状態となりました。

現在3ステーションですが、次年度にはたしょうをサテライトにすることに決定し、今後大規模化によるメリットを活かせるよう取り組みます、

(レインボウとよさと) 令和1年度は月平均利用者が116名で前年度より12名増加、年間収入は+11%の増収、収益は前年度マイナスでしたが今年度はわずかですがプラスとなりました。今年度、自宅での看取り件数は3件、計画的なターミナルケアを実施できました。町内にサービス付き高齢者住宅が増えており退院を機に入居される方の訪問看護が増えていきます。認知症グループホーム3か所(4ユニット)B型就労支援作業所にも医療連携契約で訪問しています。

(レインボウはたしょう) 2019年度の一日平均利用者数は-5%でしたが収益は35%の増収となりました。近隣に新しいステーションができ新規利用者は減少傾向ですが看取りや医療依存度の高い利用者の依頼が増えていきます。今年度は地域住民対象のシンポジウムやフォーラムに参加し訪問看護のアピールをすることができました。変わっていく地域のニーズに対応し安心して相談できる町のステーションとして機能できるように努めていきます。

(レインボウひこね) 今年度は月平均利用者が143名で1名減、収益も前年度比-27%でしたが、精神疾患の顧客確保は安定的に維持でき、作業療法士と看護師で関わる難病等重度の高い利用者も増えていきます。医療の平均単価は12000円台を維持できており、介護保険でも居宅と同建物の強みから依頼も増えていきます。ただ、圏域において訪問看護事業所が増加している状況下で、今後は地域におけるひこねの役割・位置づけを再認識し、特色をアピールし地域貢献に努めたいと思います。

事業所別利用者前年比較表

		平成30年度	令和1年度	増加率	備考
とよさと	新規利用者	49	71	+44%	グループホーム3カ所 定期訪問、就労継続支援 B型作業所訪問
	延べ人数	1,238	1,399	+13%	
	訪問延べ回数	6,112	6,625	+1%	
はたしょう	新規利用者	55	40	-28%	グループホーム1カ所 定期訪問
	延べ人数	1,140	1,029	-10%	
	訪問延べ回数	5,113	4,894	-5%	
ひこね	新規利用者	37	40	+8%	グループホーム1カ所 定期訪問
	延べ人数	1,730	1,723	-1%	
	訪問延べ回数	6,755	6,741	-1%	

職員研修

<レインボウとよさと>

〈講師派遣、その他〉

豊郷町地域リーダー会議（森） 甲良町認知症ケアパス会議（谷川） 彦根地域ケア会議
オレンジファイブ（右近）

令和1年度研修

奇数月 ことう地域チームケア研究会 毎月 こところのチームケア研究会
5月 連絡協議会研修 在宅ホスピス
6月 訪問看護eラーニング研修開始 笑いヨガ研修
7月 滋賀創傷セミナー
8月 豊郷町人権セミナー
9月 医療安全研修 愛犬ケアマネ認知症研修
10月 訪問看護現場における暴力ハラスメント対策を学ぶ
11月 パーキンソン病研修 圏域別事例検討会
12月 三職種で考える看取り～死を迎える患者と支える家族への包括的支援

令和2年

1月 新人訪問看護師・新卒訪問看護師を育成する研修 ストマ研修会
2月 看多機充実支援セミナー 管理者交流会

<レインボウはたしょう>

〈講師派遣、その他〉

愛荘町地域ケア会議 多賀町地域ケア会議、災害対策会議（保健所、3町の役場担当者）
湖東地域歯科保健調整会議 チームたが定例会

令和1年度研修

4月 見える化研修
5月 労務管理について
6月 第5地区訪問看護連絡協議会研修会
7月 精神科訪問看護算定要件研修 請求業務・事務業務研修
8月 認知症フォローアップ研修
10月 チームマネジメント研修
11月 「在宅医療セミナー」ことうチームケア研究会「重症心身障害者支援者研修」
12月 在宅医療フォーラム

令和2年

2月 全世代型地域包括ケア推進フォーラム 高齢者虐待 認知症フォーラム
3月 管理者研修会

<レインボウひこね>

令和1年度研修

奇数月 ことう地域チームケア研究会

毎月 こところのケアチーム研究会

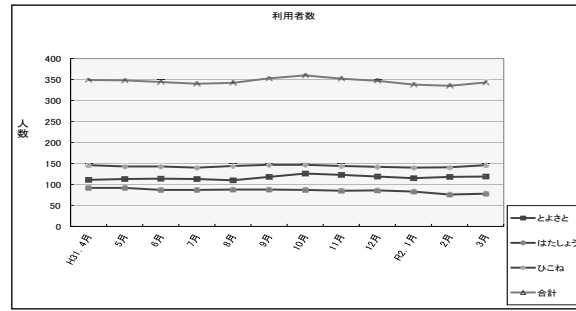
4月 「看護の見える化研修」
6月～11月 「訪問看護eラーニング」
7月 滋賀創傷セミナー
8月 災害支援チーム研修
9月 訪問看護認定看護師フォローアップ研修 報酬・請求業務基本再確認講座
10月 重症心身障害児及び医療的ケア児者ケアコーディネーター養成研修
11月 湖東地域で重症心身障害児者の暮らしを支える支援者のための研究 在宅医療セミナー
12月 生活支援について

令和2年

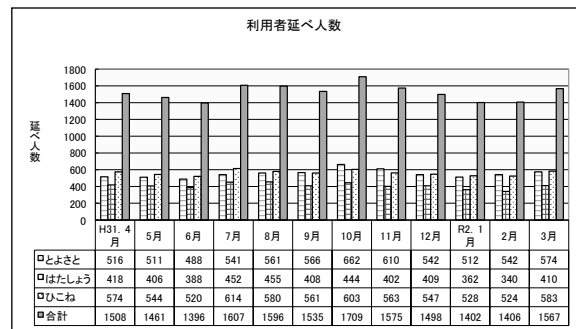
1月 地域リハビリ人材育成研修会 意思決定支援プロセスとACPの重要性
2月 全世代型地域包括ケア推進フォーラム 訪問看護における暴力・ハラスメント対応研修会

経過・実績報告 (グラフによる)

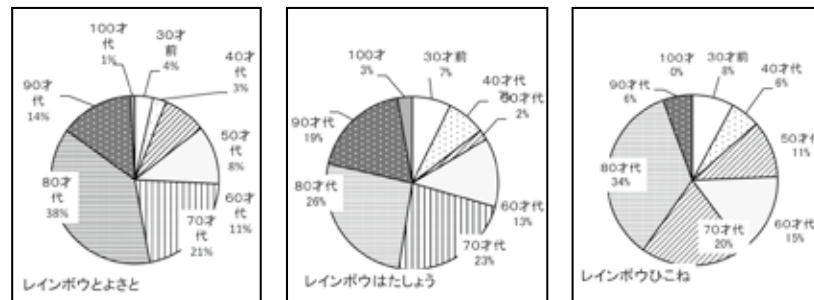
1) 利用者数



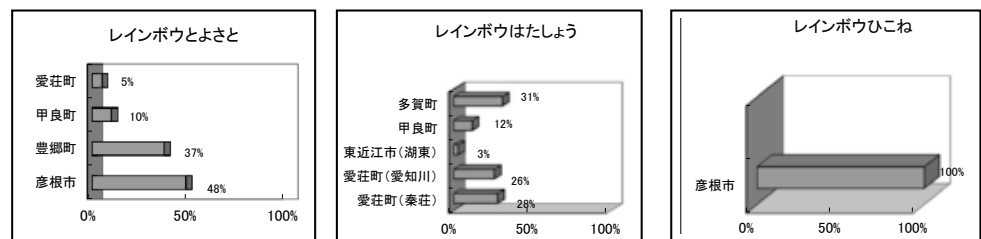
2) 利用者延べ人数



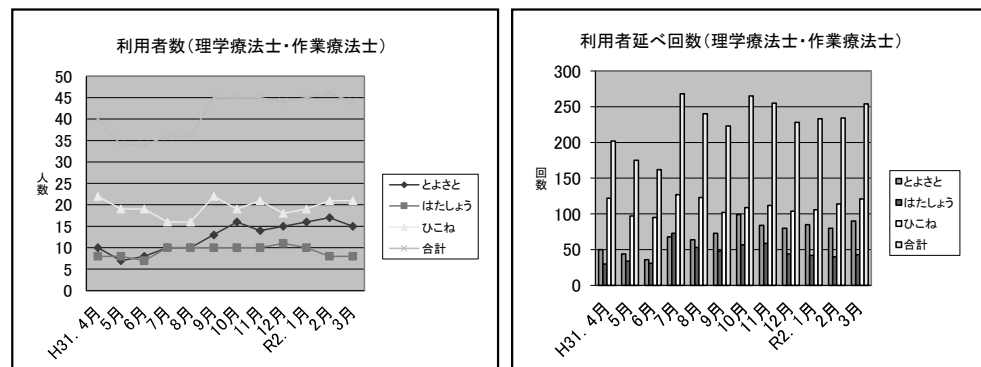
3) 年齢別構成



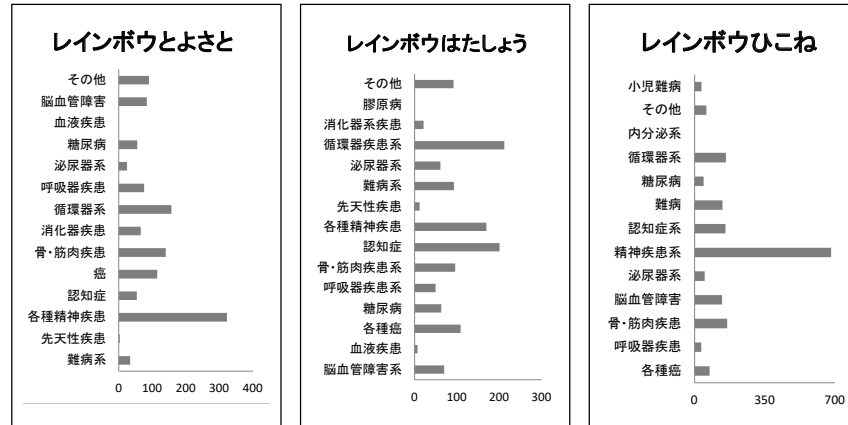
4) 地域別利用者



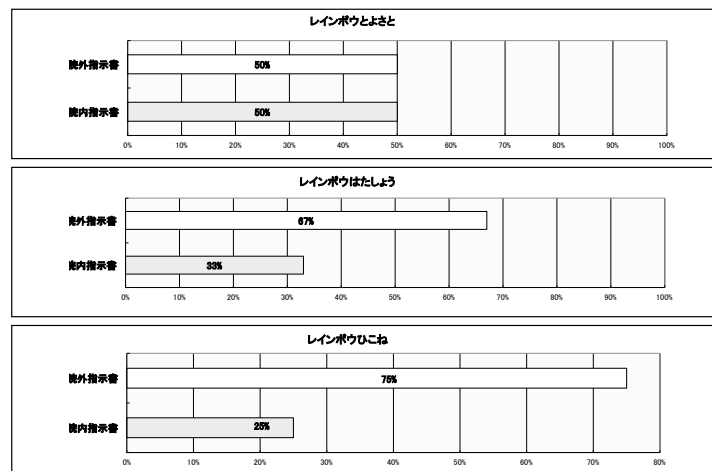
5) 理学療法士・作業療法士による訪問利用者数、延べ回数



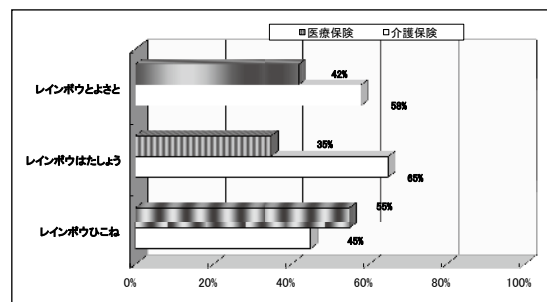
6) 疾患別利用者数



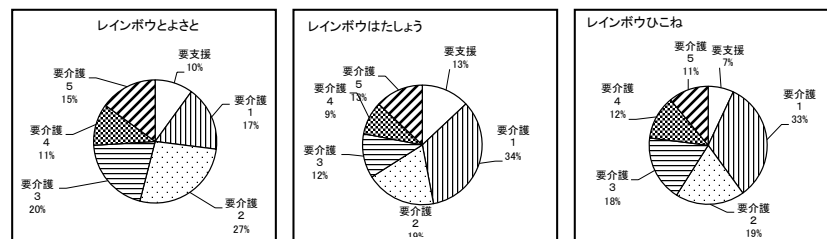
7) 指示書・院内・院外構成比



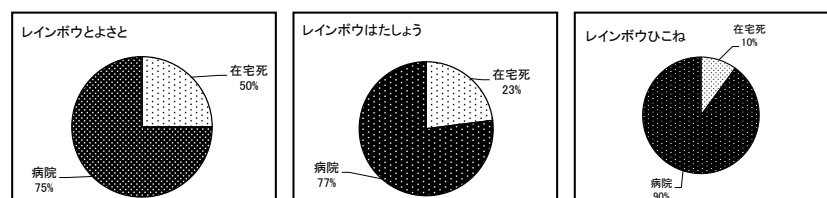
8) 介護保険と医療保険の割合



9) 要介護度別利用者数



10) 在宅死の割合





(施設入所・短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション)

概要

平成8年(1996)6月開設	R C	3階建
敷地面積 6,012.00㎡	1 F	管理棟/通所リハ棟
建築面積 1,795.22㎡	2 F	一般棟(竹生・沖)
延床面積 4,376.38㎡	3 F	専門棟(比良・伊吹・鈴鹿)
	屋上	機械棟
定員	入所 100人	一般棟 55人(竹生・沖の2グループ) 専門棟 45人(比良・伊吹・鈴鹿のさとの15人×3ユニット) (内短期入所療養介護 4人)
		通所リハビリテーション 一日 20人
職員	施設長 奥田和美	事務長 菅原幸一 師長 井上尚子
	看護師 12名	介護職 46名 支援相談員 2名
	介護支援専門員 1名	P T. O T. 6名 管理栄養士 1名
	事務 3名	その他職員 4名 合計 78人

事業経過

2019(令和元)年度は、主には介護職員の人材不足を補えるよう人材の獲得及び教育に努めました。また、各職場で人材が偏ることがないように配置転換についても配慮しました。

利用状況(イ)

平成27年4月以降の利用状況は次の通り

1. 利用者数(年度別)

入所者	H27	H28	H29	H30	R1
一日平均入所者数(SS含)	87.5	84	86.85	89.8	89.1
うち一般棟	47	47	46	48	47
うち専門棟	38	37	39	40	40
平均年齢	84.3	85.1	85.7	86.4	86.7
男女比(男性%)	15	15	18.7	16	17.2
平均入所期間(日)	231	240	247	293	282

2. 要介護度別にみた利用状況

平均介護度	H27	H28	H29	H30	R1
入 所	3.40	3.40	3.15	3.25	3.30
通 所	2.44	2.59	2.59	2.61	2.80

3. 市町別利用者の割合（年度別）

入所（ショート含） / 通所

（%）

	H26		H27		H28		H29		H30	
	入所	通所	入所	通所	入所	通所	入所	通所	入所	通所
彦根市	29	32	29	28	30	26	25	13	25	16
豊郷町	15	20	12	19	9	24	13	7	15	7
甲良町	17	18	20	19	20	18	18	10	17	10
多賀町	9	5	11	10	12	11	11	4	12	4
愛荘町	30	15	12	22	11	21	17	8	19	8
東近江市	10	0	13	0	15	0	8	0	8	1
（旧）一市七町外	4	0	3	2	3	2	3	0	3	0

職員研修

【内部研修】

開催年月日	研修会名	参加人員	研修内容
2019 5.15	接遇研修	28人	2018年度満足度調査の結果報告
7.17	認知症勉強会	25人	DVD鑑賞
9.11	身体拘束・転倒・転落について	15人	講義・グループワーク
10.29	火災時の対応について	12人	講義・グループワーク
11.20	感染経路別予防策	32人	感染経路別の対応方法を学ぶ
12.18	看護研究発表 事前発表会	15人	ターミナルケアに対するアンケート結果を発表・報告する

【外部研修】

開催年月日	研修会名	参加人員	研修内容
2019 6.12	看護学実習施設管理者・指導者会議	1人	看護学実習のさらなる充実を目的とする
6.14	介護老人保健施設協会 第2回職種別研修（I）	8人	職種別グループワーク
7.29	介護老人保健施設協会 合同研究発表会	2人	他老健施設の研究発表について学ぶ
8.3	介護に関わる専門職として持つべき生死感	4人	その人らしい生を生き抜き、満足や納得のいく死を迎えることを学ぶ
5.24～8.29	2019年度キャリアアップ講座	1人	看護研究について学ぶ
9.27	介護老人保健施設 近畿ブロック大会 in 和歌山	1人	他老健施設の研究発表について学ぶ
10.11	慢性心不全患者の生活調査に 向けた看護	1人	慢性心不全患者の生活調整に必要な病態と治療の理解を深め、アセスメント力を高めるとともに生活の最高につながる看護を学ぶ
11.13	福祉のプロになるために必要なこと	1人	福祉のプロになるために必要なことを学ぶ
10.3～ 2020.1.10	滋賀県実習指導者講習会	1人	看護教育についての知識獲得・意識向上
1.24	通所リハビリ事業所見学会	3人	他施設の見学、情報共有、意見交換
2.21	しが介護の職場 新任職員フォローアップ研修・交流会	2人	新任職員に対する定着支援を図る

利用状況(口)

入所者(含ショートステイ)利用状況

2019年度

パストラルとよさと

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均											
稼働率	本年	93.3	92.3	88.7	90.9	91.5	92.4	85.5	85.1	88.2	87.9	91.0	82.4	89.1	定床100										
	前年	89.9	89.4	91.2	91.2	90.7	88.2	85.4	88.4	90.4	91.4	88.5	92.6	89.8											
月末在所者数	一般棟	50	48	49	48	48	48	45	47	47	47	47	45	47	定床55										
	専門棟	42	39	41	38	40	43	40	38	43	37	40	40	40	定床45										
	男	16	14	16	15	16	16	14	17	15	13	14	15	15	17.2%										
	女	76	73	74	71	72	75	71	68	75	71	73	70	72	82.8%										
	計	92	87	90	86	88	91	85	85	90	84	87	85	88											
	内SS	4	4	4	2	3	4	5	8	8	2	4	5	4	5.0%										
入所延数		2,605	2,640	2,465	2,618	2,662	2,641	2,449	2,302	2,494	2,536	2,327	2,556	退所日は含まず											
短期入所延数		193	221	196	200	174	130	202	235	240	188	221	169												
予防短期延数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
平均介護度		3.33	3.30	3.33	3.22	3.35	3.36	3.32	3.33	3.34	3.22	3.20	3.30		3.30										
在所日数	3ヶ月未満	32	28	35	34	37	35	30	39	31	32	34	36	34	43%										
	3～12ヶ月	33	35	29	28	29	32	27	19	24	20	18	20	26	33%										
	12ヶ月以上	19	19	17	18	19	19	21	20	19	20	18	19	19	24%										
	平均(日)	272	294	268	283	291	297	313	279	296	303	256	237	282											
年齢別	70歳未満	2	1	2	2	2	2	1	0	3	2	2	0	2	2%										
	70～79歳	18	16	17	19	14	16	15	12	10	19	13	14	15	17%										
	80～89歳	40	36	43	46	36	38	40	37	20	59	41	46	40	44%										
	90歳以上	36	39	33	37	34	33	39	30	12	45	31	34	34	37%										
	平均	86.9	87.1	86.6	86.6	86.9	86.9	87.6	86.7	87.5	86.1	86.3	85.1	86.7											
地域別	彦根市	23	20	21	25	17	18	38	18	38	37	22	24	25	25%										
	豊郷町	15	16	15	15	11	14	19	13	19	18	15	15	15	15%										
	甲良町	19	17	16	17	14	16	23	15	20	20	15	16	17	17%										
	多賀町	12	10	12	13	12	11	13	8	16	13	11	10	12	12%										
	愛荘町	21	20	18	21	20	17	24	17	26	20	12	13	19	19%										
	東近江市	7	7	9	9	10	10	11	9	11	0	10	5	8	8%										
	その他	3	3	4	3	2	3	5	6	4	2	0	2	3	3%										
入退所先		入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所				
	家庭	11	7	4	6	14	5	17	8	5	1	0	7	10	11	5	8	24	4	11	6	7	6	7	8
	社会福祉施設		4		1	5		8		1	3		5		4		6		3	1	3	1	5		
	病院(一般)				1											2	1	5	6	1		2			
	豊郷病院	4	2	5	4	5	5	3	3	1		4		2	5	3	2	15	5			8	6	7	6
	老人保健施設					1	1								1										
	その他	1	1		3	1	2	1	5		1	1	3		5	1	2	1	1	2		1		1	
計	16	14	9	14	21	18	22	24	6	3	5	13	12	21	13	16	43	17	17	17	17	16	17	20	

デイケア稼働・利用状況

2019年度

パストラルとよさと

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均	
稼働日数		21	22	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	20	
一日平均		13.3	13.1	14.3	13.5	12.8	14.2	14.3	14.1	12.4	12.8	12.3	13.3	13.4	定員
" (前年度)		15.5	14.2	13.4	12.6	11.3	13.2	13.4	13.6	13.6	13.8	12.9	13.2	13.4	20
月平均稼働率(%)		66.7	65.7	71.3	67.5	64.0	70.8	71.4	70.5	62.0	64.2	61.4	66.7	66.8	%
利用 実人数	デイケア	40	43	48	46	43	46	45	47	43	43	42	40	44	96%
	予防デイケア	2	1	2	1	1	1	1	1	2	4	3	2	2	4%
	男	16	18	20	20	16	18	17	18	16	17	21	16	18	39%
	女	26	26	30	27	28	29	28	30	29	30	27	29	28	62%
	合計	42	44	50	47	44	47	46	48	45	47	45	42	46	
利用 延人数	介護	275	285	279	293	265	266	296	278	240	226	212	272	266	98%
	予防	5	4	6	4	4	3	4	4	8	18	9	8	6	2%
	利用総合計	280	289	285	297	269	269	300	282	248	244	221	280	272	
平均介護度		2.55	2.84	2.79	2.80	2.86	2.76	2.71	3.53	3.34	2.37	2.64	2.37	2.80	
平均年齢		82.9	84.1	84.0	84.3	84.7	85.0	84.6	78.7	83.9	84.3	83.8	83.7	83.7	
短期集中個別リハ 実人数		6	3	6	6	6	3	5	3	2	0	4	6	4	
" 延回数		44	30	29	34	33	22	32	18	15	0	19	31	26	
認知症短期集中(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
重度療養管理加算(延)		4	5	4	5	4	4	5	3	4	3	3	4	4.0	
入浴加算(延)		56	68	67	57	52	44	40	55	56	49	44	62	54.2	
栄養スクリーニング加算		0	42	0	0	0	0	0	45	0	0	0	0	7	
栄養改善加算(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
口腔機能向上加算(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
提供体制加算		4	271	282	275	289	259	260	289	278	239	221	209	263	261
" 3・2・1		3	3	2	1	1	2	1	1	2	3	3	3	2	
リハマネジメント加算Ⅱ		0	33	41	36	32	37	37	28	30	34	29	29	31	
" Ⅰ		42	11	8	9	9	8	6	10	4	8	5	8	11	
曜日別	月	13.0	12.6	13.5	11.0	12.0	12.3	10.3	13.6	10.2	9.0	9.6	12.8	11.7	58.3%
	火	10.8	11.3	13.0	13.6	12.5	14.3	14.3	12.5	11.5	10.5	10.0	12.6	12.2	61.2%
	水	15.8	15.8	14.5	14.4	13.8	13.3	14.6	15.2	14.5	14.7	13.8	12.7	14.4	72.1%
	木	12.0	12.6	15.5	14.8	12.6	14.5	16.0	16.0	13.3	13.7	15.0	13.7	14.1	70.7%
	金	15.8	15.0	14.0	12.5	12.2	15.3	13.2	12.6	10.5	10.7	9.8	13.0	12.9	64.4%
地域別	彦根市	13	15	17	17	16	15	15	16	14	16	15	19	16	34%
	豊郷町	6	6	8	8	7	7	6	7	7	8	8	8	7	16%
	甲良町	9	9	10	10	9	11	11	11	11	11	10	10	10	22%
	多賀町	5	5	5	4	3	4	4	4	4	2	2	3	4	8%
	愛荘町	9	8	9	8	8	8	8	9	9	9	10	5	8	18%
	その他	0	1	1	0	1	2	1	1	0	1	0	0	1	1%



概要

ケアプラン作成・給付管理業務・介護相談や代行手続き業務・施設紹介
関係機関との連絡調整・家庭訪問・認定調査受託（介護保険調査）等

定 員 39人／介護支援専門員 1人

職 員 マックスとよさと（2019年4月再開）

管理者 山口 康子（常勤）2019年6月～

所長 高田 奈緒（常勤）2019年4月～

担当 計2名（常勤）

マックスひこね

管理者・所長 西野 祐生（常勤）

担当 計3名（常勤）

1名（非常勤）

事業経過

マックスとよさととは2018年8月末で事業を一時休止しましたが、2019年4月より事業を再開し、2020年3月末には居宅介護支援の指定を更新しています。マックスとよさととは職員2名体制、マックスひこねは職員4名体制で1年間継続しています。2事業所での合同勉強会、情報交換を行い、自立支援の視点強化に努め、在宅看取りケアに対応したスキルアップを図っています。新規に関しては、ご家族様からの相談・他病院・包括支援センターからの困難ケースの受け入れも含め、できるかぎり対応しています。

介護支援専門員としての質の向上については、入退院連携の研修をはじめ、ケアマネジャーの専門性を高める各種研修会への積極的参加、1回／月のペースでマックスとよさと・ひこね合同の事例検討会・勉強会を実施しました。また、他法人の事業所を交えての事例検討会を3回実施しました。

年間実績

	新規	終了	給付数
マックスとよさと	59人	9人	348人
マックスひこね	62人	30人	1,172人

職員研修

- ※毎月 彦根市地域ケア会議 ・ 地域包括すばる事例検討会
- 〈5月〉「彦根市介護支援専門員等連絡会 ～第7期彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について～」
 - 〈5月〉「介護保険と障害福祉のケーススタディミーティング」
 - 〈5月〉 看取りに関する支援の手引きについて
 - 〈6月〉「自立支援にむけたリハビリ職との連携」
 - 〈6月〉「豊郷認知症セミナー ～フレイルと認知症～」
 - 〈6月〉「退院支援を考える合同会議」
 - 〈7月〉「滋賀県介護支援専門員連絡協議会 管理者研修会 ～実地指導からみる管理業務のあり方～」
 - 〈7月〉「ことう地域ケア研究会 ～終末期をどう過ごし どう支え合うか～」
 - 〈7月〉 現場に合った採用・育成・定着率アップ術
 - 〈8月〉「高次脳機能障害の基礎理解」
 - 〈9月〉「第2回 彦根・愛知・犬上介護保険事業者協議会合同研修会
～介護事業所における法令遵守・虐待・身体拘束について～」
 - 〈9月〉 実践口腔観察！～口腔内の観察力アップを目指して
 - 〈9月〉「体圧測定マットを使った床擦れリスクの考察」
 - 〈9月〉「介護職員の看取り介護技術向上研修」
 - 〈9月〉「地域ケア会議推進研修会 ～伝える、ケアプランの書き表し方～」
 - 〈10月〉「認知症の早期発見・早期対応のための取り組みへの協力依頼」
 - 〈10月〉「地域同行型実地研修」
 - 〈10月〉 感染防止対策研修会
 - 〈11月〉「第3回 彦根・愛知・犬上介護保険事業者協議会合同研修会 ～冬の感染症について～」
 - 〈11月〉「彦根市地域ケア会議推進事業研修会 ～みんな満足！やってよかったサービス担当者会議～」
 - 〈11月〉「ことう地域ケア研究会 ～これからのリハ～」
 - 〈11月〉 意思決定支援について
 - 〈12月〉「彦根・愛知・犬上介護支援専門員連絡協議会研修会 ～コミュニケーションの困りごとについて～」
 - 〈12月〉「訪問看護・ケアマネ・包括・病院相談部門の意見交換会 ～のりしろプロジェクト～」
 - 〈1月〉「自立支援と重度化防止に資する質の高いサービス提供とは」
 - 〈1月〉「ことう地域ケア研究会 ～口腔ケア～」
 - 〈1月〉「退院支援合同会議」
 - 〈1月〉「ファシリテーションスキルを活用して」
 - 〈1月〉 暴力・ハラスメントの予防と対策
 - 〈1月〉 薬の研修会
 - 〈2月〉「第4回 彦根・愛知・犬上介護保険事業者協議会合同研修会 ～老化と認知症～」
 - 〈2月〉「主任介護支援専門員フォローアップ研修 ～野中式事例検討会の進め方～」
 - 〈2月〉「お口の健康を守るために口腔内の観察力アップを目指して」
 - 〈2月〉「高齢障害者に対する支援の現状と今後を考えるフォーラム」
 - 〈2月〉「介護サービス事業所・施設管理者等研修会 ～身近な人権問題を考える～」
 - 〈2月〉 支援者に寄り添えるスーパービジョンを目指して
 - 〈3月〉 コロナ感染拡大予防につき研修中止
 - 〈3月〉 コロナ感染拡大予防につき研修中止

④ 彦根市デイサービスセンター **きらら** (通所介護・介護予防通所介護・通所型A型)

概 要

所在地	彦根市川瀬馬場町1015-1	サービス地域	彦根市(全域)
建物・構造	鉄骨平屋建		豊郷町・甲良町(一部)
敷地	3,100㎡	定員	1日40名(介護予防・A型も含む)
実施時間	月曜日～土曜日	職員配置	(2020年3月末現在)
	きらら：午前9:50～午後15:55		所長 土川 裕人
	きららA型：午後12:50～午後15:55		介護職員 16人
	(休日：日曜日、年末年始 12/29～1/3)		看護師 3人
			相談員 3人
			運転手 2人

事業経過

利用者数は月平均830名、1日平均32名、平均稼働率81%という実績でした。毎月の稼働状況を把握し、居宅介護支援事業所へ情報提供を行い積極的な受け入れを行い利用者数の確保に繋げることが出来ました。

しかし、当日のキャンセル(体調不良や自己都合等)や入院・入所される等、年間を通して利用者数の目標値(平均33名)を達成することが出来なかった。

加算においては、中重度利用者(要介護3以上)の方が全体の4割以上、認知症高齢者自立度(Ⅲ以上)の方が全体の3割弱の方が利用され中重度ケア加算、認知症加算については維持出来ています。

新年度も引き続き居宅介護支援事業所に情報提供と施設アピールを徹底し、平均利用者数33名/日を目標に運営していきます。

尚、通所型A型は人員不足と利用ニーズも少ない為、2020年3月をもって休止。利用されていた方は通常デイ(きらら)に変更して利用されています。

利用実績(きらら)

	開所 日数	各月末登録者数							計
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4月	26	2	3	22	27	22	10	3	89
5月	27	3	3	26	25	23	10	4	94
6月	25	3	3	21	25	22	12	4	90
7月	27	2	3	25	27	22	14	4	97
8月	27	4	3	22	25	23	15	4	96
9月	25	5	2	22	28	22	10	5	94
10月	27	4	3	20	28	21	10	6	92
11月	26	3	3	20	24	22	10	5	87
12月	24	2	30	18	25	22	10	5	112
1月	24	3	3	19	24	19	14	5	87
2月	24	3	3	18	23	22	14	3	86
3月	26	3	3	20	24	21	14	4	89
計	308	37	62	253	305	261	143	52	1113

	1日 あたりの 利用者数	利用者数(延べ人数)							計
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4月	31	7	22	181	273	216	94	25	818
5月	32	13	24	201	255	200	124	43	860
6月	32	11	18	176	249	183	130	44	811
7月	34	8	21	210	296	206	147	39	927
8月	31	20	22	169	257	203	127	36	834
9月	34	18	16	182	283	203	96	49	847
10月	33	14	22	197	272	213	94	68	880
11月	32	11	21	180	265	203	87	59	826
12月	32	6	19	160	248	182	95	54	764
1月	32	9	20	148	243	175	130	43	768
2月	31	11	20	147	226	201	144	32	781
3月	31	12	30	145	243	201	126	39	796
計	32.18	140	255	2096	3110	2386	1394	531	9912

利用実績 (A型)

	開所 日数	各月末登録者数							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
5月	27	1	0	0	0	0	0	0	1
6月	25	1	0	0	0	0	0	0	1
7月	27	1	0	0	0	0	0	0	1
8月	27	1	0	0	0	0	0	0	1
9月	25	1	0	0	0	0	0	0	1
10月	27	1	0	0	0	0	0	0	1
11月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
12月	24	1	0	0	0	0	0	0	1
1月	24	1	0	0	0	0	0	0	1
2月	24	1	0	0	0	0	0	0	1
3月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
計	308	12	0	0	0	0	0	0	12

	1日 あたりの 利用者数	利用者数 (延べ人数)							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	1	5	0	0	0	0	0	0	5
5月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
6月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
7月	1	5	0	0	0	0	0	0	5
8月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
9月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
10月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
11月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
12月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
1月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
2月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
3月	1	5	0	0	0	0	0	0	5
計	1	51	0	0	0	0	0	0	51

職員研修

施設外

開催日	研修名	内容	対象者
6/4・ 12 18	滋賀の福祉人材 育成研修(新任)	倫理観や利用者理解、権利擁護等、介護に携わる職員がキャリアに応じて習得すべき利用者理解、福祉の本質や権利擁護意識を習得し、必要とされる知識・技術・モラルについて	1名
14	令和1年度 認知症介護基礎研 修	認知症の病状、中核症状、BPSD、認知症ケアの基本について学ぶ。	1名
7/9	滋賀の福祉人材 育成研修(中堅)	尊厳と自立に基づく介護理念の理解を深め、介護現場の課題が理解できるように知識と技術の習得を目指す。また、職場内での中心的な役割を担っていることを自覚し、判断してケアが提供できるようになることを目指す。	1名
8/6 20	滋賀の福祉人材 育成研修(中堅)	尊厳と自立に基づく介護理念の理解を深め、介護現場の課題が理解できるように知識と技術の習得を目指す。また、職場内での中心的な役割を担っていることを自覚し、判断してケアが提供できるようになることを目指す。	1名
9/7	福祉レクリエー ションワークシッ プ	音楽療法について	1名
26	滋賀の福祉人材 育成研修(新任)	倫理観や利用者理解、権利擁護等、介護に携わる職員がキャリアに応じて習得すべき利用者理解、福祉の本質や権利擁護意識を習得し、必要とされる知識・技術・モラルについて	1名
10/9・ 17・23	認知症介護実践者 研修	認知症高齢者と家族の理解、アセスメント、ケアの実践、連携について	1名
11 25	介護職員チーム リーダー研修	介護現場のチームリーダーに必要な知識や技術、チームへのアプローチ方法等について	1名
11/1・8 15	認知症介護実践者 研修	認知症高齢者と家族の理解、アセスメント、ケアの実践、連携について	1名
1/9	福祉レクリエー ションワークシッ プ	楽しいゲームとおしゃべりについて	1名
1・8 12・18 25	介護職員チーム リーダー研修	介護現場のチームリーダーに必要な知識や技術、チームへのアプローチ方法等について	1名
28	身体拘束ゼロセミ ナー	施設における拘束の実態と対策について	1名

開催日	研修名	内容	対象者
29	安全運転管理者講習	滋賀県や彦根市の交通事故の実態と傾向と安全運転管理者の役割等について	1名
12/10 19	対人援助と記録	チームアプローチやかかわり方、記録の書き方(5W1H)について	1名
23 24	認知症介護実践者研修	認知症高齢者と家族の理解、アセスメント、ケアの実践、連携について	1名
4 11 23	介護職員チームリーダー研修	介護現場のチームリーダーに必要な知識や技術、チームへのアプローチ方法等について	1名
16	要介護度改善研修	自立支援と重度化の防止、活動と参加に繋がるサービス提供について	1名
7	人権現地視察研修	地域における部落差別と歴史について	1名
3・9	介護分野で働く人材育成研修(管理者)	介護分野における管理職の役割や組織作りについて	1名
1/15 20 31	介護職員チームリーダー研修	介護現場のチームリーダーに必要な知識や技術、チームへのアプローチ方法等について	1名
2/6 13 27	介護職員チームリーダー研修	介護現場のチームリーダーに必要な知識や技術、チームへのアプローチ方法等について	1名
13	ITと個人情報保護	パソコンやスマートフォンの普及によるラインやSNS等を利用するうえでの個人情報取り扱いについて	2名

施設内

開催日	研修名	内容	対象者
4月	個人情報とプライバシー	個人情報とプライバシーの取り扱い、漏えい事故事例報告について学ぶ。	10名
5月	緊急時対応	病状や症状に応じた応急処置と緊急時の報・連・相について	12名
6月	感染症	レジオネラ肺炎と予防対策について 金亀体操について	9名
	倫理・法令順守	施設の基本方針や経営目標などから見た、倫理・法令順守について	12名
7月	人権研修	高齢者(利用者)の人権について	11名
8月	人権擁護 身体拘束 リスクマネジメント	介護施設における人権擁護、身体拘束問題に取り組む方向性、介護訴訟とリスクマネジメントについて	15名
	人権研修	高齢者(利用者)の人権について	14名
9月	認知症	認知症予防について	10名
10月	なし		
11月	感染予防	施設におけるインフルエンザ等の感染予防について ノロなどを含む感染予防について	13名
	リハビリ	生活機能の維持を目的にしたリハビリ体操について	10名
12月	事故再発防止	事故事例をもとに再発防止に向けた取り組みについて	10名
1月	なし		
2月	なし		
3月	なし		

彦根市グループホーム **ゆうゆう** (認知症対応型共同生活介護)

概要

開所年月日	平成14年2月12日	職員	所長 小島 由香里
所在地	滋賀県彦根市川瀬馬場町1015番地の1	介護職	常勤：4名 非常勤：5名
建物	構造 鉄筋平屋建 敷地 3,100㎡ 延床面積 326.65㎡		要支援2、要介護1～5の認知症高齢者。 介護度に拘らず、その時々の利用者の状況を勘案し、入退居判定会議の上で決定。
定員数	9名		

事業経過

令和元年度は1年を通して入退居が多くあり、新規入居者獲得に苦慮しました。申し込み者はたくさん居られたのですが、いざ面談してみるとグループホーム対象者ではなく、入居見送りになった方々が複数名おられました。2ヶ月近く空床の時もあり、居宅支援事業者や地域包括支援センターへ現状を伝え、対象者の紹介を依頼しましたが、うまく調整できなかったことが原因と考えられます。今後は申し込み者の整理を行い、満床の間に新規入居者獲得へ動き出し、急な退居になっても対応できるよう備えておこうと思います。

年齢や体力、認知症のレベルに応じた事柄をしていただく事で、入居者一人一人が役割を持ち、達成感・やりがいを感じながら小規模な施設内でゆったり・のんびり過ごしておられます。買い物や季節に応じた外出を行い、視覚・聴覚で、肌で外気に触れる事で季節を感じていただけるようにしています。


定期的に季刊誌を発行し、家族や地域、関係機関などに配布し、施設内の様子などをお知らせしています。また、月に1回【ご様子報告】として入居者の日頃の様子を写真と書面にて、ご家族にお伝えしています。

利用状況

H31 4月	R元 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2 1月	2月	3月
7.9名	8.2名	9名	8.9名	8.1名	8.3名	7.8名	8名	7.9名	7.5名	8名	8名

職員研修

開催日	研修名	内容	対象者
6月 19日	救急救命講習会	救急救命の対応を、実践を通して学習する	西川あ
7月 26日	彦愛犬介護保険事業者協議会 第1回 合同研修会	“クロスロード”というツールを使い、ゲーム感覚で災害について学ぶ。防災対策へのヒントを探る。	小島
29日	公益財団法人 豊郷病院 2019年度 院内人権研修	医師・介護福祉士の資格を持つ奈倉道隆氏をお招きし、高齢者の人権について講演される。	西川あ・西川み 中嶋・小島
8月 8日	ポジティブメンタルヘルス 職場のストレスマネジメント	ストレスや、メンタルヘルスに対する正しい理解をし、心や身体を健康に保てるようにする	小島
14日	人権擁護・身体拘束・虐待 リスクマネジメントの考え方と実践	介護施設における人権擁護について理解する。	北川・水野
10月 16日	医療施設における環境整備	どのように運ばれて感染に繋がるのか？など、普段の環境整備や日常清掃を振り返りながら、環境整備の重要性や方法を学ぶ。	小島
24日	施設職員のための 高齢者虐待予防についてのお話	虐待の種類や発生要因など、基本的なものから、不適切なケアと虐待の違い、虐待に気付いた時の対応などについて、講義や具体的な事例を通して学ぶ。	水野・西川み 山崎・竹内 小島
11月 19日	社会福祉施設における 労働災害対策、および 働き方改革関連法の説明会	労働災害を未然に防止するための対策の強化、労務管理を適正に行うことが出来る。	小島
20日	感染経路別予防策 ～インフルエンザを中心に～	流行を前に、インフルエンザに対する正しい理解、予防策、拡大防止の方法を学ぶ。	西川あ
12月 7日	2019年度 豊郷病院 管理職員人権現地視察研修会	甲良町長寺地区にある加工品を提供する施設“ゆずのだいどこ”へ見学に行く。長寺地区の歴史について地域住民から貴重な話を伺う。	小島
22日	令和元年度、介護実習指導者懇談会 新カリキュラム対応、介護実習指導研修	びわこ学院の教員、施設職員との相互学習の場を持ち、一層の連携交流を深める。	小島
1/24 ～ 2/14	人権についての学習	人権啓発ビデオ（虐待防止シリーズ）のDVDを左記期間中に職員各自が観て、感じたこと・仕事で活かそうなことを用紙に書く	全職員
2月 13日 14日	個人情報保護対策 ITセキュリティ対策研修会	個人情報保護漏洩や病院情報のセキュリティを守るための対策を学ぶ	職員 7名


 彦根市地域包括支援センター **きらら**
概要

設 立	平成24年4月	内 容	①総合相談業務
営 業 日	月～土		②介護予防
営業時間	8時30分～16時50分 (土曜日のみ8時30分から12時40分)		ケアマネジメント業務
利 用 料	無料		③包括的・継続的
担当学区	河瀬・亀山・城陽・若葉		ケアマネジメント業務
職 員	所長（管理者） 高橋 ひとみ 保健師 高橋 ひとみ 主任介護支援専門員 青峰 龍誓 社会福祉士 上田 康正 濱田由紀子 介護支援専門員 坂田 健一		④権利擁護業務

事業経過

きららの担当する各学区（若葉・城陽・亀山・河瀬）の民生委員児童委員会協議会へ参加し地域ネットワークの構築をおこなっています。また各自治会、老人会から依頼される出前講座や自主グループ、サロンへの訪問、地域住民とより深い関係作りの継続や地域支えあい推進員と毎月のミーティング、圏域の居宅介護支援事業所との学習会を定期開催し、介護支援専門員の後方支援を行っています。

「コツコツ続ける金亀体操」「ほっとかない認知症出前講座」「認知症サポーター養成講座」の講座をおこない地域住民の自立支援、認知症啓発に繋がる活動を行っています。

利用状況
総合相談

延べ件数

相談内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
相談方法	介護方法	医療	認知症(疑いを含む)	保険・福祉サービス等	実態把握	介護保険	福祉用具等	施設入所・退所等	住宅改修	虐待(疑いを含む)	権利擁護	消費生活	金銭管理困難	介護保険外サービス	近隣トラブル	苦情
電 話	5	54	14	5	39	178	10	6	4	28	0	33	0	2	0	10
来 所	0	2	8	1	14	42	1	2	0	5	0	3	1	0	0	1
訪 問	2	58	29	6	173	323	41	2	12	21	0	21	0	0	0	5
その他	0	0	0	1	2	8	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0
計	7	114	51	13	228	551	52	10	16	55	0	59	1	2	0	16

相談内容	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	年間累計
相談方法	経済的問題	安否確認	医療機関の入退院	在宅看取り	障害福祉	精神障害	ケアマネジメント	生活支援	介護予防	家族支援	支援拒否	申請手続き支援	他機関への引継ぎ	その他	
電 話	28	1	85	0	1	14	0	29	0	7	0	3	0	21	577
来 所	0	0	8	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	7	100
訪 問	14	35	58		0	7	0	35	2	1	0	11	3	23	882
その他	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	19
計	43	36	152	0	1	25	0	67	2	8	0	15	3	51	1,578

指定介護予防支援事業（予防支援給付件数）

延べ件数

請求対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括支援センター	146	144	147	144	133	123	122	122	128	130	132	129	1,600

- ・ 総合相談支援のためのネットワーク構築の取り組み 94回
- ・ 包括的、継続的ケアマネジメント支援のための取り組み 4回
- ・ 地域ケア会議 定期ケア会議（軽度認定者） 4回
 随時ケア会議（支援困難等） 25回
 地域包括支援センター単位地域ケア会議 4回

職員研修

研修日	研修参加者の職種・氏名	研修内容	内部・外部研修の区分
令和元.5.11	草津総合病院	滋賀県介護支援連絡協議会総会・研修 (医療介護連携に必要なトリセツを学ぼう！)	外部
5.24	くすのきセンター	彦愛犬介護支援専門員連絡協議会総会・研修	外部
7.2	京都テルサ	2019年地域包括支援センター職員基礎研修	外部
7.8	くすのきセンター	介護サービス事業者感染管理リスクマネジメント	外部
8.28	安曇川公民館	施設虐待研修	外部
9.4	滋賀県立精神保健福祉センター	アディクション関連問題従事者研修会	外部
9.10	滋賀県合同庁舎	滋賀県高齢者虐待問題研修会	外部
9.11	長寿福祉センター	滋賀県主任介護支援専門員研修(9月～12月)	外部
9.13	滋賀県庁	アディクション関連問題従事者研修会	外部
9.18	高島市新旭公民館	施設虐待研修	外部
9.26	長寿福祉センター	滋賀県主任介護支援専門員更新研修(9月～12月)	外部
10.9	滋賀県立精神保健福祉センター	アディクション関連問題従事者研修会	外部
10.18	福祉センター別館	福祉施策等学習会	外部
10.25	福祉センター別館	福祉施策等学習会	外部
10.29	京都テルサ	地域包括支援センター実践能力向上研修	外部
11.6	ニプロホール	退院支援機能強化事業全体研修	外部
11.12	くすのきセンター	第1回地域ケア会議推進研修会	外部
11.13	くすのきセンター	彦根市認知症HOTサポート研修会	外部
11.19	彦根市文化プラザ	労務管理・メンタルヘルス対策・労働災害の防止	外部
11.20	くすのきセンター	ケアマネジメント研修会	外部
11.29	ピアザ淡海	法テラス研修	外部
12.5	アロフェンテ	認知症出前検討会	外部
12.7	甲良町 長寿ゆずの台	人権研修	内部
12.13	くすのきセンター	第2回地域ケア会議推進研修会	外部
12.20	草津アミコホール	居住支援研修	外部
令和2.1.14	草津市立市民交流プラザ 大会議室	滋賀県高齢者虐待防止セミナー	外部
1.15	くすのきセンター	彦愛犬介護保険事業者協議会合同研修会(法令遵守)	外部
1.16	くすのきセンター	医長連携フォーラム2019～地域で支える口腔医療の構築を目指して	外部
1.24	豊郷町隣保館	高次脳機能障害ってなんだろう	外部
2.4	くすのきセンター	主任介護支援専門員フォローアップ研修	外部

甲良町デイサービスセンター **けやき** (通所介護) (通所予防介護)

概要

所在地	犬上郡甲良町在士625	定員	1日25名(月～土)
建物・構造	鉄骨平屋建	実施時間	午前9:20～午後16:25 (休日:日曜日、年末年始(12/29～1/3))
敷地	約2,820㎡	職員	センター長 山口 康子
延床面積	201.68㎡ (デイサービス棟 旧学童保育sp含む)	管理者	西山 健一
		介護職員	7人 看護職 3人
		生活相談員	1人 事務職員 1人

事業経過

けやきの年間平均利用者数は16.54人。平均稼働率は66.16%と前年度の成績を上回ることはできたが、目標としている稼働率76%には届かない結果となりました。

新規利用者の受け入れを積極的に行い順調に獲得できていたものの、利用者の高齢化、重度化に伴い長期にわたる入院、入所者の増加。また、家族のニーズ、介護負担軽減の為、定期的にショートステイを利用される方の増加も大きく利用者の減少に影響しました。

甲良町の委託事業である認知症普及啓発事業では、地域の方を対象に各字への訪問、成田実先生による認知症フォーラム等、認知症への理解を深めることができると努めることができ毎年好評を頂いています。

利用状況

月延人数(名)

	開所 日数	各日未登録者数						計
		介護度による区分						
		総合事業 通所型(独自)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	26	5	14	12	10	6	2	49
5月	27	4	16	12	9	6	3	50
6月	25	4	16	11	10	6	3	50
7月	27	4	17	11	11	4	2	49
8月	27	5	18	12	10	4	1	50
9月	25	5	14	10	13	5	1	48
10月	27	5	13	11	13	8	2	52
11月	26	5	12	10	14	8	2	51
12月	24	6	14	9	14	7	1	51
1月	24	5	16	8	13	5	1	48
2月	25	5	16	7	12	5	2	47
3月	26	5	17	8	15	6	2	53
計	309	58	183	121	144	70	22	598

延人数 (名)

	1日あたりの 利用者数	利用者数 (延人数)						計
		介護度による区分						
		総合事業 通所型(独自)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	18.19	18	155	133	109	49	9	473
5月	17.51	16	160	129	94	60	14	473
6月	17.32	13	143	114	97	55	11	433
7月	16.48	15	153	117	115	39	6	445
8月	15.81	20	144	116	102	42	3	427
9月	15.28	20	107	93	121	39	2	382
10月	16.66	22	115	108	130	65	10	450
11月	17.46	18	106	104	145	75	6	454
12月	17.08	23	109	84	135	56	3	410
1月	16.08	15	123	75	131	39	3	386
2月	14.48	18	122	59	109	45	9	362
3月	16.15	17	128	67	142	55	10	419
計		215	1,565	1,199	1,430	619	86	5,114
平均	16.54							

職員研修

施設外

開催年月日	研修内容	主催者	講師
2019年7月26日	第1回合同研修(災害について)	彦根愛知犬上介護保険事業者協議会	神戸市長田福祉事務所生活支援課係長 桑原潤氏
2019年9月1日	第51回愛知・犬上郡人権教育研究大会	愛知・犬上郡人権教育推進協議会	みえ人権教育・啓発研究会代表 松村智宏氏
2019年11月28日	令和元年度身体拘束ゼロセミナー	滋賀県社会福祉協議会	認知症介護研究・研修大府センター 研修指導員 山口友佑氏
2020年1月15日	合同研修(法令遵守)	彦愛犬介護保険事業者連絡会	関西医科大学 看護学部 三木朋子氏 矢山壮氏

施設内

開催日	研修名	内容	出席者
2019年5月8日	人権研修	虐待について	11名
2019年7月10日	緊急時の対応	救急搬送時の流れ・役割について	10名
2019年9月11日	心肺蘇生	胸骨圧迫・気道確保 AEDの使い方について	9名
2019年11月13日	身体拘束	認知症ケアにおける身体拘束の実態	10名
2020年3月11日	法令遵守	暴力・ハラスメントを取り巻く社会の動き	11名


甲良町グループホーム 5く5く (認知症対応型共同生活介護)
概 要

所在地 甲良町在士 625
 建物・構造 木造平屋建
 敷 地 約 2,820 m²
 延床面積 275.75 m²
 定 員 9 名
 職 員 11 人

利用状況

2019年4月1日～2020年3月31日
 平均月間9名

事業経過

- ・甲良町の委託事業としてスタートした認知症カフェ「よってっ亭」は地域に根づいた事業として継続している。
- ・「本人の思い」を大切に、入居者の自立支援を目指し個別ケア、チームケアを強化している
- ・空床短縮に努め、安定した経営を目指している。
- ・地域の方の協力による避難訓練を継続している。

職員研修

開催年月	研修会名称	参加者数
2019年7月29日	老年の超越と人間尊重の介護福祉	8名
2019年8月30日	認知症の人と暮らす	1名
2019年9月28日	認知症の介護を語る	3名
2019年10月9日	2019年度町民人権問題学習講座 スポーツと人権	1名
2019年10月17日	2019年度町民人権問題学習講座 ヘイトスピーチを許さない社会をつくるために	1名
2019年11月3日	あきらめない心	1名
2019年11月9日	認知症フォーラム 認知症の人と暮らす～地域で出来ること～	3名
2019年11月28日	身体拘束ゼロセミナー 介護施設における身体拘束廃止に関する基本的知識とケアへの実践	1名
2019年12月7日	豊郷病院人権現地視察研修会	1名
2020年1月14日	高齢者虐待防止とアンガーマネジメント	1名
2020年1月15日	合同研修～暴力・ハラスメントの予防と対応～	1名
2020年2月13日	個人情報保護対策	1名
2020年2月19日	認知症による食行動への影響	1名

III

教育研究事業の部

准看護学院では、林学院長のもと法人の基本理念に基づき、人を思いやる、温かな心を育む人間教育に力を注ぎました。

さて、1年生では、7月の宿泊研修において、専門指導員による活動体験プログラムを取り入れ、活動を通じて他者とかかわる力・思いやる力を引き出し、さらに他者と協力して課題を克服する力など、仲間づくりの基本的な力を育む教育に取り組みました。後期には学院祭りの企画運営・実習・ホームグループ活動を通じて、その力を強められるような働きかけを行いました。

2年生では、研修旅行で東京都にある国立療養所多摩全生園の園内にある、国立ハンセン病資料館を見学し、学芸員の方の説明、DVDによる語り部の方の講演、展示資料の見学を通じて、我が国初のハンセン病施策における人権侵害の歴史について、深く学び考える機会としました。

臨床精神医学研究所は「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。

公益財団法人豊郷病院 附属准看護学院 平成 31 年度 (2019) 事業報告

准看護学院では、常に法人の基本理念のもと、人を思いやる、温かな心を育む人間教育に力を注いでいます。

1年生では7月の宿泊研修において、活動体験プログラムを取り入れ、他者とかかわる力・思いやる力を引き出し、さらに他者と協力して課題を克服する力など、仲間づくりの基本的な力を育む教育に取り組みました。

2年生では、研修旅行で東京都にある国立療養所 多摩全生園の園内にある、国立ハンセン病資料館を見学し、学芸員の方の説明、DVDによる語り部の方の講演、展示資料の見学を通して、我が国のハンセン病施策における人権侵害の歴史について、深く学び、考える機会としました。

表 1 入学生の動向 (単位：人)

分類		年度	平成 30 年度	令和元年度
定 員			15	15
性別	男		0	0
	女		14	10
計			14	10
年齢別	10 歳 代		4	5
	20 歳 代		3	2
	30 歳 代		6	3
	40 歳 代		1	0
計			14	10
高等学校 新卒 既卒別	新 卒		4	5
	既 卒		9	5
	その他(短大)		1	0
計			14	10
出身地別	滋 賀 県 内		14	9
	滋 賀 県 外		0	1
計			14	10
県 内 出身地別	甲 賀 市		1	1
	湖 南 市		1	
	大 津 市			
	栗 東 市			
	草 津 市			
	守 山 市			1
	彦 根 市		1	3
	野 洲 市			
	近江八幡市		2	2
	高 島 市			
	東 近 江 市		3	2
	米 原 市			
	長 浜 市		2	
	愛 知 郡			
	蒲 生 郡		3	
犬 上 郡		1		
計			14	9

表 2 卒業生の動向 (単位：人)

分類		年度	平成 30 年度	令和元年度
総 数			10	11
性別	男		0	0
	女		10	11
計			10	11
就職 進学	就 職		9	4
	進 学		1	7
	その他		0	0
計			10	11
就職先	豊郷病院		6	1
	その他県内		3	3
	県外		0	0
計			9	4
進学先	済生会		1	5
	その他県内		0	0
	県外		0	2
計			1	7

スタッフ(令和 2 年 7 月現在)

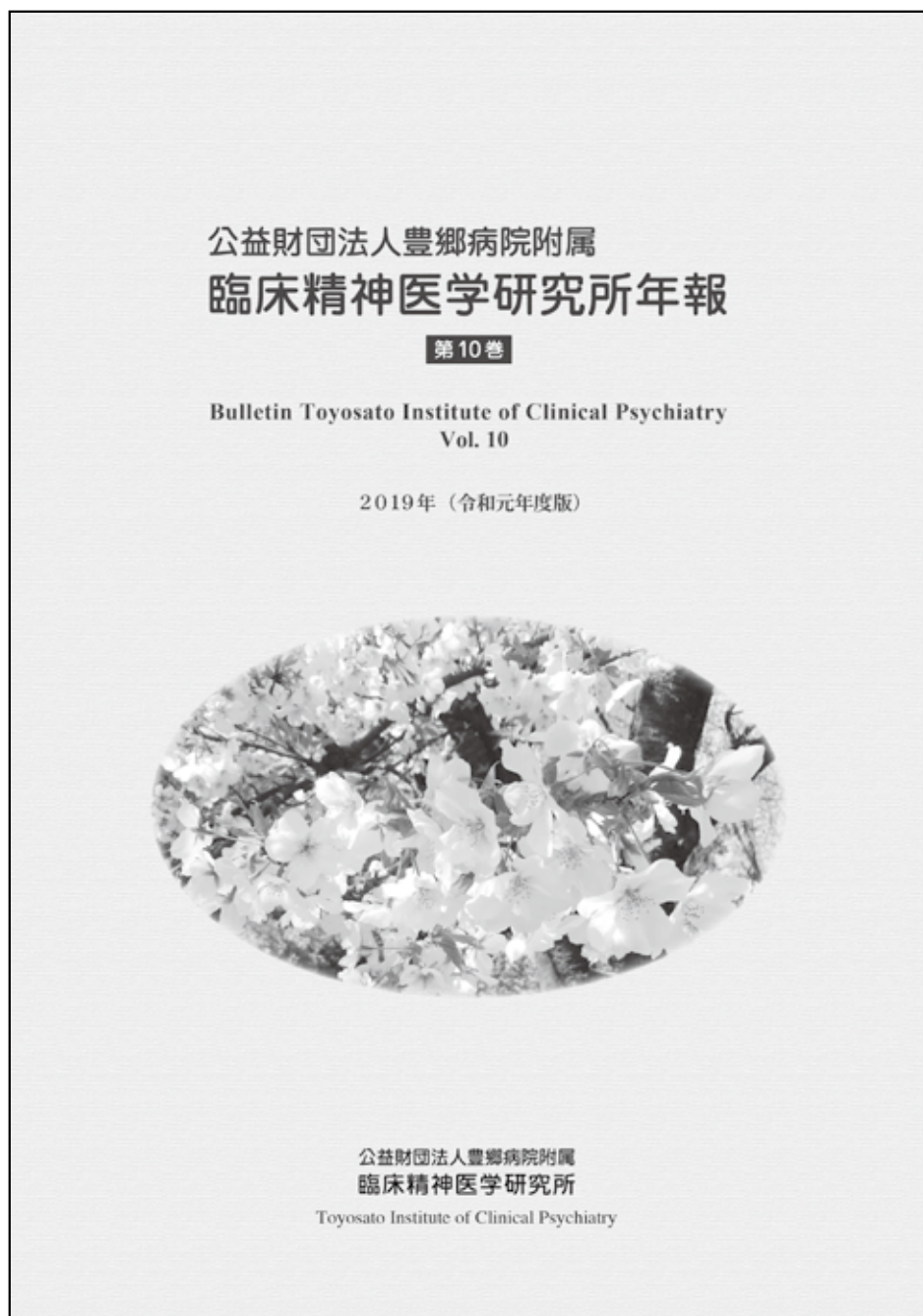
学院長	林 拓二
教務主任	川合小百合
専任教員	安居 容子
専任教員	江田 裕子
事務長	川村 宏
事務員	岸 誠子

臨床精神医学研究所 研究報告

当研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。

毎年発行する臨床精神医学研究所年報は、第9巻となりますが、2018（平成30）年度版も11月に出版し、関係各位に配布しました。

下記第10巻 2019年（令和元年度版）は現在編集中。



編集後記

2019（令和元）年度版の年報をお届けします。

新元号「令和元年」として祝意のなか皇位継承に伴う10連休でスタートしましたが、職員の協力により外来診療は3日間開院し入院も稼働率を確保し相応の成績をあげることができました

しかし下期から消費税の増税に加え、年明け（2020年）春節前後から新型コロナウイルスの爆発的な発生から感染拡大となり特に医療業界が大混乱のなか必死に対応しているところであり、早期のワクチンを世界が待ち望んでいます。思うに1918年3月（当院設立の7年前）の第一次世界大戦中に発生したスペインインフルエンザから100年後の現代においても人類がウイルスの脅威にさらされていることに驚いています。また今年は研修会や各種行事イベント等々もすべて一時休止となって全てが委縮しており、まさにウイルスが世界を変えてしまって元には戻らないことになると思います。そして第2波の到来で、当分の間は深刻な状況がつづくことになり一日も早い終結を待ち望んでいます。

令和初の2019（令和元）年版vol.19の年報を発行しましたのでご高覧くださいますようお願い致します。

2020（令和2）年8月 広報委員会

2019（令和元年度版）
公益財団法人 豊郷病院 紀要・年報
vol.19

発行 公益財団法人 豊郷病院
〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12
TEL(0749)35-3001 FAX(0749)35-2159

編集 公益財団法人 豊郷病院 広報委員会

印刷 近江印刷株式会社
滋賀県愛知郡愛荘町川原771-1
TEL(0749)42-8400(代) FAX(0749)42-6700



公益財団法人 豊郷病院

〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12

TEL. 0749(35)3001 FAX. 0749(35)2159

<http://www.toyosato.or.jp/>

E-mail:toyosato@toyosato.or.jp